

# 60歳代以上の投資信託等に関するアンケート調査 報告書

2022年3月



一般社団法人  
投資信託協会

# 目次

1	調査計画の概要	P.3
2	調査結果の要約	P.6
3	回答者属性	P.15
(1)	性別	P.16
(2)	年代別	P.17
(3)	職業	P.18
(4)	世帯年収	P.19
(5)	金融資産	P.20
(6)	家族構成	P.21
4	投資信託商品の保有・興味状況	P.22
(1)	投資信託の保有・認知状況	P.23
(2-1)	投資信託商品種別 保有状況	P.24
(2-2)	投資信託商品種別 保有理由【毎月・隔月分配型ファンド】	P.25
(2-3)	投資信託商品種別 保有理由【バランス型ファンド】	P.26
(2-4)	投資信託商品種別 保有理由【インデックス型ファンド】	P.27
(2-5)	投資信託商品種別 保有理由【アクティブ型ファンド】	P.28
(2-6)	投資信託商品種別 保有理由【不動産投資信託】	P.29
(2-7)	投資信託商品種別 保有理由【ファンドラップ】	P.30
(3-1)	投資信託商品種別 興味状況	P.31
(3-2)	投資信託商品種別 興味理由【毎月・隔月分配型ファンド】	P.32
(3-3)	投資信託商品種別 興味理由【バランス型ファンド】	P.33
(3-4)	投資信託商品種別 興味理由【インデックス型ファンド】	P.34
(3-5)	投資信託商品種別 興味理由【アクティブ型ファンド】	P.35
(3-6)	投資信託商品種別 興味理由【不動産投資信託】	P.36
(3-7)	投資信託商品種別 興味理由【ファンドラップ】	P.37
5	全般的な投資への意識と実態	P.38
(1)	投資経験	P.39
(2)	初めて投資をした年齢（投資経験者）	P.40
(3)	初めて投資をしたきっかけ（投資経験者）	P.41
(4)	投資理由（投資経験者）	P.42
(5)	投資未経験理由（投資未経験者）	P.43
(6)	投資の経験・考え方（投資経験者）	P.44
(7)	利用を検討してもよい金融商品	P.45
(8-1)	金融商品・投資商品認知状況	P.46
(8-2)	金融商品・投資商品保有経験状況	P.47
(8-3)	金融商品・投資商品保有状況	P.48

6	老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識	P.49
(1-1)	現役時代に公的年金(国民年金、厚生年金)以外に加入していた制度	P.50
(1-1)	最も重視していた制度	P.51
(2-1)	年金受給状況	P.52
(2-2)	年金受給前の貯蓄額（年金非受給者は現在の貯蓄額）	P.53
(3-1)	退職金受取状況	P.54
(3-2)	退職金の使い道	P.55
(3-3)	退職金で購入した金融商品（購入予定も含む）	P.56
(4-1)	毎月の貯蓄の取り崩し額	P.57
(4-2)	毎月の投資運用資金の取り崩し額	P.58
(5-1)	老後のための資産形成を始めた年齢	P.59
(5-2)	老後のための資産形成の十分さ	P.60
(5-3)	老後のための資産形成を始めた年齢（資産形成の時間は十分だったと思う人）	P.61
(6-1)	今後の金融資産管理の意識	P.62
(6-2)	今後の金融商品購入時の意識	P.63
(7)	今後の生活の金銭面での不安	P.64
7	60歳代以上の現在の生活や今後への意識	P.65
(1)	普段の生活の楽しみ・大切にしていること	P.66
(2)	自身の想定寿命	P.67
(3)	就労状況・意識	P.68
(4)	財産の相続意向	P.69
(5)	財産相続の相談状況	P.70
(6)	引き継いでもらいたい資産	P.71
(7)	相続する資産の現金化意向	P.72
	末尾添付資料：調査票	P.73

# 1. 調査計画の概要

---

# 1. 調査計画の概要

調査の目的	日本における60歳以上（個人）の投資信託等に対する意識等を把握し、調査結果を協会会員及び各種研究機関、メディア等に広く還元すると同時に、制度改正に活用する。				
調査手法	インターネット調査（マクロミルモニタ及び提携パネルより抽出）				
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他の3ブロック）				
調査対象	60歳以上の男女				
サンプル数	総計5,161サンプル				
		60-69歳	70-79歳	80歳以上	計
	男性	931	912	518	2,361
	首都圏	246	246	135	627
	阪神圏	127	139	78	344
	その他	558	527	305	1,390
	女性	975	1,062	763	2,800
	首都圏	247	284	216	747
	阪神圏	139	165	127	431
	その他	589	613	420	1,622
計	1,906	1,974	1,281	5,161	
	※「首都圏」・・・埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 ※「阪神圏」・・・京都府、大阪府、兵庫県、奈良県 ※「その他」・・・上記以外の道県  「その他」地域の80歳以上女性は、地域×年齢×性別の人口構成比での回収が困難なため、最大数の回収にとどめ、欠損分は他の各セルで均等に回収した。 本報告書内では、全体値参照時は、「全体（構成比）」として構成比通りにランダムに抽出した3,986サンプルを使用。				
調査時期	2022年1月13日（木）～1月19日（水）				
調査主体	一般社団法人 投資信託協会				
調査委託先	株式会社 マクロミル				

※スコアは小数点第二位で四捨五入し、小数点第一位まで掲載。

# 1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

軸名称		備考
全体		回答者全体
全体（構成比）		性別×年代×エリアの人口構成比に合わせた全体値
性別	男性	マクロミルのモニタ紐付き情報を使用 ※紐付き情報に関しては、モニタ登録時に本人が回答し、 年に1度情報の確認・更新を実施。
	女性	
年代別	60代	
	70代	
	80代以上	
世帯年収別	200万円未満	
	200～400万円未満	
	400～600万円未満	
	600～800万円未満	
	800～1000万円未満	
	1000万円以上	
金融資産別	100万円未満	
	100万円～500万円未満	
	500万円～1000万円未満	
	1000万円～2000万円未満	
	2000万円～5000万円未満	
	5000万円～1億円未満	
	1億円以上	
投資信託商品保有経験別	現保有者	Q11S1「投資信託」で「1.自分で購入し保有している」または「2.自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」選択者
	過去保有者	Q11S1「投資信託」で「3.以前保有していたことはあるが、今は保有していない」選択者
	非保有経験者	Q11S1「投資信託」で「4.（名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない」または「5.この商品は知らない」選択者
投資経験別	現投資者	Q5で「1.現在投資している」選択者、または Q11S1-S5いずれかで「1.自分で購入し保有している」または「2.自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」選択者
	過去投資者	Q5で「2.現在は投資していないが、していたことはある」選択者、または Q11S1-S5いずれかで「3.以前保有していたことはあるが、今は保有していない」選択者（※いずれかで1-2選択者を除く）
	未投資者	Q5で「3.投資したことはない」選択者、または Q11S1-S5いずれも「4.（名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない」または「5.この商品は知らない」選択者

## 2. 調査結果の要約

---

## 2. 調査結果の要約

### 投資信託の保有状況／投資信託現保有層の保有種類・保有理由

- 60代以上の投資信託の現保有率は38.5%。認知率は95.7%。
- 性別でみると、女性は男性より保有率が高い。年代別でみると、年代が下がるほど保有率が高い。

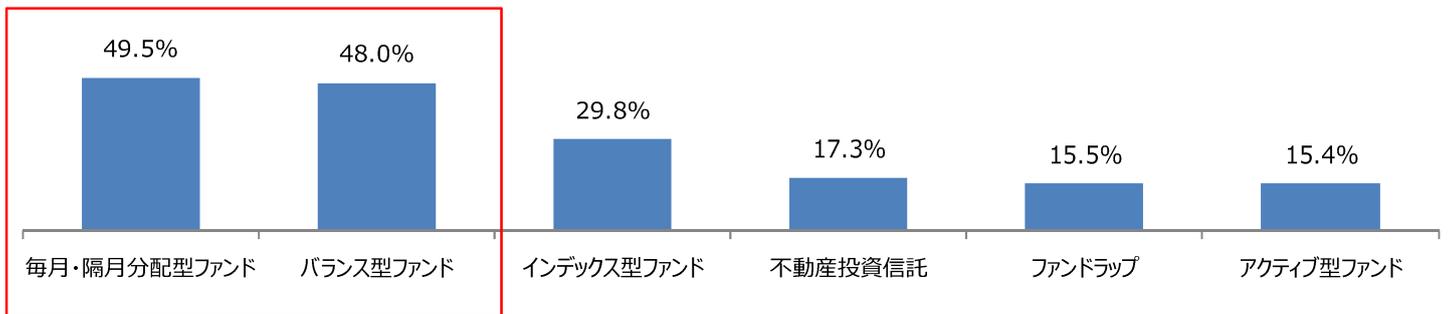
<投資信託の保有状況>【ベース：投資信託経験者】

		n=	■ 現保有 (自購入)	■ 現保有 (非自購入)	■ 非保有 (保有経験有)	■ 非保有 (認知未保有)	■ 非保有 (非認知)	現保有計 (%)	認知計 (%)
2022年 全体 (構成比)		(2,183)	37.3	1.2	30.4	26.8	4.3	38.5%	95.7%
2021年 全体 (構成比)		(1,622)	36.7	0.9	30.9	27.1	4.5	37.5%	95.5%
2020年 全体 (構成比)		(1,707)	35.1	0.9	27.8	30.1	6.0	36.1%	94.0%
性別	男性	(1,497)	35.8	0.9	26.5	32.1	4.7	36.7%	95.3%
	女性	(1,325)	37.5	1.4	34.4	22.5	4.2	38.9%	95.8%
年代別	60代	(936)	40.5	0.9	25.2	28.7	4.7	41.3%	95.3%
	70代	(1,142)	36.0	1.1	29.8	29.1	4.0	37.1%	96.0%
	80代以上	(744)	32.7	1.5	37.2	23.8	4.8	34.1%	95.2%

※現保有計：(「現保有(自購入)」+「現保有(非自購入)」) / 認知計：(「現保有(自購入)」～「非保有(認知未保有)」) のスコア

- 保有投資信託の種類は、「毎月・隔月分配型ファンド」が最も高く、「バランス型ファンド」が続く。
- 保有理由は、種類に関わらず「預貯金の金利が低いから」、「資産を分けて保有しておくため」。

<投資信託の保有種類>【ベース：現保有者(構成比)(n=840)】



<投資信託種類別の保有理由(上位5位)>【ベース：各投資信託現保有者】

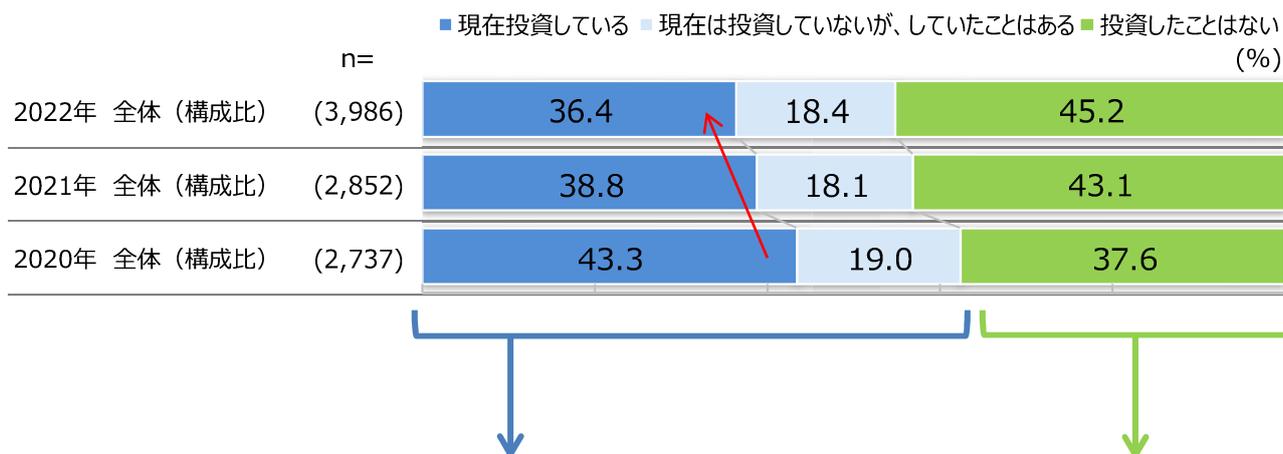
	毎月・隔月分配型ファンド 保有者ベース (n=525)	バランス型ファンド 保有者ベース (n=524)	インデックス型ファンド 保有者ベース (n=322)	不動産投資信託 保有者ベース (n=199)	ファンドラップ 保有者ベース (n=160)	アクティブ型ファンド 保有者ベース (n=162)
1位	預貯金の金利が低いから 63.0%	預貯金の金利が低いから 65.5%	資産を分けて保有しておくため 62.4%	預貯金の金利が低いから 65.3%	預貯金の金利が低いから 69.4%	資産を分けて保有しておくため 64.8%
2位	資産を分けて保有しておくため 48.8%	資産を分けて保有しておくため 59.7%	預貯金の金利が低いから 62.4%	資産を分けて保有しておくため 61.3%	資産を分けて保有しておくため 63.1%	預貯金の金利が低いから 63.0%
3位	投資そのものを楽しむため 32.2%	投資そのものを楽しむため 31.5%	投資そのものを楽しむため 36.6%	投資そのものを楽しむため 33.2%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 38.1%	投資そのものを楽しむため 38.3%
4位	自分の生活費のため 27.0%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 30.7%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 28.0%	自分の生活費のため 31.2%	投資そのものを楽しむため 31.3%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 34.0%
5位	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 24.4%	自分の生活費のため 26.9%	自分の生活費のため 22.0%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため 28.1%	自分の生活費のため 26.3%	自分の生活費のため 25.9%

## 2. 調査結果の要約

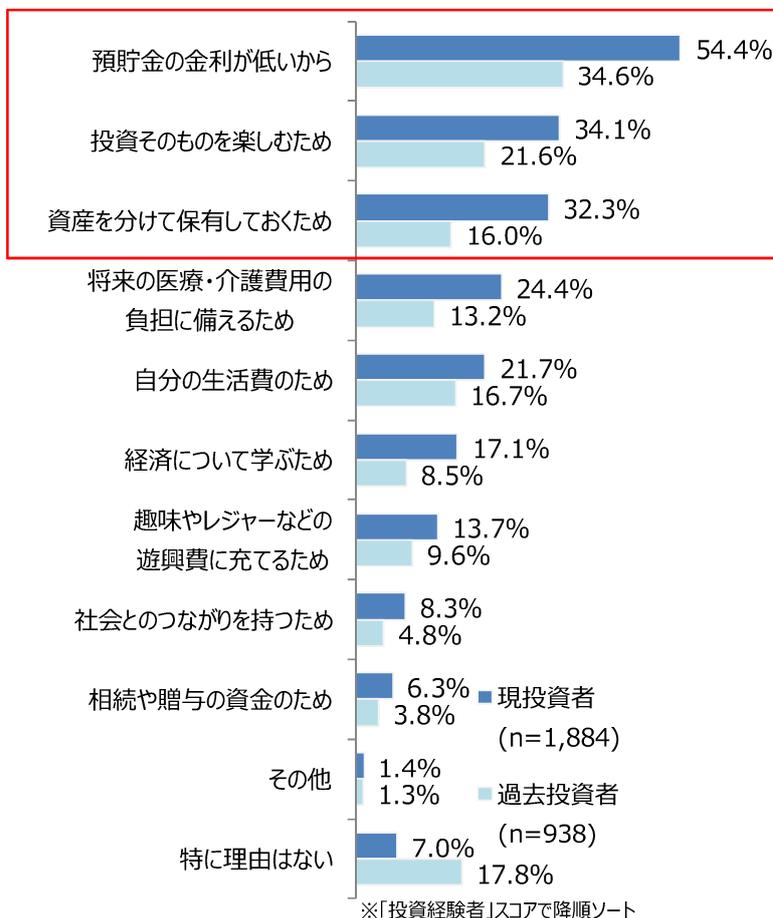
### 投資経験／投資理由／投資未経験理由

- 60代以上の投資経験について、現投資率は36.4%。2020年調査から減少が続く。
- 投資理由は、「預貯金の金利が低いから」、「投資そのものを楽しむため」、「資産を分けて保有しておくため」が上位。投資未経験理由は、「投資の知識がないから」、「そもそも投資に興味がないから」、「投資するための資金がないから」、「損をするのが怖いから」が上位。

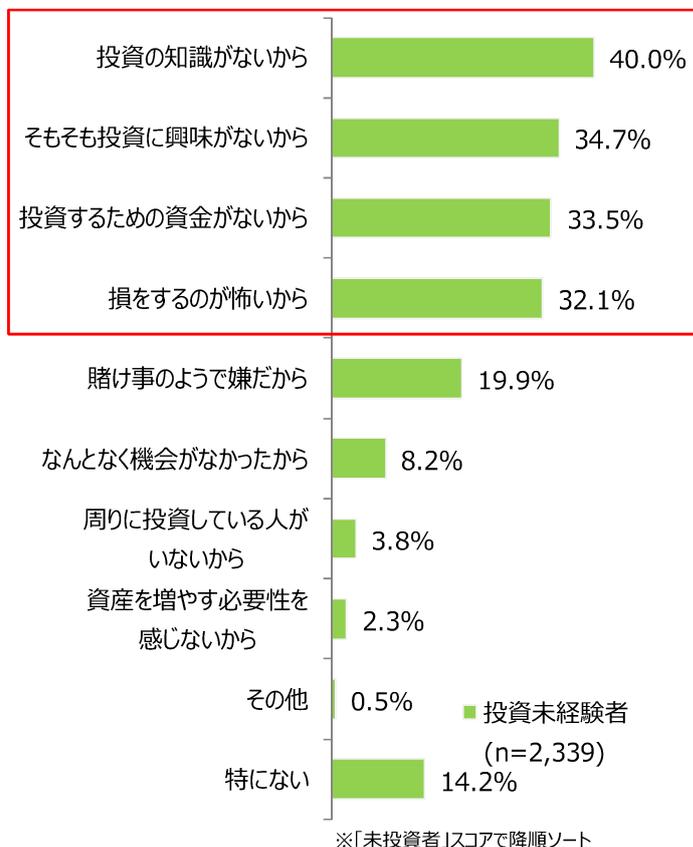
#### <投資経験>【ベース：TOTAL】



#### <投資理由>【ベース：投資経験者】



#### <投資未経験理由>【ベース：未投資者】

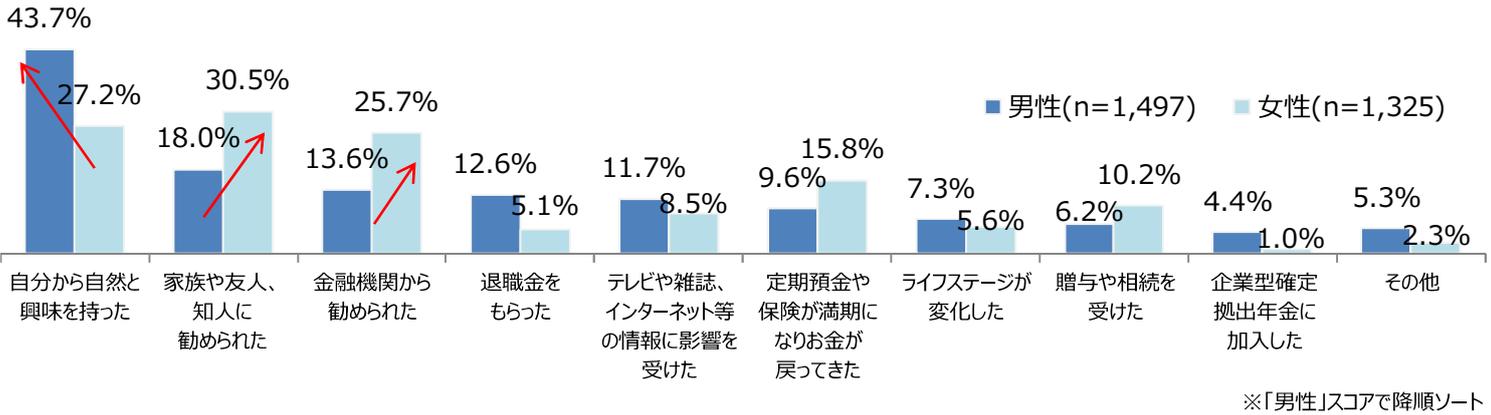


## 2. 調査結果の要約

### 投資のきっかけ／投資の経験・考え方

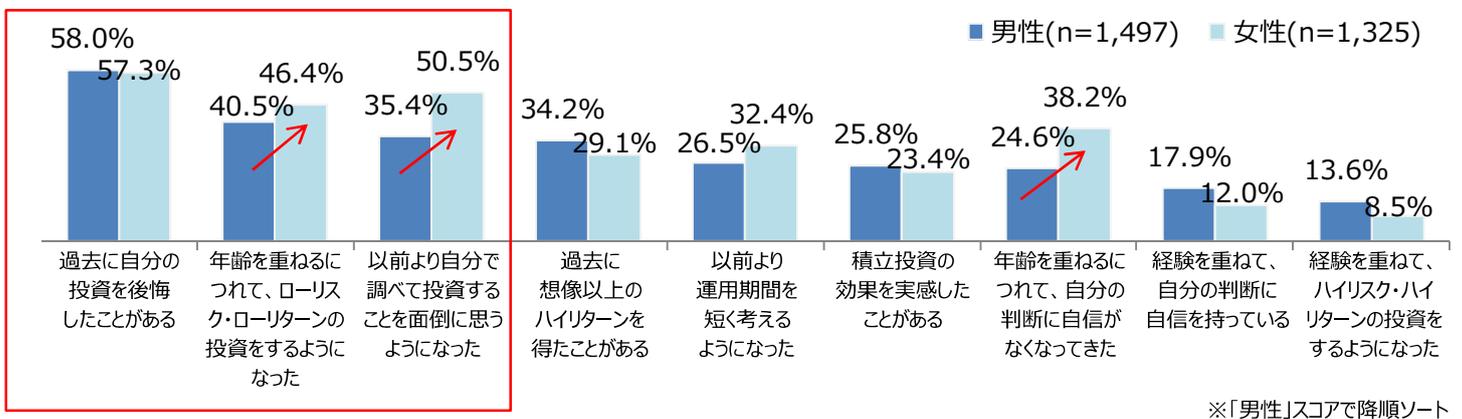
- 初めて投資をしたきっかけについて、男性では「自分から自然と興味を持った」が最も高く、他の項目と約 20 ポイント以上の差がある。  
一方、女性では「家族や友人、知人に勧められた」「金融機関から勧められた」が男性に比べ高い。

<投資のきっかけ>【ベース：投資経験者】



- 投資経験者の投資の経験・考え方は、男女ともに「過去に自分の投資を後悔したことがある」が最も高く、「年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターン投資をするようになった」、「以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」が続く。  
また、女性では「年齢を重ねるにつれて、自分の判断に自信がなくなってきた」、「以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」、「年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターン投資をするようになった」が男性に比べて高い。

<投資の経験・考え方>【ベース：投資経験者】



※あてはまる計：（「とてもあてはまる」+「あてはまる」）のスコア

## 2. 調査結果の要約

### 利用を検討してもよい金融商品

- 利用を検討してもよい金融商品は、「預貯金」が最も高く、次いで「株式」。「投資信託」は第3位だが、2位の「株式」とは9.9ポイント差
- 「株式」や「投資信託」の利用検討意向は、女性よりも男性で高い。

＜利用を検討してもよい金融商品＞【ベース：TOTAL】

		n=	預貯金	株式	投資信託	債券	保険商品	外貨 建て商品	不動産 投資信託	その他の 金融商品	金融商品 は利用を 検討しない
2022年 全体（構成比）		(3,986)	43.5	30.5	20.6	7.9	7.3	7.0	5.3	1.0	38.5
2021年 全体（構成比）		(2,852)	46.6	32.3	19.8	8.2	8.4	8.2	5.4	1.2	35.6
2020年 全体（構成比）		(2,737)	46.5	31.8	18.2	8.2	8.5	8.6	6.0	0.8	37.1
性別	男性	(2,361)	43.4	41.2	24.2	8.9	6.2	9.3	7.2	1.2	33.2
	女性	(2,800)	44.0	22.3	16.6	6.5	8.0	5.1	3.8	0.8	42.4

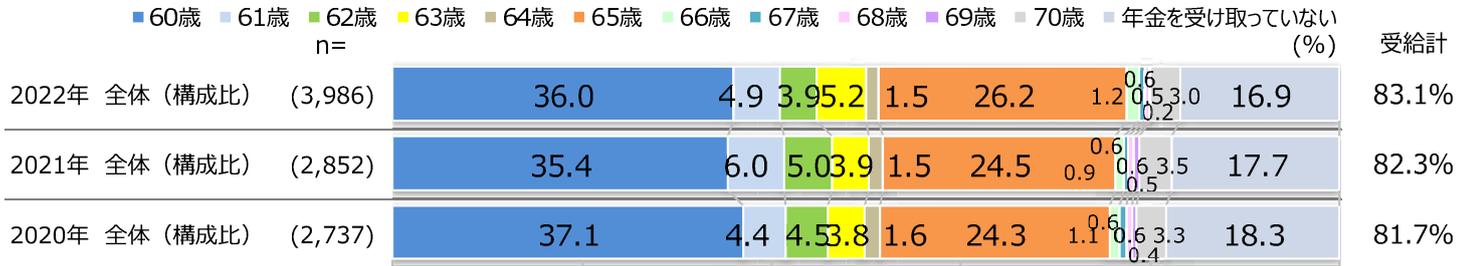
※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 2. 調査結果の要約

### 年金受給状況／老後のための資産形成の実態

- 年金を受け取っている割合は83.1%。受給開始年齢は「60歳」が最も高く、次いで「65歳」。

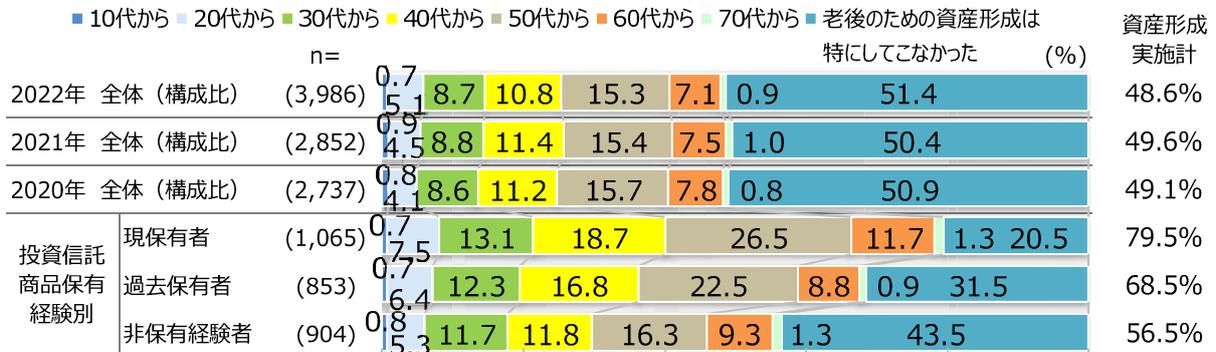
<年金受給状況/受給開始年齢>【ベース：TOTAL】



※受給計：（「60歳」～「70歳」）のスコア

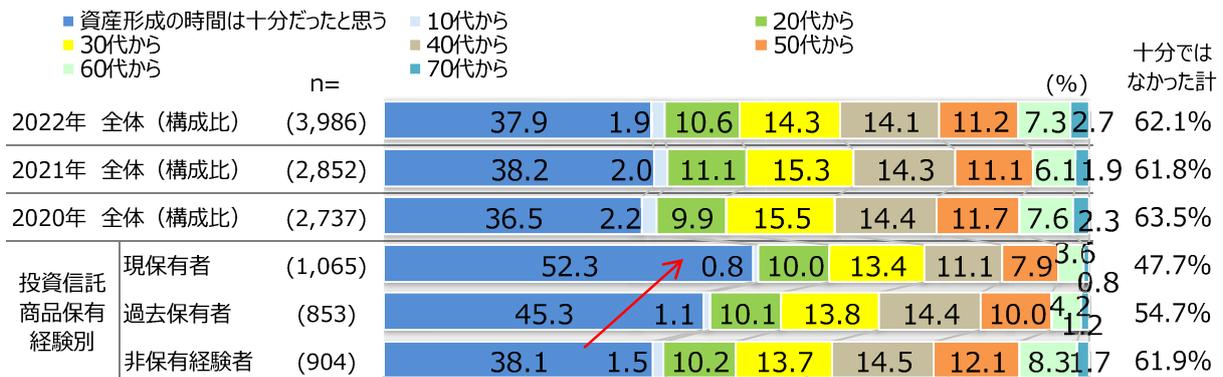
- 老後のための資産形成をしてきた割合は、48.6%とほぼ半数。
- 老後のための「資産形成の時間は十分だったと思う」人は37.9%にとどまり、資産形成が十分ではなかったと感じている人が62.1%を占める。投資信託商品保有経験別でみると、現保有者の「資産形成の時間は十分だったと思う」人は52.3%と高い割合を占める。非保有経験者と14.2ポイントの差が見られ、投資経験による差が目立つ。

<老後のための資産形成を始めた年齢>【ベース：TOTAL】



※資産形成実施計：（「10代から」～「70代から」）のスコア

<老後のための資産形成の十分さ>【ベース：TOTAL】



※十分ではなかった計：（「10代から」～「70代から」）のスコア

## 2. 調査結果の要約

### 退職金受取状況／退職金の使い道

- 退職金受け取りの割合は、59.6%。
- 退職金受取（予定）者の使い道は、「預貯金」が最も高い。以下、「日常生活費への充当」、「旅行等の趣味」、「住宅ローンの返済」が続く。  
「資産運用のための金融商品の購入」について、女性よりも男性で退職金使用率が高い。
- 退職金で購入した（する予定の）金融商品は、「株式」が最も高い。僅差で「投資信託」が続く。  
性別でみると、男性では「株式」が、女性では「保険商品」がそれぞれ高い。

#### <退職金受取状況>【ベース：TOTAL】

- 全額一時金で受け取った（受け取る予定）
  - 一部は一時金で受け取り、それ以外は年金で受け取った（受け取る予定）
  - 全額を年金で受け取った（受け取る予定）
  - 退職金はなかった（ない）
  - わからない
- n=

年次	性別	n	全額一時金で受け取った（受け取る予定）	一部は一時金で受け取り、それ以外は年金で受け取った（受け取る予定）	全額を年金で受け取った（受け取る予定）	退職金はなかった（ない）	わからない	受取計
2022年	全体	(3,986)	47.0	10.0	2.6	32.9	7.5	59.6%
2021年	全体	(2,852)	44.2	10.6	3.8	34.0	7.4	58.6%
2020年	全体	(2,737)	42.1	11.7	3.3	33.8	9.2	57.1%

※受取計：（「全額一時金で受け取った（受け取る予定）」～「全額を年金で受け取った（受け取る予定）」）のスコア

#### <退職金の使い道>【ベース：退職金受取（予定）者ベース】

性別		n	預貯金	日常生活費への充当	旅行等の趣味	住宅ローンの返済	資産運用のための金融商品の購入	住宅のリフォーム	家電など、耐久消費財の購入	子どもや孫の教育費や結婚費用等	開業・起業資金	その他	特にない
2022年 全体		(2,375)	59.3	25.6	21.7	20.8	20.3	19.0	11.0	8.3	1.8	3.5	9.7
2021年 全体		(1,671)	62.5	26.3	22.3	22.1	21.0	19.4	11.0	9.3	2.4	3.9	8.6
2020年 全体		(1,562)	58.8	30.0	26.2	23.1	21.2	18.5	11.9	10.4	2.5	2.8	6.5
男性	(1,808)	58.4	29.9	21.8	27.2	24.6	22.5	12.0	9.5	2.2	3.7	7.2	
女性	(1,282)	58.8	21.3	22.1	12.6	14.3	12.9	8.4	7.2	1.4	3.5	12.4	

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

#### <退職金で購入した金融商品>【ベース：金融商品購入（予定）者ベース】

性別		n	株式	投資信託	外貨建て商品	国内債券	保険商品	その他	わからない
2022年 全体		(481)	59.5	57.8	19.5	19.3	16.8	2.3	2.5
2021年 全体		(351)	59.5	52.1	12.8	21.4	19.1	3.1	2.8
2020年 全体		(331)	58.0	55.0	19.0	25.1	18.4	2.4	1.8
男性	(444)	66.0	57.4	18.5	19.1	12.8	2.9	2.9	
女性	(183)	49.2	56.3	19.1	21.3	23.5	1.6	0.5	

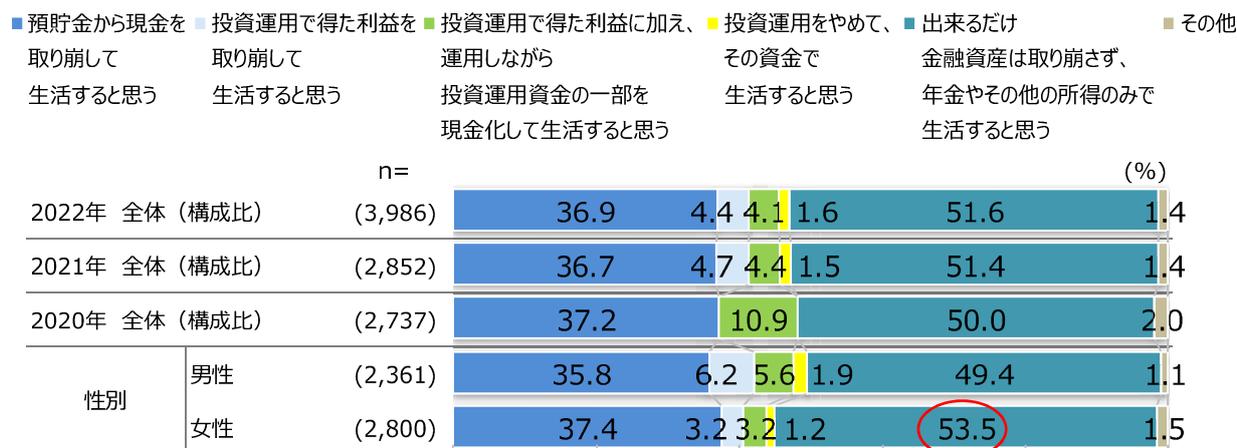
※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 2. 調査結果の要約

### 今後の金融資産の管理／金融商品購入時の意識

- 今後の金融資産に対する管理意識として、「出来るだけ金融資産は取り崩さず、年金やその他の所得のみで生活すると思う」（51.6%）が最も高く、次いで「預貯金等から現金を取り崩して生活すると思う」36.9%が続く。
- 性別で見ると、男性よりも女性で「出来るだけ金融資産は取り崩さず、年金やその他の所得のみで生活すると思う」が高い。

#### <今後の金融資産管理の意識>【ベース：TOTAL】

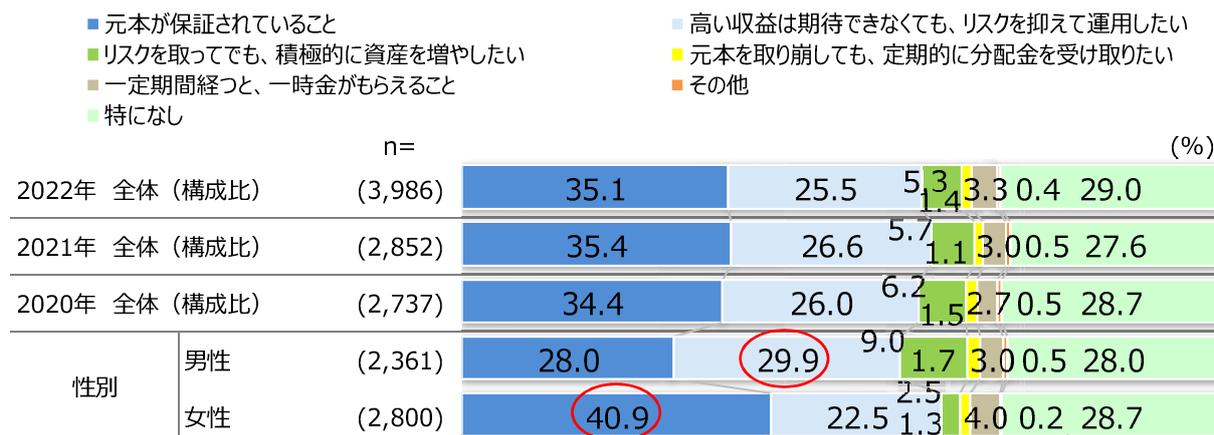


※「投資運用で得た利益に加え、運用しながら投資運用資金の一部を現金化して生活すると思う」について、2020年調査では「投資をし、運用しながら金融資産の一部を現金化し生活すると思う」で聴取

※2020年調査では「投資運用で得た利益を取り崩して生活すると思う」「投資運用をやめて、その資金で生活すると思う」は非聴取

- 今後、金融商品を購入する時の意識として、「元本が保証されていること」、「高い収益は期待できなくても、リスクを抑えて運用したい」の2つが高い。
- 性別で見ると、女性では「元本が保証されていること」が、男性では「高い収益は期待できなくても、リスクを抑えて運用したい」が高い。

#### <今後の金融商品購入時の意識>【ベース：TOTAL】

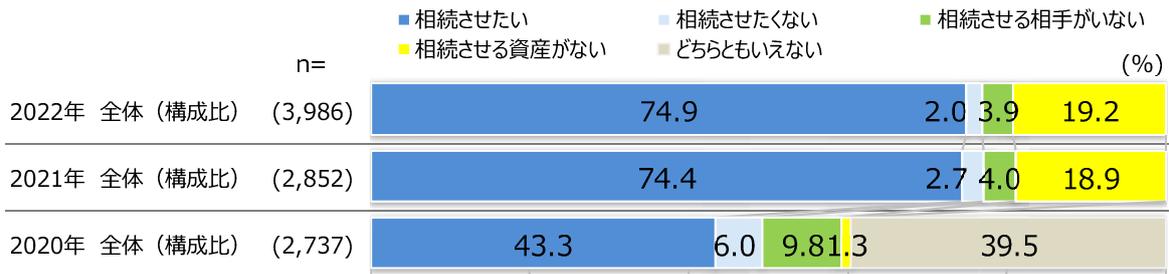


## 2. 調査結果の要約

### 資産の相続意向／引き継いでもらいたい資産／現金化意向

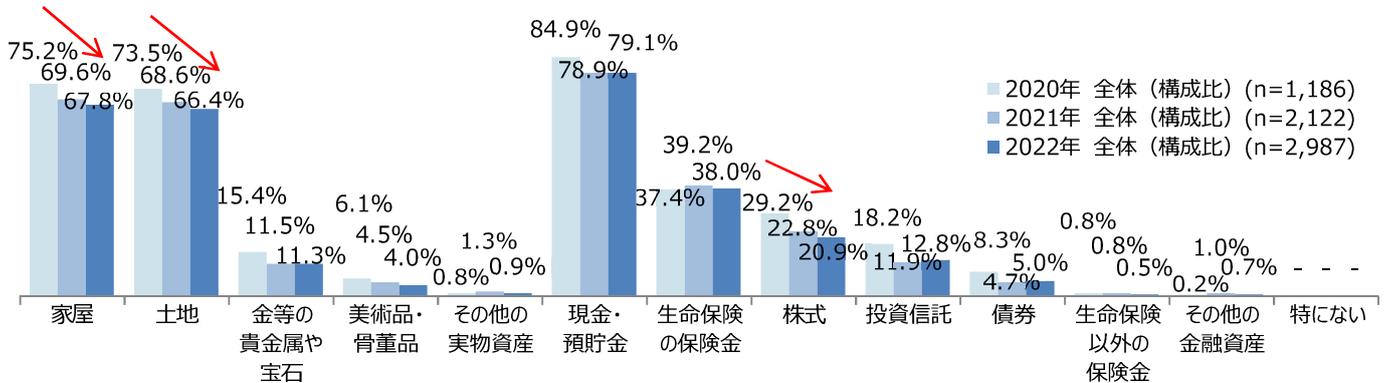
- 自分の財産の相続意向は、「相続させたい」が74.9%。
- 相続意向者における引き継いでもらいたい資産は、「現金・預貯金」、「家屋」、「土地」が上位に挙がる。時系列でみると、「株式」「家屋」「土地」は2020年調査から減少が続く。
- 金融資産相続意向者のうち、現金化意向者は23.2%。その内訳は、「金融商品は全て売却（現金化）」が14.4%、「金融商品は一部を売却（現金化）」が8.8%。

#### <資産の相続意向>【ベース：TOTAL】



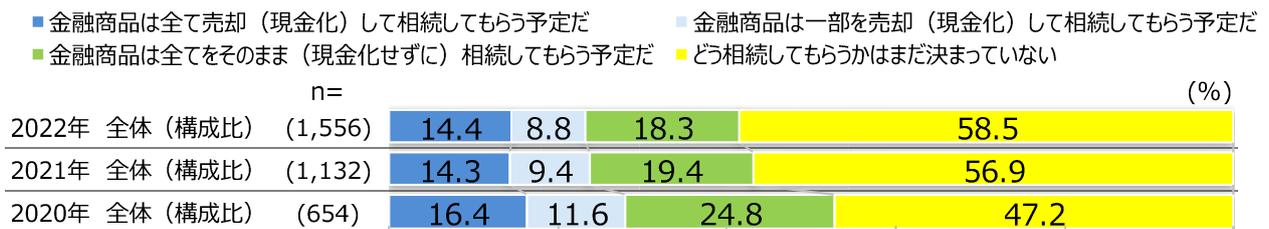
※2022・21年調査では「どちらともいえない」非聴取 ※2020年調査以前では「相続させる資産がない」非聴取  
 ※2022・21年調査と2020年調査以前では設問形式が異なるため、時系列データについては参考値

#### <引き継いでもらいたい資産>【ベース：相続意向者】



※カテゴリごとに「2022年 全体 (構成比)」スコアで降順ソート

#### <現金化意向>【ベース：預貯金以外の金融資産の相続意向者】



現金化意向 計 23.2%

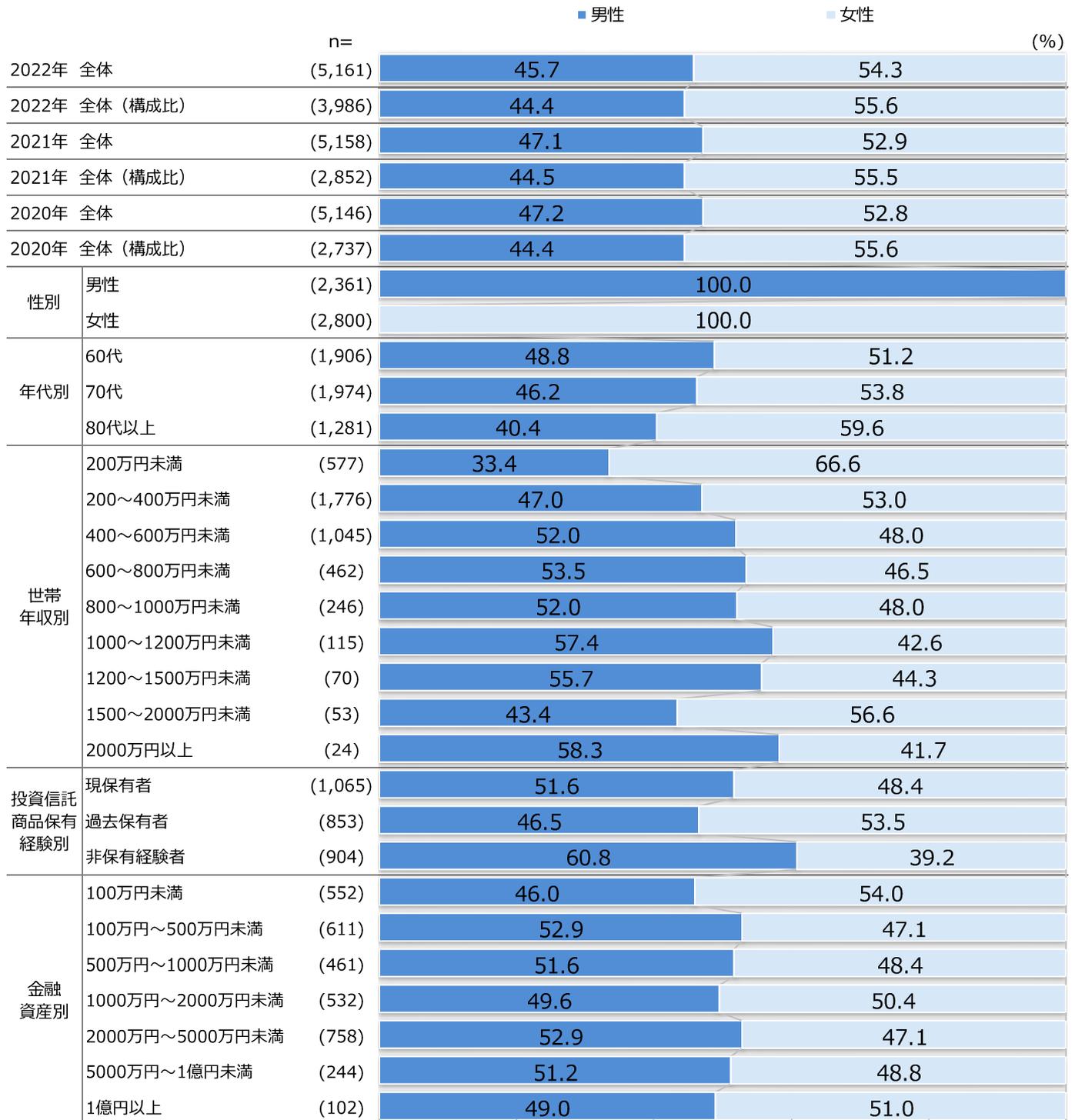
### 3. 回答者属性

---

### 3. 回答者属性

#### (1)性別

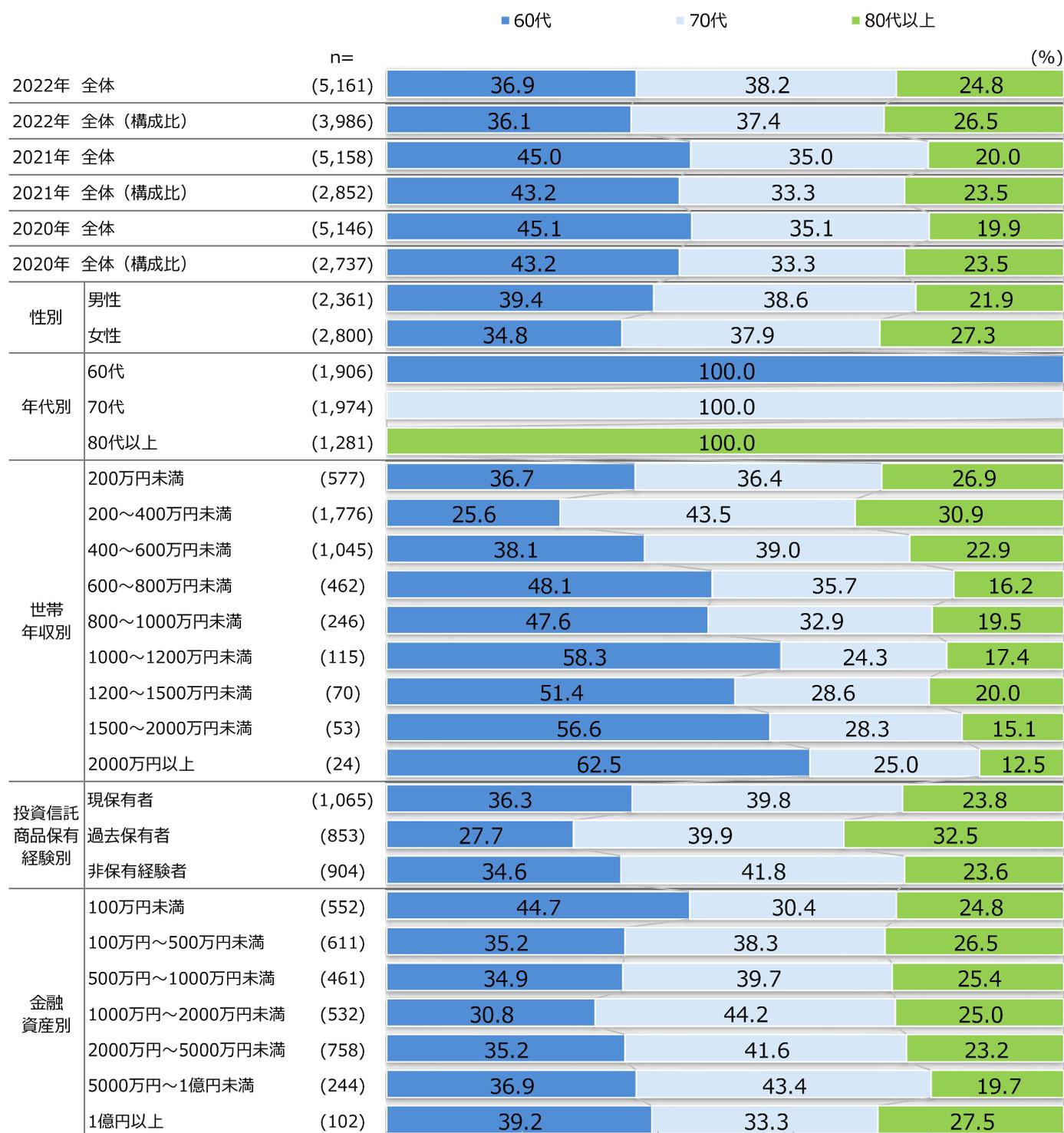
- 回答者の性別構成比は、「男性」が45.7%、「女性」が54.3%。
- 投資信託現保有者の性別構成比は、「男性」が51.6%、「女性」が48.4%。



### 3. 回答者属性

#### (2)年代別

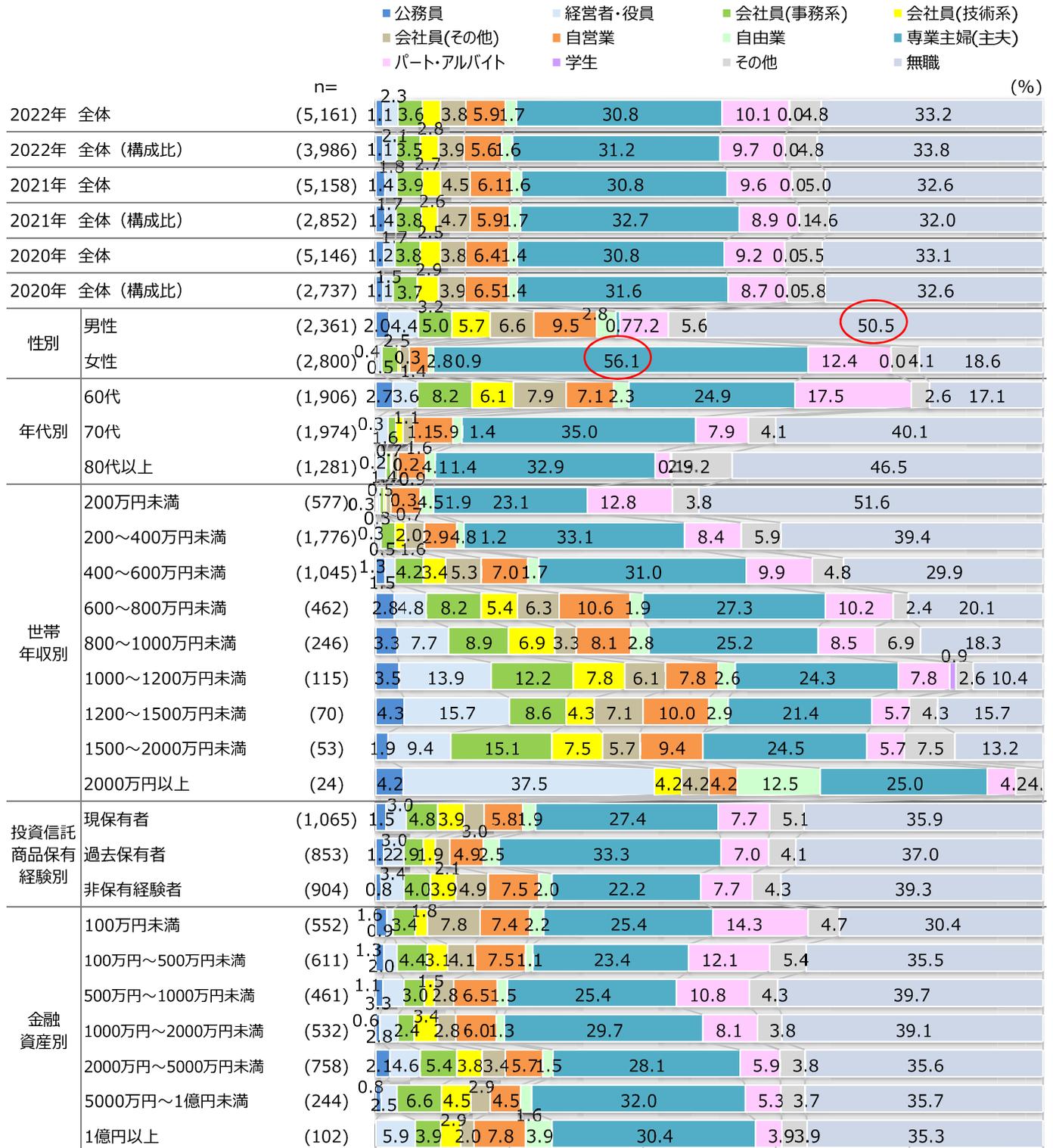
- 回答者の年代別構成比は、「60代」が36.9%、「70代」が38.2%、「80代以上」が24.8%。
- 投資信託現保有者の年代別構成比は、2022年の全体と同様の傾向。



### 3. 回答者属性

#### (3)職業

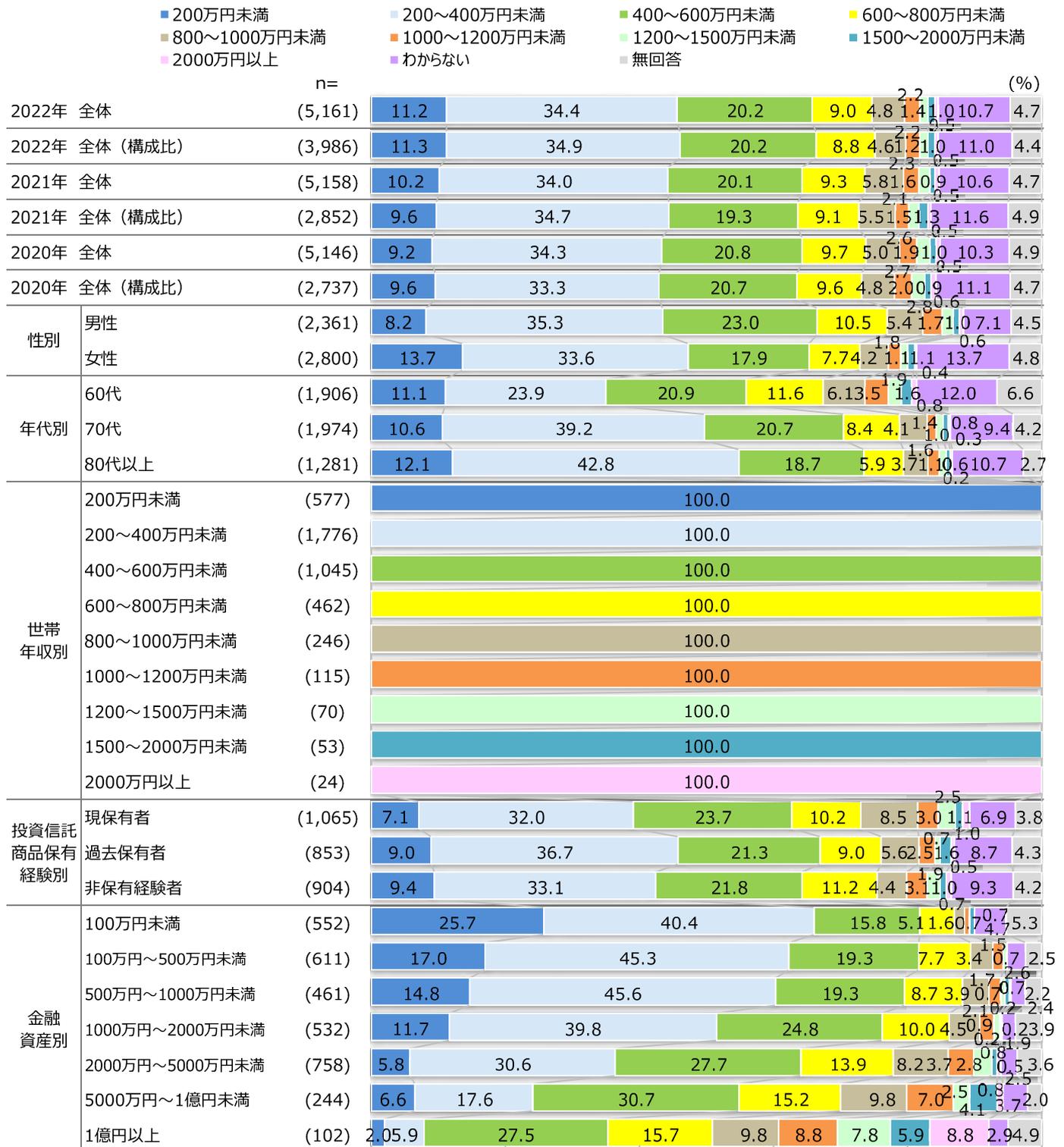
- 回答者の職業別構成比では、「専業主婦（主夫）」（30.8%）と「無職」（33.2%）が高い割合を占める。
- 性別で見ると、男性は「無職」、女性では「専業主婦」がそれぞれ半数以上を占めている。
- 投資信託現保有者の職業構成比は、2022年の全体と同様の傾向。



### 3. 回答者属性

#### (4)世帯年収

- 回答者の世帯年収別構成比では、「200～400万円未満」（34.4%）が最も多く、次いで「400～600万円未満」（20.2%）。
- 投資信託現保有者の世帯年収構成比は、2022年の全体と同様の傾向。



### 3. 回答者属性

#### (5)金融資産〔Q3:単一回答〕

- 回答者の金融資産別構成比では、「2,000万円～5,000万円未満」（14.7%）が最も高い割合を占める。平均値は2,416万円。
- 投資信託現保有者の金融資産構成比は、「2,000万円～5,000万円未満」（28.8%）が最も高く、平均値は4,381万円と2022年の全体を大きく上回る。

		n=	(%)										平均値 (万円)	
			100万円未満	100万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上	わからない・答えたくない				
2022年	全体	(5,161)	10.7	11.8	8.9	10.3	14.7	4.7	2.0	36.8			2,416	
2022年	全体 (構成比)	(3,986)	10.9	11.8	9.1	10.2	14.6	4.7	2.1	36.7			2,439	
2021年	全体	(5,158)	10.7	10.9	9.2	10.8	14.4	5.5	1.9	36.6			2,478	
2021年	全体 (構成比)	(2,852)	11.1	10.9	8.6	10.4	14.9	5.2	1.8	37.2			2,435	
2020年	全体	(5,146)	10.3	11.4	8.3	11.3	14.0	5.3	1.7	37.7			2,386	
2020年	全体 (構成比)	(2,737)	10.6	11.6	7.9	10.7	13.5	5.3	1.9	38.5			2,449	
性別	男性	(2,361)	10.8	13.7	10.1	11.2	17.0	5.3	2.1	29.9			2,432	
	女性	(2,800)	10.6	10.3	8.0	9.6	12.8	4.3	1.9	42.7			2,400	
年代別	60代	(1,906)	13.0	11.3	8.4	8.6	14.0	4.7	2.1	37.9			2,410	
	70代	(1,974)	8.5	11.9	9.3	11.9	16.0	5.4	1.7	35.4			2,467	
	80代以上	(1,281)	10.7	12.6	9.1	10.4	13.7	3.7	2.2	37.5			2,345	
世帯 年収別	200万円未満	(577)	24.6		18.0	11.8	10.7	7.6	2.8	0.3	24.1			1,133
	200～400万円未満	(1,776)	12.6	15.6	11.8	11.9	13.1	2.4	0.3	32.3			1,516	
	400～600万円未満	(1,045)	8.3	11.3	8.5	12.6	20.1	7.2	2.7	29.3			2,926	
	600～800万円未満	(462)	6.1	10.2	8.7	11.5	22.7	8.0	3.5	29.4			3,344	
	800～1000万円未満	(246)	3.7	8.5	7.3	9.8	25.2	9.8	4.1	31.7			3,888	
	1000～1200万円未満	(115)	3.5	7.8	7.0	9.6	24.3	14.8	7.8	25.2			5,010	
	1200～1500万円未満	(70)	5.7	4.3	7.1	30.0	8.6	11.4	32.9			6,159		
	1500～2000万円未満	(53)	7.5	5.7	1.9	11.3	18.9	11.3	43.4			7,332		
	2000万円以上	(24)	4.2	4.2	16.7	8.3	37.5	29.2			12,426			
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(1,065)	1.9	6.8	7.2	13.2	28.8	11.5	5.7	24.8			4,381	
	過去保有者	(853)	3.6	9.7	10.7	12.7	20.8	6.0	2.3	34.2			2,957	
	非保有経験者	(904)	9.8	14.6	12.1	11.6	15.4	4.4	1.4	30.6			2,121	
金融 資産別	100万円未満	(552)	100.0										50	
	100万円～500万円未満	(611)	100.0										300	
	500万円～1000万円未満	(461)	100.0										750	
	1000万円～2000万円未満	(532)	100.0										1,500	
	2000万円～5000万円未満	(758)	100.0										3,500	
	5000万円～1億円未満	(244)	100.0										7,500	
	1億円以上	(102)	100.0										20,000	

※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100万円～500万円未満：300万円 / 500万円～1,000万円未満：750万円 / 1,000万円～2,000万円未満：1,500万円 / 2,000万円～5,000万円未満：3,500万円 / 5,000万円～1億円未満：7,500万円 / 1億円以上：2億円

### 3. 回答者属性

#### (6) 家族構成(同居不問)(Q1:複数回答)

- 回答者の家族構成比では、「配偶者」(72.4%)、「子」(59.0%)、「兄弟姉妹」(31.0%)、「孫」(30.3%)の順に高い。家族の「いない」人は7.0%。
- 投資信託現保有者の家族構成は、2022年の全体と同様の傾向。

		n=	配偶者	親 (義理の親を含む)	子	兄弟姉妹	孫	その他	いない
2022年 全体		(5,161)	72.4	17.4	59.0	31.0	30.3	1.8	7.0
2022年 全体 (構成比)		(3,986)	71.0	17.5	58.6	31.0	30.2	1.9	7.6
2021年 全体		(5,158)	73.4	17.6	60.0	30.2	29.3	2.0	6.6
2021年 全体 (構成比)		(2,852)	72.1	17.7	60.0	29.7	29.5	1.9	7.2
2020年 全体		(5,146)	73.8	17.5	59.0	29.4	28.4	2.1	6.2
2020年 全体 (構成比)		(2,737)	72.3	17.1	59.0	28.8	28.2	2.3	6.5
性別	男性	(2,361)	83.4	19.7	59.4	33.0	30.4	1.2	5.6
	女性	(2,800)	63.1	15.5	58.7	29.3	30.2	2.4	8.1
年代別	60代	(1,906)	75.9	31.6	55.2	30.5	21.2	1.5	7.4
	70代	(1,974)	77.9	10.4	61.7	35.2	37.5	1.7	5.3
	80代以上	(1,281)	58.6	7.0	60.6	25.4	32.7	2.7	9.1
世帯 年収別	200万円未満	(577)	32.4	14.9	48.2	34.7	27.7	2.4	23.7
	200~400万円未満	(1,776)	72.0	13.3	55.2	33.0	33.8	1.3	6.9
	400~600万円未満	(1,045)	83.0	18.0	61.6	32.1	29.6	1.1	3.4
	600~800万円未満	(462)	85.1	22.5	64.5	29.2	26.4	1.5	2.4
	800~1000万円未満	(246)	80.5	25.6	74.0	27.6	27.6	3.3	1.6
	1000~1200万円未満	(115)	83.5	33.0	69.6	26.1	22.6	6.1	1.7
	1200~1500万円未満	(70)	91.4	34.3	90.0	35.7	40.0	4.3	-
	1500~2000万円未満	(53)	86.8	17.0	81.1	15.1	30.2	9.4	3.8
	2000万円以上	(24)	91.7	33.3	70.8	33.3	20.8	-	4.2
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(1,065)	73.9	17.6	59.7	34.3	32.6	1.8	7.4
	過去保有者	(853)	74.3	14.5	61.0	33.3	36.7	2.1	5.6
	非保有経験者	(904)	77.4	17.3	61.4	33.0	30.9	1.8	6.2
金融 資産別	100万円未満	(552)	59.8	16.8	57.4	27.2	25.5	2.0	12.7
	100万円~500万円未満	(611)	69.1	17.3	58.8	30.6	29.5	1.6	10.3
	500万円~1000万円未満	(461)	72.7	16.7	61.6	32.5	33.6	1.7	6.3
	1000万円~2000万円未満	(532)	71.8	19.2	63.9	39.5	39.5	1.1	4.7
	2000万円~5000万円未満	(758)	77.2	18.6	59.9	33.9	33.9	2.2	5.9
	5000万円~1億円未満	(244)	78.3	17.2	59.4	34.0	32.0	0.8	5.7
	1億円以上	(102)	72.5	27.5	59.8	36.3	23.5	3.9	8.8

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

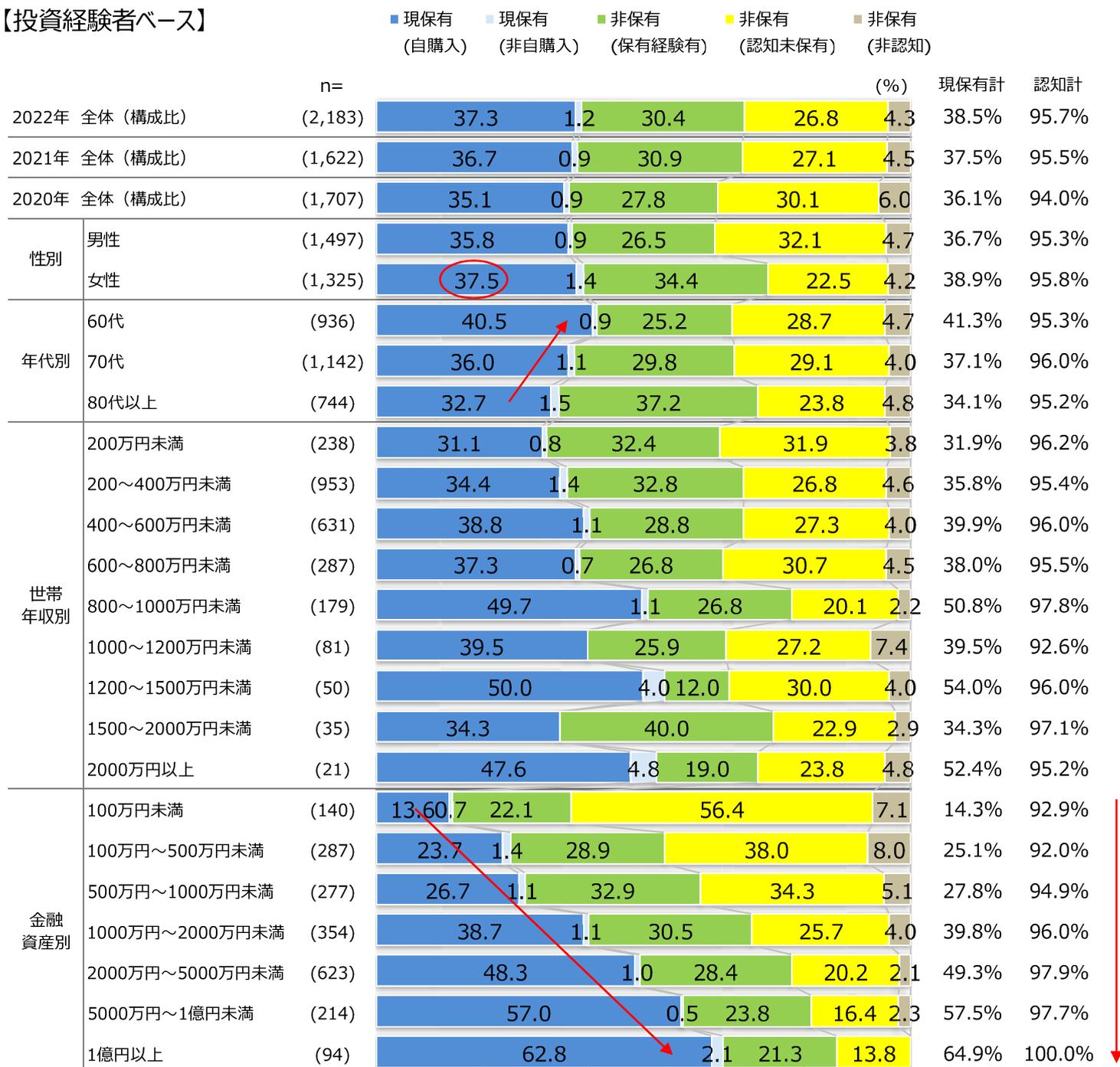
---

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (1) 投資信託の保有・認知状況(Q11S1:単一回答)

- 投資信託の現保有率は38.5%。その内訳は、自購入が37.3%、非自購入が1.2%。投資信託の認知率は95.7%。
- 性別で見ると、男性よりも女性の現保有率がやや高い。
- 年代別で見ると、年代が下がるほど現保有率が高い。なお、認知率には大きな差は見られない。
- 金融資産別で見ると、金融資産の金額が多くなるほど現保有率、認知率も高まる。  
※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資経験者ベース】



※現保有計: (「現保有(自購入)」+「現保有(非自購入)」) / 認知計: (「現保有(自購入)」~「非保有(認知未保有)」) のスコア

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-1)投資信託商品種類別 保有状況〔Q13:単一回答〕

- 保有している投資信託の種類は、「毎月・隔月分配型ファンド」(49.5%)が最も高く、僅差で「バランス型ファンド」(48.0%)が続く。以下、「インデックス型ファンド」(29.8%)、「不動産投資信託」(17.3%)、「ファンドラップ」(15.5%)、「アクティブ型ファンド」(15.4%)が続く。時系列でみると「毎月・隔月分配型ファンド」の保有率は減少傾向。
- 世帯年収別でみると、600万円未満では「毎月・隔月分配型ファンド」の保有が最も高いが、600万円以上になると「バランス型ファンド」の保有率が最も高い。※n=30 未満の軸は参考値

【投資信託保有者ベース】※「保有している」のスコア

		n=	毎月・隔月 分配型ファンド	バランス型 ファンド	インデックス型 ファンド	アクティブ型 ファンド	不動産 投資信託	ファンドラップ
2022年 全体 (構成比)		(840)	49.5	48.0	29.8	15.4	17.3	15.5
2021年 全体 (構成比)		(609)	53.4	51.6	32.3	14.0	18.2	15.3
2020年 全体 (構成比)		(616)	56.7	45.1	23.1	11.5	18.8	13.6
性別	男性	(550)	45.6	46.9	33.3	19.5	19.1	12.9
	女性	(515)	53.2	51.7	27.0	10.7	18.3	17.3
年代別	60代	(387)	35.7	48.3	35.1	19.6	15.8	11.9
	70代	(424)	57.1	53.5	29.5	15.1	19.8	15.1
	80代以上	(254)	57.1	43.3	24.0	8.7	21.3	19.7
世帯 年収別	200万円未満	(76)	53.9	46.1	34.2	22.4	18.4	13.2
	200~400万円未満	(341)	52.5	47.8	27.6	12.0	18.2	15.8
	400~600万円未満	(252)	55.6	51.6	30.6	12.3	20.2	14.7
	600~800万円未満	(109)	40.4	49.5	31.2	17.4	14.7	11.9
	800~1000万円未満	(91)	49.5	59.3	36.3	18.7	22.0	15.4
	1000~1200万円未満	(32)	40.6	46.9	31.3	18.8	21.9	21.9
	1200~1500万円未満	(27)	44.4	48.1	22.2	22.2	14.8	11.1
	1500~2000万円未満	(12)	25.0	33.3	50.0	33.3	33.3	50.0
金融 資産別	2000万円以上	(11)	27.3	63.6	36.4	45.5	9.1	9.1
	100万円未満	(20)	35.0	25.0	30.0	15.0	10.0	15.0
	100万円~500万円未満	(72)	38.9	36.1	26.4	9.7	12.5	11.1
	500万円~1000万円未満	(77)	45.5	53.2	26.0	9.1	13.0	9.1
	1000万円~2000万円未満	(141)	53.2	51.1	25.5	13.5	15.6	11.3
	2000万円~5000万円未満	(307)	48.2	55.4	32.9	17.3	21.5	17.6
	5000万円~1億円未満	(123)	54.5	54.5	39.0	20.3	23.6	17.9
1億円以上	(61)	54.1	57.4	37.7	31.1	31.1	26.2	

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-2)投資信託商品種別 保有理由【毎月・隔月分配型ファンド】(Q14S1:複数回答)

- 『毎月・隔月分配型ファンド』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」(63.0%)が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」(48.8%)が続く。
- 世帯年収別で見ると、200万円未満で「相続や贈与の資金のため」「自分の生活費のため」が高い。※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資信託「毎月・隔月分配型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(525)	63.0	48.8	11.0	27.0	24.4	20.0	6.7	14.1	32.2	1.5	5.5
2021年 全体		(616)	65.3	45.6	8.6	29.2	20.6	18.5	5.0	10.2	27.9	1.9	6.0
2020年 全体		(653)	64.9	43.2	7.7	29.7	21.7	18.1	5.4	11.2	25.9	1.7	5.7
性別	男性	(251)	59.8	55.0	11.2	36.3	27.5	19.1	4.8	15.1	39.0	2.4	2.4
	女性	(274)	66.1	43.1	10.9	18.6	21.5	20.8	8.4	13.1	25.9	0.7	8.4
年代別	60代	(138)	60.1	47.1	10.1	28.3	18.8	18.8	5.1	10.1	32.6	-	6.5
	70代	(242)	62.8	51.7	9.9	28.1	27.3	24.8	7.0	14.5	33.9	1.2	4.5
	80代以上	(145)	66.2	45.5	13.8	24.1	24.8	13.1	7.6	17.2	29.0	3.4	6.2
世帯年収別	200万円未満	(41)	53.7	29.3	17.1	36.6	22.0	17.1	7.3	2.4	14.6	2.4	7.3
	200~400万円未満	(179)	64.8	46.9	10.1	29.1	24.0	20.7	5.6	10.6	27.9	1.7	6.1
	400~600万円未満	(140)	63.6	53.6	13.6	25.7	27.1	22.9	7.1	15.7	35.7	1.4	3.6
	600~800万円未満	(44)	63.6	59.1	15.9	22.7	27.3	25.0	9.1	22.7	38.6	-	6.8
	800~1000万円未満	(45)	64.4	46.7	6.7	24.4	22.2	22.2	6.7	22.2	37.8	-	4.4
	1000~1200万円未満	(13)	46.2	61.5	7.7	30.8	23.1	7.7	7.7	7.7	23.1	-	7.7
	1200~1500万円未満	(12)	83.3	75.0	8.3	16.7	33.3	8.3	8.3	41.7	58.3	-	-
	1500~2000万円未満	(3)	33.3	66.7	-	-	33.3	-	-	33.3	100.0	-	-
	2000万円以上	(3)	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
金融資産別	100万円未満	(7)	-	28.6	14.3	28.6	-	-	14.3	14.3	42.9	-	-
	100万円~500万円未満	(28)	39.3	25.0	17.9	39.3	21.4	21.4	10.7	14.3	21.4	3.6	7.1
	500万円~1000万円未満	(35)	62.9	42.9	14.3	45.7	37.1	20.0	2.9	-	31.4	-	5.7
	1000万円~2000万円未満	(75)	58.7	49.3	9.3	29.3	21.3	24.0	10.7	20.0	33.3	1.3	6.7
	2000万円~5000万円未満	(148)	73.6	54.7	10.1	25.7	29.1	25.0	5.4	13.5	39.9	2.0	2.0
	5000万円~1億円未満	(67)	65.7	65.7	16.4	28.4	26.9	17.9	9.0	22.4	31.3	-	1.5
	1億円以上	(33)	57.6	57.6	15.2	12.1	21.2	21.2	3.0	18.2	33.3	6.1	12.1

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-3)投資信託商品種類別 保有理由【バランス型ファンド】(Q14S2:複数回答)

- 『バランス型ファンド』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」(65.5%)が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」(59.7%)が続く。
- 時系列で見ると、「資産を分けて保有しておくため」「将来の医療・介護費用の負担に備えるため」「投資そのものを楽しむため」が増加傾向。
- 年代別で見ると、80代以上で「将来の医療・介護費用の負担に備えるため」が高い。

【投資信託「バランス型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(524)	65.5	59.7	13.2	26.9	30.7	17.7	7.3	15.8	31.5	1.1	4.0
2021年 全体		(587)	66.4	53.5	9.0	26.1	25.4	16.5	7.8	12.6	29.6	1.5	6.5
2020年 全体		(532)	66.7	53.0	10.0	28.4	24.4	17.1	5.3	13.0	27.6	1.3	4.5
性別	男性	(258)	65.9	64.7	13.6	31.0	32.6	18.2	6.2	17.1	35.7	1.6	2.3
	女性	(266)	65.0	54.9	12.8	22.9	28.9	17.3	8.3	14.7	27.4	0.8	5.6
年代別	60代	(187)	62.0	57.2	14.4	28.3	29.4	16.6	4.3	12.3	29.4	-	5.3
	70代	(227)	69.2	62.6	10.1	25.1	29.1	20.3	7.9	16.7	33.5	0.9	3.5
	80代以上	(110)	63.6	58.2	17.3	28.2	36.4	14.5	10.9	20.0	30.9	3.6	2.7
世帯年収別	200万円未満	(35)	54.3	40.0	20.0	48.6	28.6	17.1	5.7	-	17.1	2.9	2.9
	200~400万円未満	(163)	68.7	54.6	11.7	29.4	31.3	18.4	5.5	14.7	27.6	1.2	5.5
	400~600万円未満	(130)	67.7	63.8	16.9	24.6	27.7	23.1	7.7	16.2	33.8	1.5	3.8
	600~800万円未満	(54)	59.3	72.2	22.2	20.4	38.9	18.5	13.0	27.8	42.6	-	3.7
	800~1000万円未満	(54)	57.4	55.6	7.4	24.1	33.3	18.5	9.3	22.2	44.4	-	1.9
	1000~1200万円未満	(15)	53.3	53.3	-	40.0	33.3	6.7	20.0	20.0	26.7	-	6.7
	1200~1500万円未満	(13)	84.6	76.9	15.4	7.7	46.2	7.7	-	15.4	38.5	-	-
	1500~2000万円未満	(4)	50.0	100.0	25.0	25.0	75.0	25.0	-	50.0	75.0	-	-
2000万円以上	(7)	71.4	57.1	-	-	14.3	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-	-
金融資産別	100万円未満	(5)	40.0	60.0	20.0	40.0	-	-	-	40.0	-	-	20.0
	100万円~500万円未満	(26)	42.3	50.0	34.6	46.2	26.9	23.1	15.4	19.2	30.8	3.8	3.8
	500万円~1000万円未満	(41)	65.9	51.2	14.6	53.7	43.9	19.5	4.9	12.2	39.0	-	-
	1000万円~2000万円未満	(72)	59.7	56.9	11.1	26.4	33.3	16.7	8.3	19.4	29.2	1.4	6.9
	2000万円~5000万円未満	(170)	68.8	65.9	11.2	24.1	33.5	20.6	7.6	14.1	36.5	1.2	1.8
	5000万円~1億円未満	(67)	67.2	73.1	16.4	25.4	28.4	14.9	7.5	22.4	29.9	-	1.5
	1億円以上	(35)	62.9	54.3	14.3	11.4	20.0	22.9	5.7	20.0	31.4	5.7	5.7

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-4)投資信託商品種類別 保有理由【インデックス型ファンド】(Q14S3:複数回答)

- 『インデックス型ファンド』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」「資産を分けて保有しておくため」（いずれも62.4%）がトップ。
- 金融資産別でみると、金融資産が2000万円を超えると「資産を分けて保有しておくため」が高くなり、保有理由の1位に挙がる。※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資信託「インデックス型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(322)	62.4	62.4	11.8	22.0	28.0	17.4	7.8	15.8	36.6	0.3	3.1
2021年 全体		(350)	63.7	54.6	8.6	28.9	26.0	19.1	8.6	15.7	37.1	1.4	3.4
2020年 全体		(279)	66.3	52.7	10.8	21.9	25.4	16.1	7.5	12.5	35.1	0.7	2.5
性別	男性	(183)	62.3	64.5	11.5	27.3	33.9	16.9	4.9	16.4	37.7	-	1.6
	女性	(139)	62.6	59.7	12.2	15.1	20.1	18.0	11.5	15.1	35.3	0.7	5.0
年代別	60代	(136)	60.3	58.8	14.7	23.5	27.2	16.2	6.6	13.2	33.8	-	3.7
	70代	(125)	67.2	64.8	9.6	22.4	28.8	21.6	9.6	19.2	40.0	-	3.2
	80代以上	(61)	57.4	65.6	9.8	18.0	27.9	11.5	6.6	14.8	36.1	1.6	1.6
世帯年収別	200万円未満	(26)	46.2	42.3	23.1	34.6	23.1	15.4	7.7	7.7	23.1	-	3.8
	200~400万円未満	(94)	64.9	57.4	8.5	28.7	35.1	16.0	8.5	17.0	36.2	-	6.4
	400~600万円未満	(77)	66.2	70.1	18.2	18.2	26.0	20.8	5.2	15.6	33.8	-	1.3
	600~800万円未満	(34)	64.7	70.6	2.9	17.6	29.4	20.6	11.8	17.6	44.1	-	2.9
	800~1000万円未満	(33)	48.5	60.6	12.1	24.2	30.3	18.2	6.1	21.2	45.5	-	3.0
	1000~1200万円未満	(10)	30.0	50.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0	30.0	-	-
	1200~1500万円未満	(6)	100.0	83.3	-	-	16.7	16.7	-	16.7	50.0	-	-
	1500~2000万円未満	(6)	66.7	50.0	16.7	16.7	50.0	50.0	16.7	50.0	66.7	-	-
2000万円以上	(4)	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	
金融資産別	100万円未満	(6)	33.3	16.7	16.7	50.0	16.7	-	16.7	-	16.7	-	16.7
	100万円~500万円未満	(19)	52.6	47.4	21.1	31.6	36.8	31.6	15.8	26.3	26.3	-	-
	500万円~1000万円未満	(20)	60.0	65.0	25.0	45.0	50.0	35.0	5.0	10.0	50.0	-	-
	1000万円~2000万円未満	(36)	58.3	55.6	11.1	22.2	30.6	13.9	11.1	22.2	41.7	-	8.3
	2000万円~5000万円未満	(101)	65.3	70.3	10.9	16.8	28.7	15.8	4.0	16.8	39.6	-	4.0
	5000万円~1億円未満	(48)	58.3	70.8	6.3	27.1	22.9	16.7	4.2	14.6	37.5	-	2.1
	1億円以上	(23)	56.5	60.9	8.7	8.7	17.4	13.0	8.7	21.7	30.4	4.3	-

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-5)投資信託商品種別 保有理由【アクティブ型ファンド】〔Q14S4:複数回答〕

- 『アクティブ型ファンド』の保有理由は、「資産を分けて保有しておくため」(64.8%)が最も高く、「預貯金の金利が低いから」(63.0%)「投資そのものを楽しむため」(38.3%)が続く。
- 年代別で見ると、年代が高くなるにつれて「自分の生活費のため」「将来の医療・介護費用の負担に備えるため」「投資そのものを楽しむため」が高い。
- 2021年調査と比べると、「資産を分けて保有しておくため」が増加。  
2020年以降、「将来の医療・介護費用の負担に備えるため」は増加傾向。

【投資信託「アクティブ型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(162)	63.0	64.8	16.7	25.9	34.0	17.9	8.6	19.1	38.3	0.6	3.1
2021年 全体		(167)	62.9	53.9	12.6	28.7	28.7	18.0	6.6	15.6	42.5	1.2	0.6
2020年 全体		(133)	66.9	67.7	14.3	26.3	25.6	27.1	7.5	12.0	42.1	-	1.5
性別	男性	(107)	63.6	66.4	16.8	29.9	38.3	17.8	4.7	17.8	37.4	-	1.9
	女性	(55)	61.8	61.8	16.4	18.2	25.5	18.2	16.4	21.8	40.0	1.8	5.5
年代別	60代	(76)	59.2	65.8	19.7	21.1	30.3	19.7	7.9	14.5	34.2	-	3.9
	70代	(64)	68.8	70.3	7.8	29.7	35.9	17.2	7.8	25.0	40.6	-	3.1
	80代以上	(22)	59.1	45.5	31.8	31.8	40.9	13.6	13.6	18.2	45.5	4.5	-
世帯年収別	200万円未満	(17)	52.9	41.2	29.4	52.9	41.2	11.8	11.8	5.9	23.5	-	-
	200~400万円未満	(41)	68.3	56.1	9.8	26.8	36.6	14.6	4.9	19.5	36.6	-	4.9
	400~600万円未満	(31)	58.1	77.4	25.8	32.3	25.8	16.1	6.5	16.1	38.7	-	-
	600~800万円未満	(19)	57.9	73.7	10.5	10.5	31.6	15.8	21.1	21.1	36.8	-	5.3
	800~1000万円未満	(17)	58.8	58.8	11.8	29.4	47.1	11.8	5.9	23.5	41.2	-	5.9
	1000~1200万円未満	(6)	66.7	33.3	16.7	-	16.7	50.0	-	16.7	33.3	-	-
	1200~1500万円未満	(6)	83.3	100.0	33.3	16.7	66.7	16.7	16.7	33.3	66.7	-	-
	1500~2000万円未満	(4)	50.0	75.0	25.0	25.0	75.0	75.0	25.0	75.0	75.0	-	-
	2000万円以上	(5)	80.0	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-
金融資産別	100万円未満	(3)	66.7	66.7	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
	100万円~500万円未満	(7)	57.1	42.9	42.9	42.9	71.4	42.9	14.3	14.3	28.6	-	-
	500万円~1000万円未満	(7)	42.9	57.1	42.9	85.7	57.1	57.1	-	14.3	42.9	-	-
	1000万円~2000万円未満	(19)	63.2	47.4	21.1	31.6	26.3	21.1	10.5	21.1	42.1	-	10.5
	2000万円~5000万円未満	(53)	64.2	69.8	9.4	18.9	35.8	15.1	7.5	20.8	43.4	-	-
	5000万円~1億円未満	(25)	52.0	84.0	12.0	28.0	36.0	8.0	4.0	16.0	32.0	-	4.0
	1億円以上	(19)	57.9	52.6	10.5	10.5	15.8	21.1	5.3	15.8	31.6	5.3	5.3

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-6)投資信託商品種別 保有理由【不動産投資信託】〔Q14S5:複数回答〕

- 『不動産投資信託』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」（65.6%）が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」（61.9%）が続く。
- 2021年調査と比べると、「資産を分けて保有しておくため」がやや増加。
- 性別でみると、男性で「資産を分けて保有しておくため」が高い。

【投資信託「不動産投資信託」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(218)	65.6	61.9	13.3	29.8	27.1	13.8	11.5	18.8	34.9	2.3	3.7
2021年 全体		(229)	67.7	54.6	10.9	33.2	27.1	18.8	8.3	15.3	34.9	2.2	3.1
2020年 全体		(239)	67.8	55.6	8.4	28.9	21.3	20.5	4.6	13.0	33.9	1.3	3.3
性別	男性	(120)	62.5	66.7	10.8	33.3	27.5	13.3	8.3	18.3	35.8	3.3	3.3
	女性	(98)	69.4	56.1	16.3	25.5	26.5	14.3	15.3	19.4	33.7	1.0	4.1
年代別	60代	(67)	59.7	68.7	11.9	29.9	13.4	16.4	10.4	14.9	41.8	-	4.5
	70代	(92)	66.3	58.7	12.0	30.4	32.6	14.1	5.4	16.3	32.6	3.3	3.3
	80代以上	(59)	71.2	59.3	16.9	28.8	33.9	10.2	22.0	27.1	30.5	3.4	3.4
世帯年収別	200万円未満	(16)	56.3	43.8	31.3	56.3	31.3	6.3	18.8	6.3	25.0	6.3	-
	200~400万円未満	(70)	68.6	52.9	10.0	30.0	31.4	12.9	8.6	15.7	32.9	4.3	-
	400~600万円未満	(56)	69.6	69.6	16.1	28.6	23.2	10.7	8.9	21.4	28.6	-	7.1
	600~800万円未満	(17)	58.8	70.6	5.9	5.9	23.5	29.4	17.6	23.5	52.9	-	11.8
	800~1000万円未満	(22)	68.2	59.1	13.6	50.0	31.8	22.7	9.1	27.3	50.0	-	-
	1000~1200万円未満	(8)	62.5	87.5	12.5	25.0	25.0	-	12.5	12.5	25.0	-	-
	1200~1500万円未満	(4)	75.0	75.0	-	-	-	-	25.0	50.0	-	-	-
	1500~2000万円未満	(4)	75.0	100.0	25.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-
2000万円以上	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
金融資産別	100万円未満	(3)	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	100万円~500万円未満	(10)	50.0	40.0	20.0	40.0	20.0	30.0	20.0	20.0	30.0	10.0	-
	500万円~1000万円未満	(12)	66.7	66.7	25.0	58.3	41.7	33.3	16.7	16.7	25.0	-	-
	1000万円~2000万円未満	(26)	61.5	50.0	15.4	34.6	30.8	11.5	15.4	23.1	46.2	3.8	-
	2000万円~5000万円未満	(70)	75.7	67.1	12.9	28.6	27.1	17.1	10.0	22.9	41.4	1.4	1.4
	5000万円~1億円未満	(30)	60.0	63.3	10.0	26.7	33.3	3.3	10.0	20.0	30.0	-	3.3
	1億円以上	(21)	61.9	61.9	9.5	19.0	4.8	9.5	4.8	9.5	23.8	4.8	14.3

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (2-7)投資信託商品種類別 保有理由【ファンドラップ】〔Q14S6:複数回答〕

- 『ファンドラップ』の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」（66.0%）が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」（56.2%）が続く。  
時系列で見ると「資産を分けて保有しておくため」は増加傾向。
- 性別で見ると、男性では「預貯金の金利が低いから」「資産を分けて保有しておくため」が、女性では「経済について学ぶため」が高い。

#### 【投資信託「ファンドラップ」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(235)	66.0	56.2	17.0	25.1	34.5	23.4	8.9	17.4	26.8	1.3	4.3
2021年 全体		(241)	68.9	48.1	14.1	27.4	30.3	13.7	8.3	12.4	28.6	2.5	8.3
2020年 全体		(206)	66.0	47.1	17.0	28.6	31.6	19.9	9.2	14.1	29.1	1.9	4.4
性別	男性	(102)	72.5	63.7	17.6	27.5	32.4	26.5	5.9	11.8	26.5	-	2.0
	女性	(133)	60.9	50.4	16.5	23.3	36.1	21.1	11.3	21.8	27.1	2.3	6.0
年代別	60代	(72)	72.2	58.3	20.8	34.7	34.7	38.9	9.7	19.4	25.0	-	1.4
	70代	(91)	67.0	59.3	12.1	16.5	33.0	17.6	5.5	14.3	30.8	-	6.6
	80代以上	(72)	58.3	50.0	19.4	26.4	36.1	15.3	12.5	19.4	23.6	4.2	4.2
世帯年収別	200万円未満	(18)	44.4	27.8	27.8	55.6	44.4	11.1	5.6	16.7	16.7	-	5.6
	200~400万円未満	(71)	71.8	56.3	15.5	28.2	39.4	18.3	7.0	12.7	18.3	-	7.0
	400~600万円未満	(55)	72.7	54.5	14.5	25.5	29.1	21.8	7.3	9.1	21.8	1.8	3.6
	600~800万円未満	(28)	64.3	71.4	28.6	10.7	32.1	28.6	14.3	32.1	32.1	-	-
	800~1000万円未満	(16)	75.0	68.8	25.0	31.3	37.5	37.5	6.3	25.0	43.8	-	-
	1000~1200万円未満	(12)	33.3	41.7	16.7	16.7	25.0	50.0	33.3	33.3	50.0	-	8.3
	1200~1500万円未満	(3)	66.7	66.7	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	-	-
	1500~2000万円未満	(7)	42.9	71.4	14.3	14.3	85.7	42.9	14.3	42.9	57.1	-	-
2000万円以上	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
金融資産別	100万円未満	(13)	30.8	30.8	15.4	23.1	30.8	23.1	7.7	38.5	15.4	-	15.4
	100万円~500万円未満	(19)	52.6	47.4	21.1	31.6	31.6	31.6	21.1	26.3	31.6	-	-
	500万円~1000万円未満	(16)	56.3	50.0	25.0	50.0	56.3	31.3	12.5	12.5	25.0	-	6.3
	1000万円~2000万円未満	(20)	75.0	75.0	25.0	25.0	45.0	15.0	15.0	15.0	25.0	-	5.0
	2000万円~5000万円未満	(66)	69.7	62.1	13.6	27.3	43.9	34.8	10.6	15.2	34.8	-	1.5
	5000万円~1億円未満	(29)	62.1	62.1	31.0	24.1	27.6	13.8	3.4	17.2	27.6	-	3.4
	1億円以上	(18)	66.7	61.1	22.2	16.7	27.8	33.3	11.1	27.8	33.3	11.1	-

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-1)投資信託商品種別 興味状況〔Q13:単一回答〕

- 現在保有していないが、興味はある投資信託の種類は、全体的に低い。
- その中でも興味度の高い種類は「ファンドラップ」（13.5%）。以下、「バランス型ファンド」（11.1%）、「インデックス型ファンド」（10.1%）、「毎月・隔月分配型ファンド」（10.0%）、「アクティブ型ファンド」（8.1%）、「不動産投資信託」（6.9%）の順。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど、いずれの種類への興味度も高くなる傾向が見られる。

※n=30 未満の軸は参考値

		(%)						
※「保有していないが、興味はある」のスコア		毎月・隔月 分配型ファンド	バランス型 ファンド	インデックス型 ファンド	アクティブ型 ファンド	不動産 投資信託	ファンドラップ	
n=								
2022年 全体（構成比）		(3,986)	10.0	11.1	10.1	8.1	6.9	13.5
2021年 全体（構成比）		(2,852)	10.2	11.6	9.9	8.7	7.7	14.2
2020年 全体（構成比）		(2,737)	9.1	11.3	10.7	8.4	8.2	11.0
性別	男性	(2,361)	10.5	13.4	12.1	10.9	8.2	15.3
	女性	(2,800)	10.0	9.5	8.5	5.9	6.2	11.9
年代別	60代	(1,906)	11.8	12.5	11.7	9.4	7.6	14.7
	70代	(1,974)	9.5	11.0	8.9	6.6	6.6	12.3
	80代以上	(1,281)	9.1	9.9	9.8	8.7	7.1	13.3
世帯 年収別	200万円未満	(577)	7.3	6.9	8.0	3.6	5.2	9.4
	200～400万円未満	(1,776)	9.9	10.1	8.8	7.3	6.5	12.5
	400～600万円未満	(1,045)	11.4	14.0	11.3	9.1	8.1	14.7
	600～800万円未満	(462)	13.2	14.7	12.8	10.6	9.5	16.9
	800～1000万円未満	(246)	12.6	14.2	14.6	13.8	11.0	16.7
	1000～1200万円未満	(115)	15.7	19.1	20.9	19.1	10.4	21.7
	1200～1500万円未満	(70)	11.4	18.6	17.1	17.1	11.4	15.7
	1500～2000万円未満	(53)	13.2	13.2	9.4	11.3	1.9	17.0
	2000万円以上	(24)	20.8	20.8	25.0	20.8	20.8	20.8
金融 資産別	100万円未満	(552)	6.0	5.8	5.1	4.0	4.5	13.8
	100万円～500万円未満	(611)	13.4	12.6	9.0	7.7	6.4	13.6
	500万円～1000万円未満	(461)	14.8	13.0	12.8	10.2	8.9	15.0
	1000万円～2000万円未満	(532)	12.0	13.3	13.2	8.5	9.2	15.4
	2000万円～5000万円未満	(758)	15.0	17.9	17.2	16.1	12.5	16.5
	5000万円～1億円未満	(244)	11.9	18.9	15.2	17.2	11.1	16.4
	1億円以上	(102)	12.7	12.7	26.5	18.6	16.7	22.5

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-2)投資信託商品種別 興味理由【毎月・隔月分配型ファンド】(Q14S1:複数回答)

- 『毎月・隔月分配型ファンド』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」(60.2%)が最も高い。以下、「資産を分けて保有しておくため」(41.4%)、「自分の生活費のため」(37.6%)、「将来の医療・介護費用の負担に備えるため」(30.6%)が続く。
- 性別でみると、男性で「預貯金の金利が低いから」「資産を分けて保有しておくため」が高い。

#### 【投資信託「毎月・隔月分配型ファンド」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(527)	60.2	41.4	9.1	37.6	30.6	20.9	8.7	15.0	27.5	0.4	4.9
2021年 全体		(525)	61.9	35.0	9.5	33.1	30.7	18.1	9.5	16.2	33.0	0.6	5.1
2020年 全体		(469)	64.2	35.0	8.1	38.6	30.9	23.0	7.0	16.8	29.9	-	5.3
性別	男性	(247)	63.6	45.7	8.5	37.2	31.6	18.6	11.7	15.4	27.9	0.4	4.0
	女性	(280)	57.1	37.5	9.6	37.9	29.6	22.9	6.1	14.6	27.1	0.4	5.7
年代別	60代	(224)	59.8	40.2	8.9	41.5	33.9	23.2	6.7	16.1	25.0	-	4.9
	70代	(187)	59.9	41.7	5.3	35.3	23.5	16.0	7.5	13.4	28.3	1.1	5.3
	80代以上	(116)	61.2	43.1	15.5	33.6	35.3	24.1	14.7	15.5	31.0	-	4.3
世帯年収別	200万円未満	(42)	61.9	33.3	7.1	52.4	28.6	19.0	9.5	11.9	26.2	-	2.4
	200~400万円未満	(176)	59.1	33.0	8.0	39.8	29.5	22.2	6.8	11.9	28.4	-	5.1
	400~600万円未満	(119)	61.3	51.3	10.9	39.5	29.4	17.6	12.6	12.6	22.7	1.7	5.0
	600~800万円未満	(61)	65.6	52.5	9.8	32.8	32.8	18.0	6.6	27.9	34.4	-	3.3
	800~1000万円未満	(31)	54.8	45.2	12.9	35.5	32.3	22.6	3.2	16.1	35.5	-	3.2
	1000~1200万円未満	(18)	66.7	50.0	5.6	16.7	38.9	27.8	16.7	27.8	16.7	-	5.6
	1200~1500万円未満	(8)	62.5	62.5	25.0	12.5	50.0	25.0	12.5	12.5	37.5	-	-
	1500~2000万円未満	(7)	42.9	28.6	28.6	28.6	57.1	57.1	14.3	28.6	28.6	-	-
2000万円以上	(5)	60.0	60.0	-	-	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	-	20.0	
金融資産別	100万円未満	(33)	48.5	24.2	9.1	48.5	30.3	33.3	3.0	33.3	21.2	-	6.1
	100万円~500万円未満	(82)	52.4	41.5	12.2	52.4	32.9	17.1	9.8	11.0	22.0	2.4	6.1
	500万円~1000万円未満	(68)	58.8	35.3	7.4	45.6	33.8	29.4	4.4	17.6	27.9	-	4.4
	1000万円~2000万円未満	(64)	75.0	48.4	7.8	35.9	37.5	14.1	12.5	12.5	23.4	-	4.7
	2000万円~5000万円未満	(114)	57.9	60.5	9.6	32.5	26.3	23.7	11.4	19.3	36.0	-	0.9
	5000万円~1億円未満	(29)	72.4	51.7	17.2	31.0	31.0	17.2	3.4	13.8	34.5	-	3.4
	1億円以上	(13)	61.5	46.2	15.4	15.4	46.2	38.5	15.4	15.4	23.1	-	7.7

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-3)投資信託商品種類別 興味理由【バランス型ファンド】(Q14S2:複数回答)

- 『バランス型ファンド』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」(62.9%) が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」(46.6%) が続く。
- 性別でみると、「資産を分けて保有しておくため」は女性よりも男性で高い。

#### 【投資信託「バランス型ファンド」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(582)	62.9	46.6	8.2	28.9	27.3	17.5	8.9	13.1	31.6	0.7	5.2
2021年 全体		(625)	65.3	43.4	8.6	31.0	26.7	15.5	8.6	16.5	32.6	0.8	4.3
2020年 全体		(596)	65.3	41.3	8.1	32.4	30.5	21.5	7.0	17.3	28.7	-	4.4
性別	男性	(317)	62.5	52.4	8.5	29.7	26.5	16.4	9.5	12.6	34.1	0.6	4.4
	女性	(265)	63.4	39.6	7.9	27.9	28.3	18.9	8.3	13.6	28.7	0.8	6.0
年代別	60代	(238)	62.6	45.8	9.2	32.4	29.8	18.5	6.7	12.6	27.7	-	4.2
	70代	(217)	63.1	44.7	6.0	25.8	22.6	18.0	7.8	12.9	34.6	1.4	5.5
	80代以上	(127)	63.0	51.2	10.2	27.6	30.7	15.0	15.0	14.2	33.9	0.8	6.3
世帯年収別	200万円未満	(40)	52.5	35.0	10.0	37.5	27.5	12.5	10.0	12.5	30.0	-	7.5
	200~400万円未満	(180)	62.8	38.9	5.6	32.2	26.1	20.0	8.3	10.0	28.9	0.6	7.2
	400~600万円未満	(146)	67.1	54.8	8.9	28.1	28.1	11.0	11.6	12.3	35.6	1.4	3.4
	600~800万円未満	(68)	57.4	47.1	5.9	25.0	26.5	14.7	5.9	19.1	27.9	-	8.8
	800~1000万円未満	(35)	62.9	51.4	11.4	28.6	25.7	25.7	2.9	8.6	42.9	-	2.9
	1000~1200万円未満	(22)	54.5	59.1	13.6	18.2	36.4	27.3	13.6	22.7	18.2	-	4.5
	1200~1500万円未満	(13)	53.8	69.2	23.1	15.4	46.2	15.4	7.7	15.4	46.2	-	-
	1500~2000万円未満	(7)	57.1	28.6	-	28.6	42.9	28.6	14.3	14.3	57.1	-	-
2000万円以上	(5)	100.0	60.0	-	-	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	-	-	
金融資産別	100万円未満	(32)	53.1	34.4	3.1	37.5	25.0	18.8	3.1	25.0	28.1	-	9.4
	100万円~500万円未満	(77)	53.2	36.4	3.9	35.1	32.5	16.9	10.4	13.0	27.3	2.6	5.2
	500万円~1000万円未満	(60)	65.0	38.3	8.3	43.3	35.0	25.0	6.7	18.3	28.3	-	3.3
	1000万円~2000万円未満	(71)	71.8	45.1	9.9	29.6	32.4	15.5	11.3	8.5	25.4	-	9.9
	2000万円~5000万円未満	(136)	68.4	60.3	9.6	21.3	22.1	17.6	11.0	16.9	44.1	0.7	0.7
	5000万円~1億円未満	(46)	69.6	54.3	17.4	26.1	26.1	19.6	4.3	15.2	41.3	-	2.2
	1億円以上	(13)	61.5	46.2	7.7	15.4	46.2	30.8	15.4	15.4	23.1	-	7.7

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-4)投資信託商品種類別 興味理由【インデックス型ファンド】(Q14S3:複数回答)

- 『インデックス型ファンド』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」(61.8%)が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」(46.8%)が続く。
- 性別で見ると、「資産を分けて保有しておくため」「投資そのものを楽しむため」は女性よりも男性で高い。

【投資信託「インデックス型ファンド」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(523)	61.8	46.8	9.8	29.1	28.5	18.4	9.9	19.1	38.4	0.6	5.0
2021年 全体		(524)	64.5	45.0	9.4	26.1	21.8	15.1	9.9	17.9	37.2	1.0	6.1
2020年 全体		(505)	64.0	47.1	10.9	33.7	25.1	21.0	8.5	21.2	31.7	0.4	4.4
性別	男性	(285)	61.1	50.5	7.4	29.1	25.6	16.5	10.5	17.5	42.5	0.7	3.5
	女性	(238)	62.6	42.4	12.6	29.0	31.9	20.6	9.2	21.0	33.6	0.4	6.7
年代別	60代	(223)	61.4	42.6	8.1	32.3	30.9	17.9	7.6	17.5	33.2	-	6.3
	70代	(175)	65.7	51.4	8.6	26.9	23.4	19.4	7.4	20.0	42.9	1.7	2.9
	80代以上	(125)	56.8	48.0	14.4	26.4	31.2	17.6	17.6	20.8	41.6	-	5.6
世帯年収別	200万円未満	(46)	54.3	19.6	10.9	54.3	34.8	15.2	15.2	10.9	34.8	-	4.3
	200~400万円未満	(156)	60.9	41.7	5.8	25.6	24.4	23.1	8.3	15.4	35.9	1.3	5.8
	400~600万円未満	(118)	64.4	55.1	11.0	32.2	28.0	15.3	11.0	18.6	42.4	0.8	3.4
	600~800万円未満	(59)	59.3	55.9	18.6	25.4	33.9	16.9	8.5	32.2	44.1	-	6.8
	800~1000万円未満	(36)	52.8	52.8	8.3	19.4	27.8	16.7	2.8	13.9	41.7	-	2.8
	1000~1200万円未満	(24)	66.7	66.7	12.5	29.2	33.3	16.7	16.7	29.2	29.2	-	-
	1200~1500万円未満	(12)	75.0	66.7	16.7	16.7	50.0	8.3	8.3	25.0	50.0	-	-
	1500~2000万円未満	(5)	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	-	-	40.0	40.0	-	-
2000万円以上	(6)	83.3	66.7	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	50.0	-	-	
金融資産別	100万円未満	(28)	53.6	32.1	10.7	35.7	28.6	25.0	14.3	32.1	21.4	-	7.1
	100万円~500万円未満	(55)	49.1	43.6	7.3	43.6	27.3	16.4	7.3	14.5	41.8	1.8	1.8
	500万円~1000万円未満	(59)	71.2	35.6	10.2	40.7	42.4	23.7	10.2	20.3	37.3	-	3.4
	1000万円~2000万円未満	(70)	61.4	47.1	10.0	31.4	38.6	18.6	12.9	21.4	34.3	1.4	4.3
	2000万円~5000万円未満	(130)	69.2	60.8	10.0	22.3	26.2	20.8	13.8	21.5	44.6	0.8	0.8
	5000万円~1億円未満	(37)	59.5	48.6	13.5	24.3	27.0	10.8	5.4	21.6	56.8	-	2.7
	1億円以上	(27)	66.7	63.0	14.8	22.2	29.6	25.9	7.4	14.8	25.9	-	7.4

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-5)投資信託商品種類別 興味理由【アクティブ型ファンド】〔Q14S4:複数回答〕

- 『アクティブ型ファンド』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」（63.1%）が最も高い。以下、「資産を分けて保有しておくため」（54.6%）、「投資そのものを楽しむため」（42.3%）が続く。
- 時系列でみると、「資産を分けて保有しておくため」が増加し、「自分の生活費のため」が減少。
- 年代別でみると、年代が低くなるほど「自分の生活費のため」が高い。70代以上で「資産を分けて保有しておくため」が60代に比べ高い。

【投資信託「アクティブ型ファンド」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(423)	63.1	54.6	12.1	27.2	31.7	19.1	11.6	18.4	42.3	0.7	4.3
2021年 全体		(462)	66.2	49.1	11.7	29.2	25.8	17.3	12.6	20.6	43.9	1.3	5.6
2020年 全体		(417)	63.1	46.0	9.8	35.7	30.2	19.4	9.8	23.3	33.6	0.7	4.3
性別	男性	(257)	64.2	53.7	10.5	30.4	30.7	17.9	10.9	16.0	42.8	0.8	3.9
	女性	(166)	61.4	56.0	14.5	22.3	33.1	21.1	12.7	22.3	41.6	0.6	4.8
年代別	60代	(180)	65.0	49.4	10.0	30.6	31.7	21.7	8.3	14.4	36.7	-	5.0
	70代	(131)	64.1	58.8	9.9	27.5	29.8	19.8	9.9	22.1	48.1	2.3	3.8
	80代以上	(112)	58.9	58.0	17.9	21.4	33.9	14.3	18.8	20.5	44.6	-	3.6
世帯年収別	200万円未満	(21)	38.1	23.8	4.8	61.9	57.1	19.0	14.3	4.8	38.1	-	-
	200~400万円未満	(129)	62.0	52.7	12.4	28.7	32.6	20.9	10.9	14.0	40.3	1.6	7.0
	400~600万円未満	(95)	63.2	58.9	17.9	25.3	32.6	15.8	11.6	23.2	50.5	1.1	2.1
	600~800万円未満	(49)	71.4	63.3	14.3	28.6	30.6	26.5	12.2	30.6	44.9	-	4.1
	800~1000万円未満	(34)	67.6	58.8	11.8	17.6	29.4	26.5	5.9	23.5	55.9	-	-
	1000~1200万円未満	(22)	50.0	63.6	4.5	31.8	27.3	13.6	18.2	22.7	27.3	-	4.5
	1200~1500万円未満	(12)	75.0	75.0	8.3	8.3	33.3	-	8.3	16.7	33.3	-	-
	1500~2000万円未満	(6)	50.0	33.3	-	33.3	16.7	16.7	-	-	66.7	-	16.7
2000万円以上	(5)	80.0	60.0	-	-	40.0	40.0	40.0	40.0	60.0	-	-	
金融資産別	100万円未満	(22)	50.0	36.4	13.6	45.5	40.9	31.8	9.1	27.3	22.7	-	9.1
	100万円~500万円未満	(47)	53.2	48.9	12.8	42.6	31.9	14.9	14.9	14.9	40.4	2.1	-
	500万円~1000万円未満	(47)	68.1	48.9	10.6	40.4	46.8	12.8	6.4	17.0	38.3	-	6.4
	1000万円~2000万円未満	(45)	53.3	51.1	13.3	26.7	44.4	15.6	20.0	24.4	44.4	2.2	6.7
	2000万円~5000万円未満	(122)	70.5	68.9	13.1	18.0	27.9	23.8	9.8	20.5	47.5	0.8	0.8
	5000万円~1億円未満	(42)	66.7	59.5	16.7	21.4	28.6	21.4	7.1	19.0	54.8	-	4.8
1億円以上	(19)	73.7	73.7	10.5	26.3	36.8	31.6	15.8	21.1	26.3	-	-	

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-6)投資信託商品種類別 興味理由【不動産投資信託】(Q14S5:複数回答)

- 『不動産投資信託』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」(58.9%) が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」(48.0%)、「投資そのものを楽しむため」(34.6%)が続く。
- 性別でみると、男性で「資産を分けて保有しておくため」「投資そのものを楽しむため」が高い。

【投資信託「不動産投資信託」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(367)	58.9	48.0	12.0	29.7	28.3	17.7	9.8	18.8	34.6	0.5	4.9
2021年 全体		(400)	62.3	47.3	11.3	30.5	25.0	15.5	11.8	18.8	41.8	1.0	4.5
2020年 全体		(393)	61.1	46.3	10.9	35.4	29.0	20.1	9.9	20.4	37.2	0.8	2.8
性別	男性	(193)	59.6	51.3	11.4	32.6	30.1	15.5	8.3	20.7	39.9	0.5	3.6
	女性	(174)	58.0	44.3	12.6	26.4	26.4	20.1	11.5	16.7	28.7	0.6	6.3
年代別	60代	(145)	60.0	46.2	11.7	33.8	30.3	20.0	6.2	16.6	30.3	-	4.1
	70代	(131)	59.5	51.9	9.9	26.0	24.4	16.0	11.5	23.7	41.2	0.8	5.3
	80代以上	(91)	56.0	45.1	15.4	28.6	30.8	16.5	13.2	15.4	31.9	1.1	5.5
世帯年収別	200万円未満	(30)	36.7	23.3	6.7	40.0	23.3	13.3	13.3	20.0	20.0	-	13.3
	200~400万円未満	(115)	62.6	46.1	11.3	27.0	30.4	16.5	8.7	13.9	35.7	-	6.1
	400~600万円未満	(85)	62.4	54.1	15.3	36.5	27.1	15.3	14.1	18.8	36.5	2.4	2.4
	600~800万円未満	(44)	61.4	59.1	18.2	25.0	27.3	18.2	4.5	27.3	38.6	-	2.3
	800~1000万円未満	(27)	44.4	44.4	11.1	33.3	29.6	33.3	3.7	14.8	40.7	-	3.7
	1000~1200万円未満	(12)	66.7	41.7	8.3	16.7	25.0	16.7	25.0	41.7	33.3	-	8.3
	1200~1500万円未満	(8)	75.0	87.5	25.0	12.5	50.0	25.0	12.5	25.0	37.5	-	-
	1500~2000万円未満	(1)	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
2000万円以上	(5)	80.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	
金融資産別	100万円未満	(25)	28.0	20.0	12.0	40.0	28.0	16.0	4.0	28.0	16.0	-	12.0
	100万円~500万円未満	(39)	66.7	33.3	20.5	43.6	41.0	15.4	17.9	15.4	33.3	2.6	2.6
	500万円~1000万円未満	(41)	58.5	43.9	9.8	51.2	34.1	22.0	9.8	19.5	39.0	-	2.4
	1000万円~2000万円未満	(49)	63.3	49.0	14.3	26.5	28.6	18.4	12.2	20.4	36.7	-	4.1
	2000万円~5000万円未満	(95)	61.1	62.1	8.4	22.1	27.4	16.8	7.4	18.9	38.9	1.1	3.2
	5000万円~1億円未満	(27)	48.1	44.4	14.8	29.6	22.2	37.0	14.8	18.5	40.7	-	7.4
	1億円以上	(17)	76.5	52.9	29.4	17.6	29.4	23.5	5.9	23.5	29.4	-	5.9

## 4. 投資信託商品の保有・興味状況

### (3-7)投資信託商品種類別 興味理由【ファンドラップ】(Q14S6:複数回答)

- 『ファンドラップ』の興味理由は、「預貯金の金利が低いから」(40.3%) が最も高く、「資産を分けて保有しておくため」(27.7%) が続く。
- 時系列で見ると「預貯金の金利が低いから」は減少傾向。
- 性別で見ると、女性よりも男性で「資産を分けて保有しておくため」「投資そのものを楽しむため」が高い。

【投資信託「ファンドラップ」非保有興味者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
2022年 全体		(693)	40.3	27.7	7.9	22.4	20.6	13.0	6.2	13.0	23.2	0.6	32.8
2021年 全体		(740)	42.2	30.3	8.1	21.5	19.9	13.0	7.0	12.7	22.2	1.1	33.1
2020年 全体		(589)	49.7	33.3	8.5	27.0	21.2	16.5	5.6	13.2	22.1	0.5	25.6
性別	男性	(361)	41.3	33.5	7.5	24.7	22.2	11.4	8.3	15.5	26.6	0.6	27.4
	女性	(332)	39.2	21.4	8.4	19.9	19.0	14.8	3.9	10.2	19.6	0.6	38.6
年代別	60代	(280)	38.2	27.5	8.9	23.6	20.7	13.6	4.6	12.9	21.8	-	32.9
	70代	(243)	41.2	28.8	5.3	22.2	17.3	11.5	5.3	13.6	25.9	1.2	34.2
	80代以上	(170)	42.4	26.5	10.0	20.6	25.3	14.1	10.0	12.4	21.8	0.6	30.6
世帯年収別	200万円未満	(54)	33.3	18.5	7.4	31.5	14.8	11.1	9.3	11.1	16.7	-	37.0
	200~400万円未満	(222)	39.2	25.2	7.2	24.8	18.5	17.6	6.3	10.4	22.1	0.9	36.0
	400~600万円未満	(154)	43.5	31.2	9.1	16.2	21.4	10.4	7.8	15.6	32.5	1.3	28.6
	600~800万円未満	(78)	39.7	23.1	7.7	17.9	21.8	7.7	3.8	11.5	20.5	-	34.6
	800~1000万円未満	(41)	24.4	34.1	12.2	24.4	24.4	12.2	2.4	19.5	34.1	-	31.7
	1000~1200万円未満	(25)	44.0	48.0	-	16.0	20.0	4.0	8.0	16.0	12.0	-	32.0
	1200~1500万円未満	(11)	54.5	54.5	18.2	27.3	27.3	9.1	9.1	27.3	27.3	-	18.2
	1500~2000万円未満	(9)	44.4	33.3	11.1	44.4	44.4	33.3	-	22.2	33.3	-	11.1
2000万円以上	(5)	80.0	60.0	-	-	-	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	
金融資産別	100万円未満	(76)	19.7	10.5	3.9	19.7	13.2	14.5	2.6	11.8	7.9	-	50.0
	100万円~500万円未満	(83)	42.2	25.3	12.0	33.7	32.5	15.7	6.0	14.5	25.3	1.2	25.3
	500万円~1000万円未満	(69)	50.7	26.1	8.7	37.7	34.8	21.7	8.7	17.4	30.4	-	18.8
	1000万円~2000万円未満	(82)	43.9	32.9	8.5	22.0	22.0	12.2	11.0	14.6	22.0	2.4	26.8
	2000万円~5000万円未満	(125)	52.0	44.8	6.4	20.8	20.8	12.0	8.0	15.2	37.6	-	18.4
	5000万円~1億円未満	(40)	62.5	45.0	17.5	22.5	30.0	27.5	5.0	15.0	32.5	-	7.5
	1億円以上	(23)	60.9	56.5	13.0	13.0	13.0	17.4	4.3	13.0	26.1	4.3	17.4

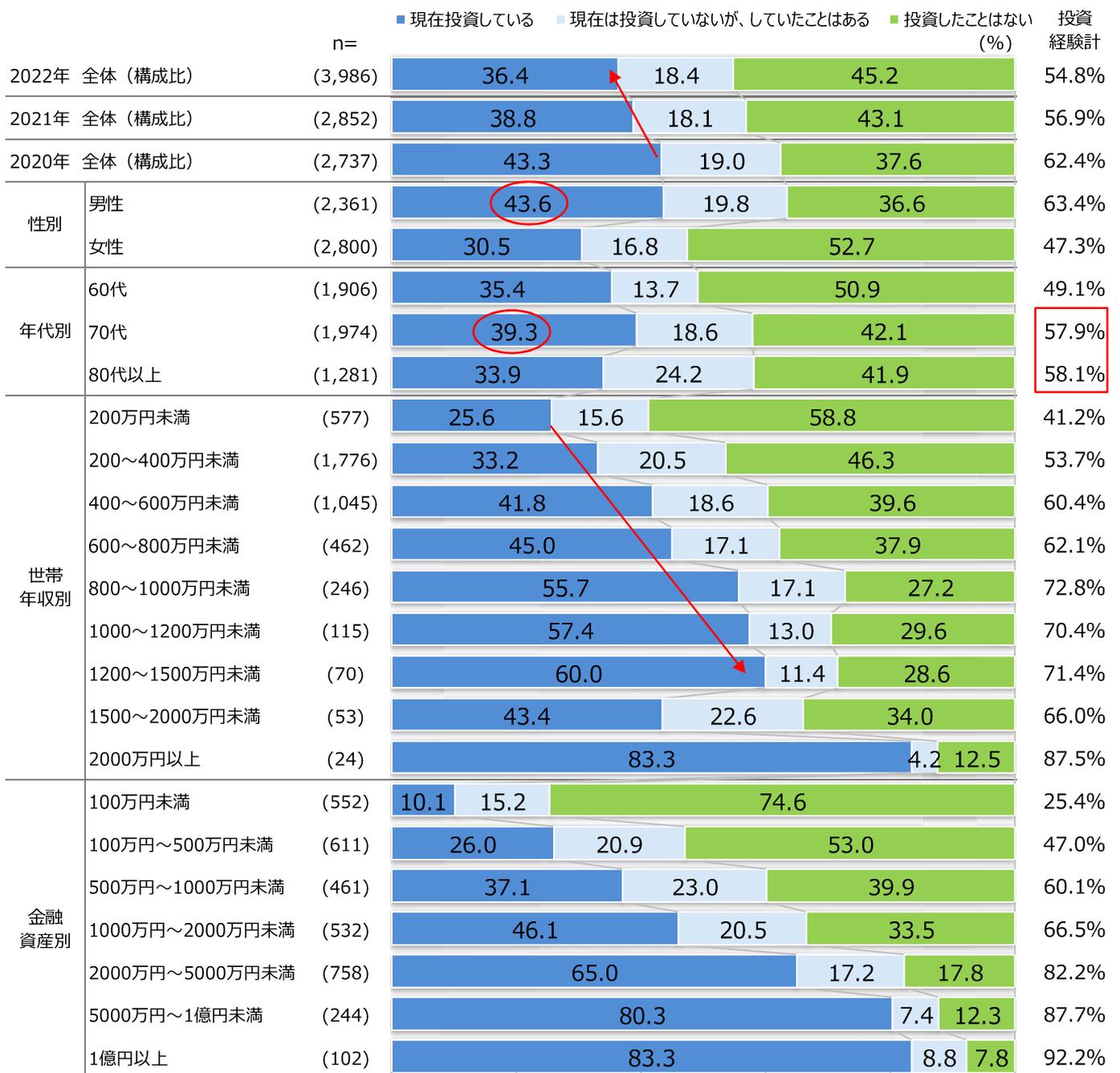
## 5. 全般的な投資への意識と実態

---

# 5. 全般的な投資への意識と実態

## (1)投資経験〔Q5:単一回答〕

- 60代以上の投資経験について、現投資率は36.4%。投資経験率は54.8%となっている。どちらも2020年調査から減少傾向が続く。
- 性別で見ると、現投資率は女性よりも男性で高く、43.6%。年代別で見ると、現投資率は70代で最も高く39.3%。投資経験率は60代よりも70代以上の年代で高く、約6割を占める。
- 世帯年収別では、年収が上がるほど現投資率が高くなり、世帯年収800万円以上で現投資率が50%を超える。※1500～2000万円未満を除く。n=30未満の軸は参考値



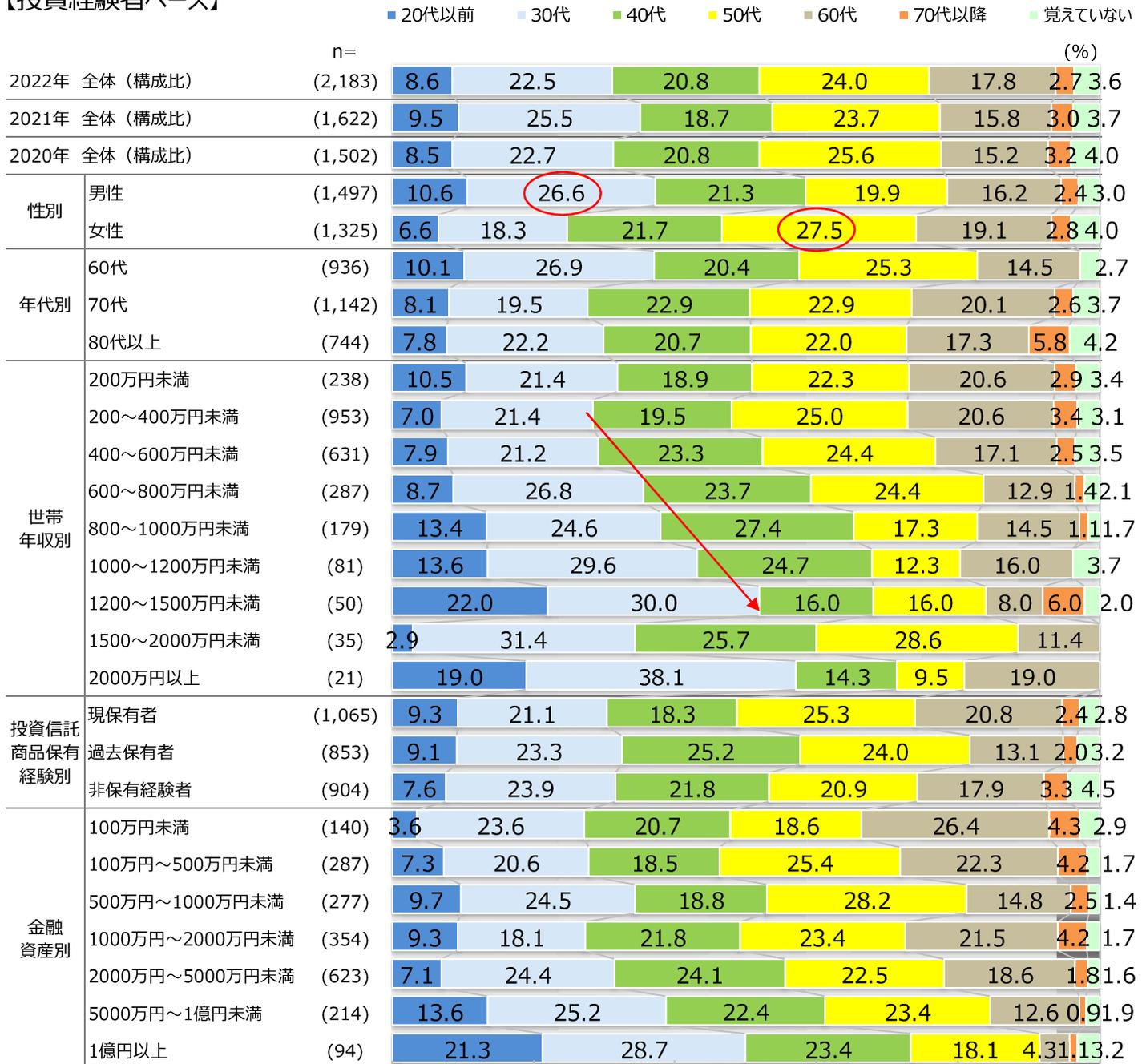
※投資経験計: (「現在投資している」+「現在は投資していないが、していたことはある」) のスコア

# 5. 全般的な投資への意識と実態

## (2)初めて投資をした年齢（投資経験者）〔Q6:単一回答〕

- 投資経験者の初めて投資した年齢は、「50代」（24.0%）、「30代」（22.5%）、「40代」（20.8%）、「60代」（17.8%）の順に高い。
- 性別で見ると、男性では「30代」（26.6%）が、女性では「50代」（27.5%）が最も高く、投資開始時期は男性で早い。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「20代以前」、「30代」からの投資割合が増加傾向。  
※1500～2000万円未満を除く。n=30未満の軸は参考値

### 【投資経験者ベース】



## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (3)初めて投資をしたきっかけ（投資経験者）〔Q7:複数回答〕

- 初めて投資をしたきっかけは、「自分から自然と興味を持った」（35.7%）が最も高い。以下、「家族や友人、知人に勧められた」（23.6%）、「金融機関から勧められた」（19.7%）が続く。
- 性別でみると、男性では「自分から自然と興味を持った」（43.7%）が最も高く、圧倒。2位の「家族や友人、知人に勧められた」を25.7ポイント上回る。一方、女性では「家族や友人、知人に勧められた」（30.5%）が最も高く、僅差で「自分から自然と興味を持った」「金融機関から勧められた」が続く。※n=30未満の軸は参考値

【投資経験者ベース】		（%）										
n=		自分から自然と興味を持った	家族や友人、知人に勧められた	金融機関から勧められた	定期預金や保険が満期になりお金が戻ってきた	テレビや雑誌、インターネット等の情報に影響を受けた	退職金をもらった	贈与や相続を受けた	ライフステージが変化した	企業型確定拠出年金に加入した	その他	
2022年 全体（構成比）		(2,183)	35.7	23.6	19.7	12.7	10.1	9.5	8.2	6.9	2.7	4.0
2021年 全体（構成比）		(1,622)	38.7	23.7	19.7	13.1	11.1	7.6	8.3	6.0	3.1	3.1
2020年 全体（構成比）		(1,502)	37.0	25.1	22.4	12.6	11.7	9.5	8.3	6.4	2.7	3.0
性別	男性	(1,497)	43.7	18.0	13.6	9.6	11.7	12.6	6.2	7.3	4.4	5.3
	女性	(1,325)	27.2	30.5	25.7	15.8	8.5	5.1	10.2	5.6	1.0	2.3
年代別	60代	(936)	35.3	22.8	16.9	10.7	13.0	7.3	9.3	7.9	4.3	2.8
	70代	(1,142)	36.3	23.6	20.2	13.7	8.6	10.1	7.3	6.0	2.1	4.6
	80代以上	(744)	36.2	25.5	21.0	12.9	9.0	9.9	7.8	5.5	2.0	4.3
世帯年収別	200万円未満	(238)	31.5	23.1	24.4	13.4	10.9	3.4	8.0	4.6	0.4	2.9
	200～400万円未満	(953)	35.3	22.5	20.1	13.2	9.1	11.0	7.6	5.0	2.8	5.0
	400～600万円未満	(631)	35.3	25.7	17.0	10.5	11.1	11.9	8.7	7.8	2.1	4.4
	600～800万円未満	(287)	44.6	24.7	17.8	13.9	7.3	6.6	9.1	7.0	3.1	1.7
	800～1000万円未満	(179)	35.2	27.4	21.2	12.3	10.1	7.3	3.9	11.2	3.4	3.4
	1000～1200万円未満	(81)	33.3	22.2	16.0	13.6	12.3	13.6	9.9	12.3	7.4	2.5
	1200～1500万円未満	(50)	32.0	24.0	28.0	20.0	12.0	6.0	14.0	14.0	2.0	-
	1500～2000万円未満	(35)	51.4	31.4	22.9	14.3	14.3	5.7	-	20.0	5.7	-
	2000万円以上	(21)	23.8	52.4	14.3	4.8	9.5	-	14.3	-	4.8	4.8
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,065)	34.6	22.6	25.6	15.1	9.8	12.4	10.0	8.8	2.3	3.6
	過去保有者	(853)	35.1	23.3	21.7	13.5	10.4	7.6	7.4	5.3	2.0	2.5
	非保有経験者	(904)	38.3	25.8	9.6	8.5	10.4	6.6	6.4	4.9	4.1	5.8
金融資産別	100万円未満	(140)	35.7	23.6	15.7	7.1	17.1	5.7	5.7	2.9	1.4	2.9
	100万円～500万円未満	(287)	33.4	20.2	16.4	11.5	13.2	14.6	5.9	6.3	3.8	2.8
	500万円～1000万円未満	(277)	35.7	27.8	16.2	10.8	9.7	8.7	6.9	6.1	3.6	6.1
	1000万円～2000万円未満	(354)	33.1	26.3	21.8	14.7	10.5	11.9	10.2	5.9	2.5	2.0
	2000万円～5000万円未満	(623)	35.6	22.8	20.4	16.4	10.3	10.9	8.7	8.8	3.0	3.7
	5000万円～1億円未満	(214)	37.4	24.8	18.7	16.8	9.3	7.5	8.4	9.3	2.8	5.6
	1億円以上	(94)	47.9	33.0	18.1	6.4	9.6	9.6	9.6	10.6	1.1	3.2

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

# 5. 全般的な投資への意識と実態

## (4)投資理由（投資経験者）〔Q8:複数回答〕

- 投資理由は、「預貯金の金利が低いから」（48.2%）が最も高く、「投資そのものを楽しむため」（29.9%）、「資産を分けて保有しておくため」（26.9%）が続く。
  - 性別で見ると、女性よりも男性で「投資そのものを楽しむため」が高い。
  - 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「資産を分けて保有しておくため」が高い。
- ※n=30未満の軸は参考値

		n=	預貯金の金利が低いから	投資そのものを楽しむため	資産を分けて保有しておくため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	自分の生活費のため	経済について学ぶため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	相続や贈与の資金のため	その他	特に理由はない
2022年 全体（構成比）		(2,183)	48.2	29.9	26.9	20.9	20.4	14.2	12.6	7.6	5.5	1.5	10.6
2021年 全体（構成比）		(1,622)	50.1	31.4	27.6	19.9	19.9	15.6	12.7	7.5	6.0	1.4	10.1
2020年 全体（構成比）		(1,502)	49.1	31.3	26.9	20.9	21.0	14.6	15.4	6.9	5.2	1.5	8.5
性別	男性	(1,497)	46.0	34.7	26.6	21.4	22.8	17.2	12.6	7.5	5.3	1.7	9.9
	女性	(1,325)	49.9	24.7	27.2	19.8	17.0	10.9	12.1	6.8	5.7	1.1	11.4
年代別	60代	(936)	51.8	29.4	26.4	20.0	22.2	13.2	12.1	5.1	5.6	0.9	8.8
	70代	(1,142)	48.7	31.0	28.5	19.3	16.9	12.9	13.0	7.3	4.6	1.4	11.7
	80代以上	(744)	41.4	29.2	25.0	23.8	22.2	17.6	11.8	9.5	6.6	2.0	11.2
世帯年収別	200万円未満	(238)	44.1	23.5	21.4	20.6	22.7	10.9	8.8	4.6	4.6	0.4	11.3
	200～400万円未満	(953)	48.7	27.4	23.0	20.1	21.7	13.9	11.9	8.2	4.4	1.4	10.8
	400～600万円未満	(631)	49.0	33.4	30.6	21.6	19.7	13.6	13.5	7.3	6.7	1.3	9.4
	600～800万円未満	(287)	49.1	35.2	28.6	21.6	17.4	16.0	14.6	8.0	4.5	1.0	9.1
	800～1000万円未満	(179)	50.8	34.1	30.7	25.7	21.2	16.8	12.8	6.7	6.1	1.7	7.8
	1000～1200万円未満	(81)	50.6	33.3	33.3	17.3	13.6	19.8	12.3	6.2	7.4	1.2	11.1
	1200～1500万円未満	(50)	48.0	44.0	44.0	30.0	10.0	26.0	20.0	6.0	14.0	4.0	6.0
	1500～2000万円未満	(35)	57.1	31.4	40.0	31.4	22.9	22.9	20.0	5.7	14.3	2.9	8.6
	2000万円以上	(21)	57.1	14.3	47.6	19.0	-	9.5	23.8	9.5	4.8	4.8	14.3
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,065)	59.2	32.3	37.6	29.5	23.9	17.5	15.4	8.8	7.9	0.8	5.7
	過去保有者	(853)	46.5	28.3	24.4	16.1	16.8	13.4	10.7	6.8	4.1	1.2	11.0
	非保有経験者	(904)	35.5	28.9	16.6	14.7	18.6	11.3	10.4	5.5	3.9	2.3	15.9
金融資産別	100万円未満	(140)	27.1	36.4	3.6	11.4	17.1	17.1	6.4	5.0	3.6	-	11.4
	100万円～500万円未満	(287)	41.8	26.5	15.7	18.1	27.2	11.1	12.2	6.6	4.2	1.4	11.1
	500万円～1000万円未満	(277)	47.3	30.0	23.1	23.8	27.4	11.9	9.0	7.9	2.5	2.9	8.7
	1000万円～2000万円未満	(354)	53.1	28.0	27.1	21.8	18.6	13.6	10.7	7.1	5.9	0.8	8.5
	2000万円～5000万円未満	(623)	55.1	33.9	35.5	27.1	18.6	15.9	15.9	7.7	6.4	1.4	7.1
	5000万円～1億円未満	(214)	59.3	37.4	44.4	27.1	18.2	20.6	17.8	7.9	8.4	0.5	6.1
	1億円以上	(94)	51.1	39.4	47.9	24.5	19.1	23.4	19.1	9.6	12.8	5.3	7.4

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

# 5. 全般的な投資への意識と実態

## (5)投資未経験理由（投資未経験者）〔Q9:複数回答〕

- 投資未経験理由として、「投資の知識がないから」（39.4%）、「そもそも投資に興味がないから」（34.2%）、「投資するための資金がないから」（33.4%）、「損をするのが怖いから」（32.3%）が挙げられる。
- 年代別でみると、年代が低い層ほど「投資の知識がないから」「損をするのが怖いから」が高い。  
※n=30未満の軸は参考値

		【投資未経験者ベース】											(%)
		n=	投資の知識がないから	そもそも投資に興味がないから	投資するための資金がないから	損をするのが怖いから	賭け事のように嫌だから	なんとなく機会がなかったから	周りに投資している人がいないから	資産を増やす必要性を感じないから	その他	特にな	
2022年 全体（構成比）		(1,803)	39.4	34.2	33.4	32.3	19.6	8.4	3.7	2.0	0.6	14.6	
2021年 全体（構成比）		(1,230)	36.2	37.3	33.2	32.2	20.7	6.4	3.9	2.9	1.0	15.9	
2020年 全体（構成比）		(1,235)	34.3	37.4	34.9	33.4	21.2	5.5	4.6	3.4	0.4	14.2	
性別	男性	(864)	37.6	36.9	37.2	29.6	20.4	8.4	2.3	2.8	0.6	13.0	
	女性	(1,475)	41.4	33.4	31.3	33.6	19.6	8.1	4.6	2.0	0.5	14.9	
年代別	60代	(970)	42.8	29.8	34.4	36.4	21.5	8.6	3.4	2.2	0.5	13.0	
	70代	(832)	40.1	40.9	34.9	32.5	19.1	7.9	3.7	2.0	0.6	11.1	
	80代以上	(537)	34.8	33.9	29.6	23.8	18.1	8.0	4.5	2.8	0.4	21.2	
世帯年収別	200万円未満	(339)	35.4	35.7	38.9	28.3	17.4	5.9	5.3	3.5	0.6	13.6	
	200~400万円未満	(823)	40.1	35.6	37.1	32.6	18.3	8.6	3.5	1.3	1.0	12.6	
	400~600万円未満	(414)	41.3	36.2	34.5	32.1	22.9	8.2	4.3	2.2	-	12.1	
	600~800万円未満	(175)	42.9	32.6	24.6	40.0	22.3	13.1	4.0	4.0	-	9.7	
	800~1000万円未満	(67)	50.7	41.8	25.4	31.3	13.4	9.0	3.0	3.0	1.5	11.9	
	1000~1200万円未満	(34)	38.2	32.4	26.5	41.2	38.2	5.9	2.9	5.9	-	14.7	
	1200~1500万円未満	(20)	45.0	60.0	20.0	60.0	40.0	15.0	5.0	5.0	-	10.0	
	1500~2000万円未満	(18)	38.9	33.3	-	27.8	16.7	11.1	-	5.6	-	11.1	
	2000万円以上	(3)	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	
金融資産別	100万円未満	(412)	34.0	32.8	52.2	27.2	15.8	8.3	4.6	2.9	0.5	13.3	
	100万円~500万円未満	(324)	47.5	34.0	48.1	34.3	21.3	9.3	4.9	1.5	0.6	8.3	
	500万円~1000万円未満	(184)	45.7	38.6	32.1	40.8	21.7	8.7	3.8	0.5	0.5	9.2	
	1000万円~2000万円未満	(178)	51.1	39.9	19.7	41.6	27.0	12.4	3.9	3.4	0.6	4.5	
	2000万円~5000万円未満	(135)	43.7	41.5	15.6	48.1	27.4	7.4	1.5	5.2	0.7	5.9	
	5000万円~1億円未満	(30)	53.3	43.3	3.3	53.3	36.7	16.7	3.3	6.7	-	-	
	1億円以上	(8)	37.5	12.5	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	25.0	

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

# 5. 全般的な投資への意識と実態

## (6)投資の経験・考え方（投資経験者）〔Q10:単一回答\_あてはまる計〕

- 投資経験者の投資の経験・考え方については、「過去に自分の投資を後悔したことがある」（56.3%）が最も高い。以下、「年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターン投資をするようになった」（44.1%）、「以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」（43.2%）が続く。※n=30未満の軸は参考値

### 【投資経験者ベース】

※あてはまる計：  
（「とてもあてはまる」+「あてはまる」）  
のスコア

		n=	過去に自分の投資を後悔したことがある	年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターンの投資をするようになった	以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった	過去に想像以上のハイリターンを得たことがある	年齢を重ねるにつれて、自分の判断に自信がなくなってきた	以前より運用期間を短く考えるようになった	積立投資の効果を実感したことがある	経験を重ねて、自分の判断に自信を持っている	経験を重ねて、ハイリスク・ハイリターンの投資をするようになった
2022年 全体（構成比）		(2,183)	56.3	44.1	43.2	31.9	31.7	29.7	25.3	15.3	10.3
2021年 全体（構成比）		(1,622)	61.6	46.2	41.5	35.1	31.9	29.2	24.7	15.5	11.6
2020年 全体（構成比）		(1,502)	61.9	43.2	42.3	31.2	33.8	30.7	23.0	13.9	12.1
性別	男性	(1,497)	58.0	40.5	35.4	34.2	24.6	26.5	25.8	17.9	13.6
	女性	(1,325)	57.3	46.4	50.5	29.1	38.2	32.4	23.4	12.0	8.5
年代別	60代	(936)	58.2	41.5	35.4	30.7	27.2	24.8	29.1	15.0	10.6
	70代	(1,142)	57.2	45.2	44.1	32.3	30.9	29.2	21.9	15.4	10.2
	80代以上	(744)	57.7	42.6	48.9	32.4	35.9	34.9	23.4	14.9	13.4
世帯年収別	200万円未満	(238)	66.8	42.0	47.9	27.3	36.6	32.8	16.8	9.7	9.7
	200～400万円未満	(953)	57.0	45.1	46.0	28.6	33.6	29.4	22.5	12.2	9.8
	400～600万円未満	(631)	55.5	43.4	40.4	34.7	27.7	28.2	24.9	14.7	10.1
	600～800万円未満	(287)	60.6	44.3	40.1	34.5	30.7	31.7	26.8	19.9	12.9
	800～1000万円未満	(179)	59.2	45.8	41.9	32.4	30.2	29.1	30.7	19.0	17.3
	1000～1200万円未満	(81)	51.9	40.7	29.6	43.2	27.2	22.2	35.8	24.7	17.3
	1200～1500万円未満	(50)	52.0	38.0	32.0	54.0	16.0	32.0	30.0	30.0	12.0
	1500～2000万円未満	(35)	51.4	51.4	42.9	51.4	20.0	40.0	37.1	31.4	17.1
	2000万円以上	(21)	38.1	52.4	14.3	38.1	14.3	14.3	38.1	38.1	23.8
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,065)	58.8	46.9	38.1	39.5	26.9	30.5	36.0	18.1	14.4
	過去保有者	(853)	63.7	44.9	50.5	30.8	39.0	32.5	22.0	12.8	9.4
	非保有経験者	(904)	50.7	37.5	40.0	23.6	28.3	24.7	13.8	13.8	9.1
金融資産別	100万円未満	(140)	61.4	32.1	46.4	20.7	38.6	27.1	16.4	12.9	12.1
	100万円～500万円未満	(287)	55.1	39.7	41.5	22.0	31.4	27.5	22.6	13.2	9.4
	500万円～1000万円未満	(277)	58.8	48.7	40.4	31.4	30.0	33.9	26.7	16.6	14.4
	1000万円～2000万円未満	(354)	60.7	46.9	49.7	28.5	34.7	29.7	20.9	11.0	9.3
	2000万円～5000万円未満	(623)	59.1	48.2	43.0	38.0	28.9	32.1	29.2	17.0	11.7
	5000万円～1億円未満	(214)	57.5	47.2	38.8	48.6	27.1	27.1	33.6	25.2	14.0
	1億円以上	(94)	70.2	46.8	29.8	59.6	22.3	29.8	35.1	34.0	19.1

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

# 5. 全般的な投資への意識と実態

## (7)利用を検討してもよい金融商品〔Q12:複数回答〕

- 利用を検討してもよい金融商品は「預貯金」（43.5%）が最も高く、「株式」（30.5%）が続く。「投資信託」は第3位で20.6%となっているが、2位の「株式」とは9.9ポイント差。
- 「投資信託」の利用検討意向は、女性よりも男性で高く、年代が下がるほど高まる。

※n=30未満の軸は参考値

		n=	預貯金	株式	投資信託	債券	保険商品	外貨 建て商品	不動産 投資信託	その他の 金融商品	金融商品は 利用を検討 しない	(%)
2022年 全体（構成比）		(3,986)	43.5	30.5	20.6	7.9	7.3	7.0	5.3	1.0	38.5	
2021年 全体（構成比）		(2,852)	46.6	32.3	19.8	8.2	8.4	8.2	5.4	1.2	35.6	
2020年 全体（構成比）		(2,737)	46.5	31.8	18.2	8.2	8.5	8.6	6.0	0.8	37.1	
性別	男性	(2,361)	43.4	41.2	24.2	8.9	6.2	9.3	7.2	1.2	33.2	
	女性	(2,800)	44.0	22.3	16.6	6.5	8.0	5.1	3.8	0.8	42.4	
年代別	60代	(1,906)	47.1	30.8	23.8	7.3	9.0	8.8	5.5	1.4	35.3	
	70代	(1,974)	42.7	31.7	18.5	7.9	6.1	6.7	5.3	0.8	38.0	
	80代以上	(1,281)	40.3	30.0	17.0	7.6	6.1	4.9	5.2	0.6	42.8	
世帯 年収別	200万円未満	(577)	37.4	19.8	14.0	5.7	4.7	2.9	3.6	0.7	48.9	
	200～400万円未満	(1,776)	43.2	27.8	17.3	7.0	5.8	6.6	4.5	0.8	40.3	
	400～600万円未満	(1,045)	48.1	36.5	22.9	8.4	8.0	8.0	6.0	1.2	32.9	
	600～800万円未満	(462)	46.3	39.6	25.5	7.8	10.8	8.0	6.1	0.9	27.3	
	800～1000万円未満	(246)	45.5	43.1	39.0	15.0	12.2	11.8	10.2	1.2	27.6	
	1000～1200万円未満	(115)	58.3	52.2	28.7	10.4	13.9	13.0	12.2	0.9	20.9	
	1200～1500万円未満	(70)	64.3	58.6	38.6	14.3	20.0	14.3	11.4	2.9	11.4	
	1500～2000万円未満	(53)	58.5	41.5	30.2	13.2	17.0	18.9	7.5	-	26.4	
	2000万円以上	(24)	37.5	58.3	41.7	8.3	8.3	29.2	25.0	8.3	16.7	
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(1,065)	53.4	60.3	67.2	20.0	12.7	19.8	17.9	0.8	9.3	
	過去保有者	(853)	52.3	41.6	18.1	11.0	8.6	8.7	6.1	1.8	26.0	
	非保有経験者	(904)	47.8	51.8	7.6	6.4	7.3	6.3	2.7	2.0	26.5	
金融 資産別	100万円未満	(552)	29.3	15.6	8.9	3.1	3.6	2.0	2.0	0.5	58.2	
	100万円～500万円未満	(611)	41.2	25.9	15.7	4.4	4.7	4.7	2.8	0.8	38.8	
	500万円～1000万円未満	(461)	46.6	34.3	20.0	5.4	8.2	7.8	6.3	0.9	31.9	
	1000万円～2000万円未満	(532)	54.7	34.8	24.1	10.3	9.4	6.2	5.6	1.1	26.3	
	2000万円～5000万円未満	(758)	57.3	49.7	36.7	15.6	12.3	14.2	10.7	1.3	18.6	
	5000万円～1億円未満	(244)	63.5	61.1	43.0	17.6	11.5	16.0	11.9	1.2	10.2	
	1億円以上	(102)	61.8	67.6	44.1	28.4	18.6	27.5	23.5	4.9	12.7	

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (8-1)金融商品・投資商品認知状況〔Q11:単一回答\_認知計〕

- 投資経験者における金融商品・投資商品の認知状況をみると、「株式」（97.7%）の認知率が最も高く、「投資信託」（95.7%）、「債券」（90.7%）が続く。
- 金融資産別でみると、金融資産が増えるほど「投資信託」の認知率は高まる。  
※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資経験者ベース】

※認知計：（「自分で購入し保有している」～「（名前だけでも）知っているが、持っていたことはない」）のスコア

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投資信託
2022年 全体（構成比）		(2,183)	97.7	95.7	90.7	83.4	72.3
2021年 全体（構成比）		(1,622)	98.6	95.5	90.6	84.5	72.1
2020年 全体（構成比）		(1,707)	97.1	94.0	89.2	82.6	70.0
性別	男性	(1,497)	99.0	95.3	90.2	83.8	74.7
	女性	(1,325)	96.8	95.8	89.8	81.4	69.0
年代別	60代	(936)	97.9	95.3	89.2	82.6	71.8
	70代	(1,142)	98.2	96.0	90.0	83.3	71.1
	80代以上	(744)	97.7	95.2	91.1	81.9	73.7
世帯 年収別	200万円未満	(238)	97.5	96.2	88.2	81.1	68.5
	200～400万円未満	(953)	97.2	95.4	88.4	79.5	68.7
	400～600万円未満	(631)	98.9	96.0	92.2	85.9	73.9
	600～800万円未満	(287)	98.3	95.5	92.3	84.3	74.6
	800～1000万円未満	(179)	98.3	97.8	92.2	84.9	78.2
	1000～1200万円未満	(81)	98.8	92.6	92.6	88.9	84.0
	1200～1500万円未満	(50)	100.0	96.0	88.0	94.0	86.0
	1500～2000万円未満	(35)	100.0	97.1	91.4	82.9	80.0
	2000万円以上	(21)	100.0	95.2	90.5	90.5	85.7
金融 資産別	100万円未満	(140)	98.6	92.9	80.7	73.6	57.1
	100万円～500万円未満	(287)	96.2	92.0	85.4	72.5	63.1
	500万円～1000万円未満	(277)	98.9	94.9	89.2	81.2	74.4
	1000万円～2000万円未満	(354)	97.5	96.0	91.0	82.5	71.8
	2000万円～5000万円未満	(623)	98.9	97.9	93.9	90.4	77.7
	5000万円～1億円未満	(214)	100.0	97.7	97.2	91.6	84.6
	1億円以上	(94)	100.0	100.0	97.9	98.9	93.6
投資 経験別	投資経験者	(2,822)	97.9	95.5	90.0	82.7	72.0
	現投資者	(1,884)	98.2	96.9	91.6	86.6	78.9
	過去投資者	(938)	97.3	92.9	86.9	74.7	58.1

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (8-2)金融商品・投資商品保有経験状況〔Q11:単一回答\_保有経験計〕

- 金融商品・投資商品の保有経験状況をみると、「株式」（83.6%）の保有経験率が最も高く、「投資信託」（68.9%）、「債券」（43.2%）が続く。
- 「投資信託」の保有経験率は、男性よりも女性で高い。
- 投資経験別でみると、現投資者でも「株式」（88.4%）の保有経験率が最も高く、「投資信託」（74.9%）が続く。

※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資経験者ベース】

※保有経験計：（「自分で購入し保有している」～「以前保有していたことはあるが、今は保有していない」）のスコア

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投資信託
2022年 全体（構成比）		(2,183)	83.6	68.9	43.2	35.3	19.1
2021年 全体（構成比）		(1,622)	83.8	68.4	41.4	35.6	19.4
2020年 全体（構成比）		(1,707)	81.3	63.9	43.9	36.7	20.2
性別	男性	(1,497)	88.9	63.3	40.7	32.9	17.7
	女性	(1,325)	78.2	73.3	44.3	37.4	20.8
年代別	60代	(936)	78.4	66.6	34.7	36.6	16.2
	70代	(1,142)	86.2	66.9	43.9	33.2	20.4
	80代以上	(744)	87.2	71.4	49.7	35.8	20.8
世帯年収別	200万円未満	(238)	78.6	64.3	40.8	34.5	18.1
	200～400万円未満	(953)	82.4	68.6	40.9	32.1	17.4
	400～600万円未満	(631)	86.1	68.8	44.4	36.9	21.1
	600～800万円未満	(287)	88.2	64.8	42.9	35.2	16.7
	800～1000万円未満	(179)	84.4	77.7	52.0	39.7	24.6
	1000～1200万円未満	(81)	87.7	65.4	37.0	45.7	25.9
	1200～1500万円未満	(50)	88.0	66.0	44.0	40.0	30.0
	1500～2000万円未満	(35)	85.7	74.3	37.1	45.7	17.1
	2000万円以上	(21)	85.7	71.4	42.9	47.6	28.6
金融資産別	100万円未満	(140)	82.1	36.4	26.4	18.6	11.4
	100万円～500万円未満	(287)	77.4	54.0	27.9	21.3	12.2
	500万円～1000万円未満	(277)	85.6	60.6	36.8	31.0	19.9
	1000万円～2000万円未満	(354)	81.6	70.3	42.9	31.1	13.8
	2000万円～5000万円未満	(623)	87.3	77.7	51.2	44.6	25.4
	5000万円～1億円未満	(214)	92.5	81.3	59.8	53.3	28.5
	1億円以上	(94)	88.3	86.2	70.2	70.2	40.4
投資経験別	投資経験者	(2,822)	83.9	68.0	42.4	35.0	19.1
	現投資者	(1,884)	88.4	74.9	48.0	42.3	24.4
	過去投資者	(938)	74.7	54.1	31.1	20.4	8.6

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 5. 全般的な投資への意識と実態

### (8-3)金融商品・投資商品保有状況〔Q11:単一回答\_現保有計〕

- 金融商品・投資商品の保有状況をみると、「株式」(52.4%)の保有率が最も高く、「投資信託」(38.5%)、「債券」(16.0%)、「外貨建て商品」(15.8%)が続く。時系列でみると「投資信託」は微増傾向。
- 投資経験別でみると、現投資者は「株式」(79.5%)の保有率が最も高く、「投資信託」(56.5%)が続く。  
※n=30未満の軸は参考値

#### 【投資経験者ベース】

※現保有計：(「自分で購入し保有している」+「自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」)のスコア

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投資信託
2022年 全体 (構成比)		(2,183)	52.4	38.5	16.0	15.8	8.8
2021年 全体 (構成比)		(1,622)	54.2	37.5	16.3	18.2	9.6
2020年 全体 (構成比)		(1,707)	54.1	36.1	18.3	18.1	10.3
性別	男性	(1,497)	57.6	36.7	14.7	15.8	9.2
	女性	(1,325)	48.0	38.9	16.4	16.2	9.1
年代別	60代	(936)	54.1	41.3	14.1	18.9	8.4
	70代	(1,142)	55.4	37.1	16.1	14.5	9.5
	80代以上	(744)	48.3	34.1	16.3	14.5	9.7
世帯年収別	200万円未満	(238)	42.9	31.9	13.9	11.8	7.6
	200~400万円未満	(953)	48.5	35.8	13.5	13.9	8.6
	400~600万円未満	(631)	56.9	39.9	16.6	17.9	10.5
	600~800万円未満	(287)	59.6	38.0	16.7	16.0	8.0
	800~1000万円未満	(179)	60.3	50.8	22.3	21.2	13.4
	1000~1200万円未満	(81)	64.2	39.5	11.1	24.7	11.1
	1200~1500万円未満	(50)	72.0	54.0	24.0	28.0	14.0
	1500~2000万円未満	(35)	48.6	34.3	17.1	28.6	11.4
	2000万円以上	(21)	71.4	52.4	14.3	42.9	14.3
金融資産別	100万円未満	(140)	30.0	14.3	2.1	3.6	2.9
	100万円~500万円未満	(287)	39.7	25.1	7.0	6.6	4.2
	500万円~1000万円未満	(277)	46.9	27.8	9.0	11.6	6.1
	1000万円~2000万円未満	(354)	52.3	39.8	15.5	16.4	8.5
	2000万円~5000万円未満	(623)	63.6	49.3	21.5	23.1	12.8
	5000万円~1億円未満	(214)	79.9	57.5	31.3	31.3	17.8
	1億円以上	(94)	77.7	64.9	42.6	47.9	26.6
投資経験別	投資経験者	(2,822)	53.1	37.7	15.5	16.0	9.2
	現投資者	(1,884)	79.5	56.5	23.2	23.9	13.7
	過去投資者	(938)	-	-	-	-	-

※「2022年 全体 (構成比)」スコアで降順ソート

---

## **6. 老後の資産（年金・退職金） に関する実態と意識実態**

---

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (1-1) 現役時代に公的年金(国民年金、厚生年金)以外に加入していた制度〔Q4S1:複数回答〕

- 現役時代に加入していた制度は、「厚生年金」（40.2%）、「個人年金保険」（20.9%）、「国民年金基金」（18.7%）の順で高い。
- 性別で見ると、女性に比べ男性で「厚生年金基金」が高い。
- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者で「個人年金保険」が高い。
- 金融資産別では、2000万円以上で「個人年金保険」が高い傾向。

※n=30未満の軸は参考値

														（%）		
n=			厚生年金基金	個人年金保険	国民年金基金	退職一時金制度	加保料	国民年金付	退職等年金給付	年金（D C）	企業型確定拠出年金（D B）	企業型確定給付年金	小規模企業共済	個人型確定拠出年金（i D e c o）	その他	もあてはまらない
2022年	全体（構成比）	(3,986)	40.2	20.9	18.7	9.1	6.8	6.6	4.9	4.3	2.7	2.1	1.0	34.6		
性別	男性	(2,361)	46.5	20.9	18.0	14.1	4.2	10.7	8.4	6.9	3.1	3.3	1.1	29.1		
	女性	(2,800)	36.0	21.3	20.0	4.6	8.4	3.2	1.9	2.2	2.2	1.0	0.9	38.3		
年代別	60代	(1,906)	41.7	27.0	17.9	9.1	5.4	6.1	7.0	3.6	2.6	3.4	0.7	33.5		
	70代	(1,974)	42.0	20.5	19.1	9.5	6.1	7.0	3.9	4.9	2.5	1.1	1.3	33.2		
	80代以上	(1,281)	37.5	13.3	20.8	7.9	8.6	6.8	3.4	4.6	2.8	1.5	1.2	36.3		
世帯年収別	200万円未満	(577)	36.2	19.4	18.0	5.7	6.6	2.6	3.1	1.6	2.6	1.2	1.0	40.4		
	200～400万円未満	(1,776)	39.2	17.6	18.1	7.3	5.3	6.5	4.2	3.7	1.9	0.8	1.4	36.5		
	400～600万円未満	(1,045)	44.9	23.3	18.7	11.2	6.7	9.4	5.6	5.6	2.6	2.0	1.4	29.8		
	600～800万円未満	(462)	45.2	25.5	19.9	12.6	7.4	5.6	7.1	7.1	3.7	4.3	0.6	28.1		
	800～1000万円未満	(246)	44.3	30.5	25.2	14.2	7.7	9.3	4.5	4.5	3.7	1.6	0.4	27.6		
	1000～1200万円未満	(115)	45.2	29.6	20.9	13.0	5.2	7.0	9.6	7.8	7.0	9.6	-	20.0		
	1200～1500万円未満	(70)	45.7	34.3	21.4	11.4	10.0	10.0	7.1	5.7	5.7	2.9	-	17.1		
	1500～2000万円未満	(53)	45.3	34.0	17.0	9.4	3.8	13.2	15.1	7.5	7.5	7.5	3.8	35.8		
2000万円以上	(24)	41.7	29.2	25.0	12.5	8.3	12.5	12.5	8.3	16.7	16.7	4.2	33.3			
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,065)	44.7	35.2	20.8	14.7	8.5	10.1	7.8	7.6	3.8	4.0	1.2	23.9		
	過去保有者	(853)	45.7	24.7	19.8	10.8	8.3	8.8	5.5	5.5	3.3	1.4	0.7	27.2		
	非保有経験者	(904)	46.2	18.0	18.0	10.2	5.5	7.9	6.4	4.1	3.3	2.2	1.5	30.1		
金融資産別	100万円未満	(552)	34.1	11.8	14.5	5.4	4.0	2.2	3.1	2.9	1.3	1.8	1.6	44.9		
	100万円～500万円未満	(611)	40.6	15.2	20.8	5.9	6.2	5.6	4.3	4.4	1.8	1.6	0.7	38.0		
	500万円～1000万円未満	(461)	44.9	23.0	18.9	11.3	6.9	7.4	5.9	2.8	2.6	2.8	1.5	28.0		
	1000万円～2000万円未満	(532)	43.4	23.1	19.9	10.2	6.0	7.9	5.3	5.5	4.3	1.7	1.1	27.6		
	2000万円～5000万円未満	(758)	44.9	32.5	17.2	15.3	6.3	10.2	7.8	6.9	2.9	2.8	1.7	25.7		
	5000万円～1億円未満	(244)	43.9	35.2	18.4	16.4	7.8	12.3	9.0	7.0	2.0	4.1	1.2	23.0		
	1億円以上	(102)	49.0	45.1	32.4	15.7	14.7	11.8	12.7	7.8	12.7	9.8	2.0	23.5		

※「2022年 全体（構成比）」のスコアで降順ソート

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (1-2)最も重視していた制度〔Q4S2:単一回答〕

- 最も重視していたものは、「厚生年金」（26.9%）、「個人年金保険」（11.9%）、「国民年金基金」（7.3%）が上位に挙がる。
- 性別で見ると、女性に比べ男性で「厚生年金基金」が高い。
- 世帯年収別では、200万円未満で「あてはまるものがない」が47.5%にのぼる。
- 金融資産別では、2000万円～1億円未満で「個人年金保険」が高い傾向。

※n=30未満の軸は参考値

			(%)													
			厚生年金基金	個人年金保険	国民年金基金	退職一時金制度	加国民年金付 保険料	退職等年金給付	年金(D C)	企業型確定拠出 年金(D B)	企業型確定給付 年金(D B)	小規模企業共済	年金(i D e C o)	個人型確定拠出 年金(D e C o)	その他	あてはまる ものはない
2022年 全体 (構成比)			(3,986)	26.9	11.9	7.3	2.8	2.4	2.3	1.5	1.3	1.3	0.7	0.6	41.2	
性別	男性	(2,361)	32.7	10.4	4.7	4.5	0.8	3.6	2.6	2.3	1.4	1.1	0.6	35.3		
	女性	(2,800)	22.3	13.1	9.9	1.3	3.4	1.5	0.5	0.5	1.1	0.3	0.5	45.8		
年代別	60代	(1,906)	25.0	15.0	5.6	2.7	1.5	1.9	2.0	0.8	1.4	1.4	0.5	42.3		
	70代	(1,974)	29.2	11.9	7.4	2.7	2.1	2.6	1.2	1.5	1.0	0.2	0.6	39.7		
	80代以上	(1,281)	26.7	7.3	10.4	3.0	3.4	3.3	1.0	1.8	1.4	0.3	0.5	41.0		
世帯 年収別	200万円未満	(577)	24.4	11.3	8.0	2.3	2.8	0.9	0.9	0.2	1.4	0.3	0.2	47.5		
	200～400万円未満	(1,776)	26.9	11.0	7.8	2.4	1.9	2.9	1.3	1.0	1.0	0.2	0.6	43.1		
	400～600万円未満	(1,045)	30.6	12.2	6.1	2.9	2.2	3.5	1.7	2.3	1.1	0.4	0.8	36.2		
	600～800万円未満	(462)	29.4	13.2	7.8	4.5	2.6	0.9	1.9	2.4	1.9	1.9	0.6	32.7		
	800～1000万円未満	(246)	27.6	15.0	8.5	2.8	1.6	4.9	1.6	1.2	1.6	0.4	-	34.6		
	1000～1200万円未満	(115)	30.4	15.7	7.8	4.3	0.9	2.6	2.6	2.6	1.7	5.2	-	26.1		
	1200～1500万円未満	(70)	40.0	15.7	4.3	4.3	1.4	5.7	1.4	1.4	4.3	1.4	-	20.0		
	1500～2000万円未満	(53)	24.5	13.2	3.8	5.7	-	-	1.9	1.9	3.8	-	3.8	41.5		
2000万円以上	(24)	25.0	4.2	12.5	4.2	-	4.2	-	-	12.5	-	4.2	33.3			
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(1,065)	28.9	18.3	5.2	3.8	1.5	3.8	2.1	2.5	1.9	1.4	0.7	30.0		
	過去保有者	(853)	30.1	13.2	7.4	4.1	2.7	3.0	1.6	1.8	1.4	0.2	0.2	34.1		
	非保有経験者	(904)	32.0	9.2	6.2	3.3	2.1	2.4	2.7	1.4	1.8	0.4	0.6	37.9		
金融 資産別	100万円未満	(552)	24.5	7.2	7.1	2.7	1.8	1.3	0.7	0.5	0.4	0.5	0.9	52.4		
	100万円～500万円未満	(611)	29.6	10.5	8.2	1.3	2.0	2.5	0.8	1.5	0.7	0.8	0.2	42.1		
	500万円～1000万円未満	(461)	29.7	12.8	6.9	4.3	2.6	2.6	2.4	0.2	1.3	0.7	1.1	35.4		
	1000万円～2000万円未満	(532)	28.8	14.1	7.9	4.7	2.1	3.0	1.7	1.9	1.9	0.4	0.8	32.9		
	2000万円～5000万円未満	(758)	29.3	17.0	6.3	3.2	2.0	4.1	2.0	2.1	1.2	1.1	0.4	31.4		
	5000万円～1億円未満	(244)	27.5	18.4	6.1	5.7	-	4.5	3.3	1.6	1.2	1.2	0.8	29.5		
	1億円以上	(102)	24.5	15.7	6.9	5.9	2.0	1.0	-	2.0	5.9	1.0	1.0	34.3		

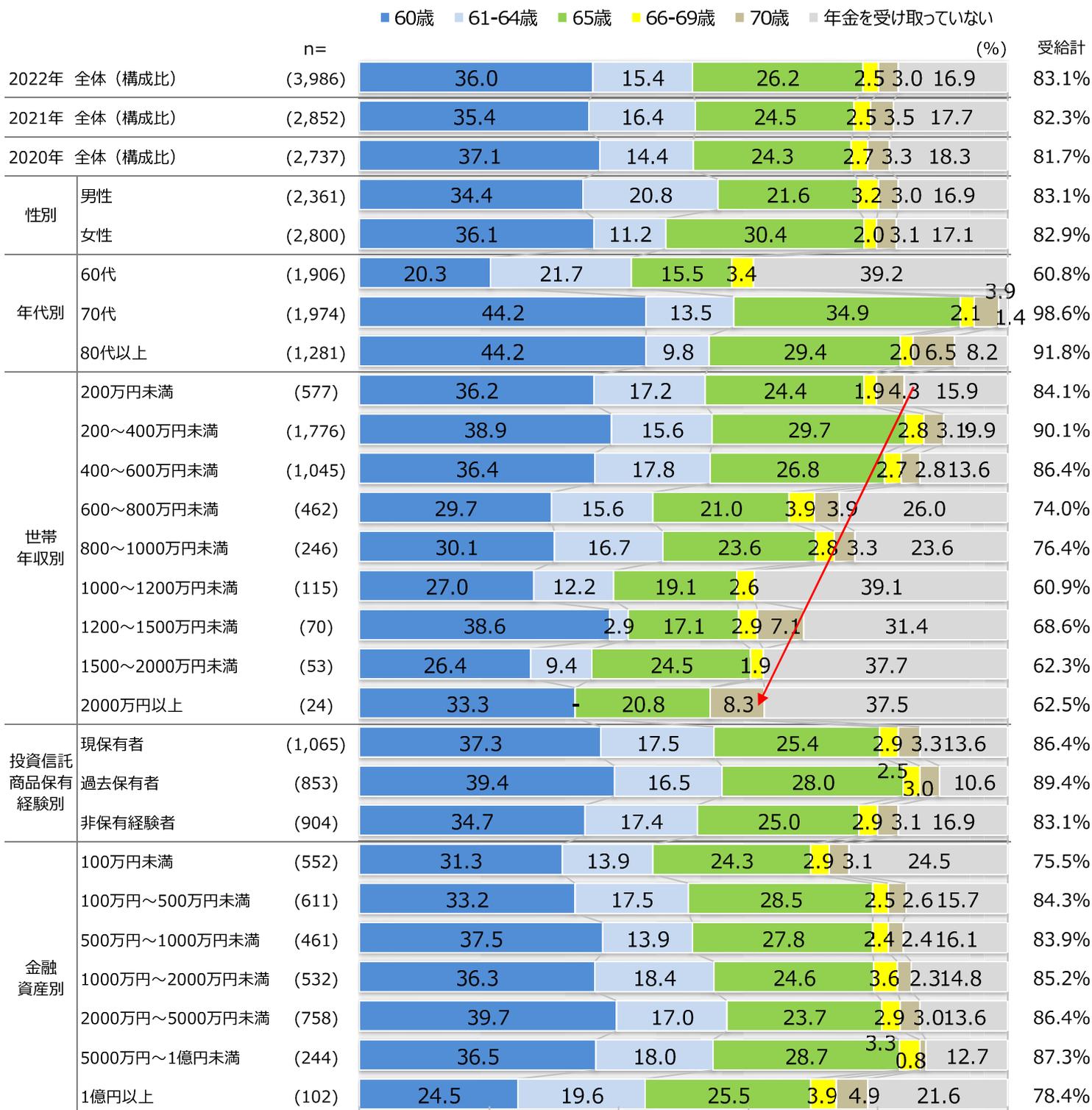
※「2022年 全体（構成比）」のスコアで降順ソート

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (2-1)年金受給状況〔Q15:単一回答〕

- 年金を受け取っている割合は、83.1%。
- 受給開始年齢は、「60歳」（36.0%）が最も高く、「65歳」（26.2%）が続く。
- 世帯年収別が上がるほど、「年金を受け取っていない」割合も高まる。

※n=30未満の軸は参考値

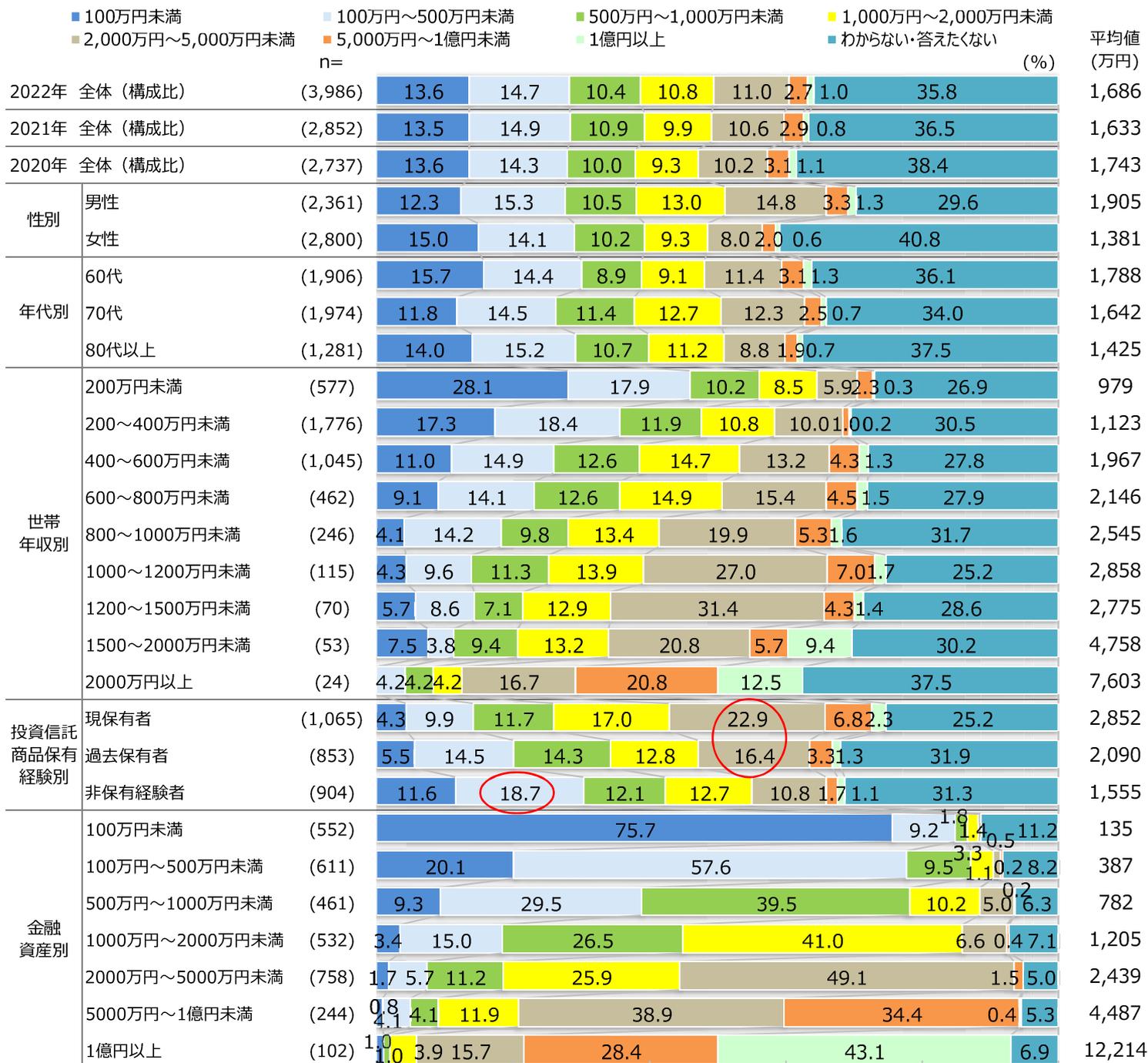


※受給計：（「60歳」～「70歳」）のスコア

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (2-2)年金受給前の貯蓄額(年金非受給者は現在の貯蓄額)〔Q16:単一回答〕

- 年金受給前の貯蓄額（年金非受給者は現在の貯蓄額）は、「100万円～500万円未満」（14.7%）が最も高いが、100万円～5,000万円未満までの割合に大きな差は見られない。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者・過去保有者では「2,000万円～5,000万円未満」の割合が最も高い。一方、非保有経験者では「100万円～500万円未満」（18.7%）が最も高く、保有経験により貯蓄額に差が見られた。



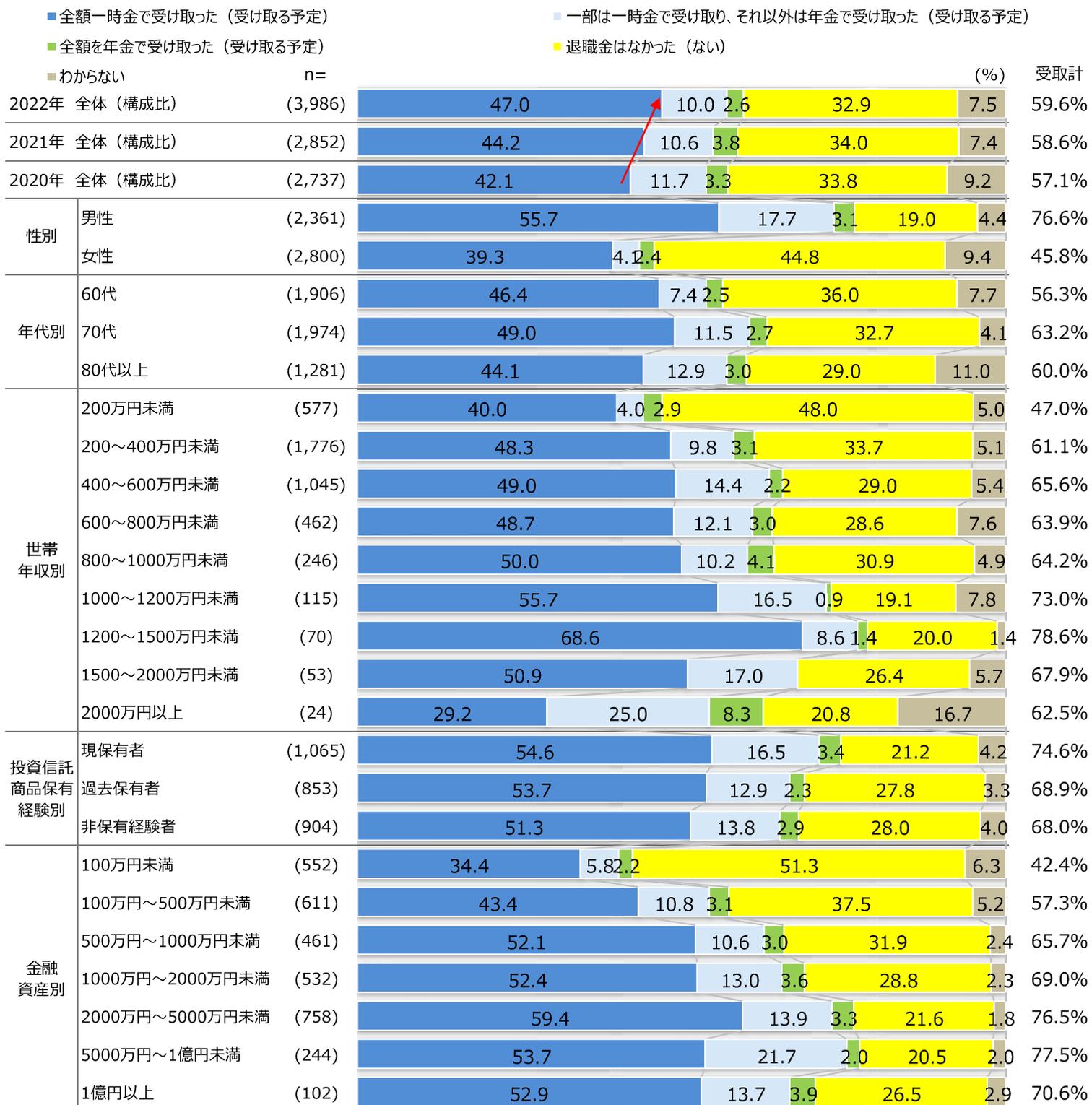
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100万円～500万円未満：300万円 / 500万円～1,000万円未満：750万円 / 1,000万円～2,000万円未満：1,500万円  
2,000万円～5,000万円未満：3,500万円 / 5,000万円～1億円未満：7,500万円 / 1億円以上：2億円

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (3-1)退職金受取状況〔Q20:単一回答〕

- 退職金受け取りの割合は、59.6%。  
その内訳は、「全額一時金で受け取った（受け取る予定）」（47.0%）、  
「一部は一時金で受け取り、それ以外は年金で受け取った（受け取る予定）」（10.0%）、  
「全額を年金で受け取った（受け取る予定）」（2.6%）。  
時系列で見ると「全額一時金で受け取った（受け取る予定）」が増加傾向。



※受取計：（「全額一時金で受け取った（受け取る予定）」～「全額を年金で受け取った（受け取る予定）」）のスコア

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (3-2)退職金の使い道〔Q21:複数回答〕

- 退職金を受取者の使い道は、「預貯金」（59.3%）が最も高く、「日常生活費への充当」（25.6%）、「旅行等の趣味」（21.7%）、「住宅ローンの返済」（20.8%）が続く。
- 「資産運用のための金融商品の購入」への使用は、女性よりも男性で、また世帯年収が上がるほど高い。 ※n=30未満の軸は参考値

【退職金受取（予定）者ベース】

		n=	預貯金	日常生活費への充当	旅行等の趣味	住宅ローンの返済	資産運用のための金融商品の購入	住宅のリフォーム	家電など、耐久消費財の購入	子どもや孫の教育費や結婚費用等	開業・起業資金	その他	特にない
2022年 全体（構成比）		(2,375)	59.3	25.6	21.7	20.8	20.3	19.0	11.0	8.3	1.8	3.5	9.7
2021年 全体（構成比）		(1,671)	62.5	26.3	22.3	22.1	21.0	19.4	11.0	9.3	2.4	3.9	8.6
2020年 全体（構成比）		(1,562)	58.8	30.0	26.2	23.1	21.2	18.5	11.9	10.4	2.5	2.8	6.5
性別	男性	(1,808)	58.4	29.9	21.8	27.2	24.6	22.5	12.0	9.5	2.2	3.7	7.2
	女性	(1,282)	58.8	21.3	22.1	12.6	14.3	12.9	8.4	7.2	1.4	3.5	12.4
年代別	60代	(1,073)	56.9	29.1	17.6	16.9	19.3	15.8	10.1	7.6	2.0	2.6	10.2
	70代	(1,248)	59.9	23.6	21.3	24.0	20.1	18.5	10.0	8.5	1.8	3.8	10.0
	80代以上	(769)	58.8	26.8	28.9	22.4	22.0	22.4	12.0	9.9	1.8	4.8	7.3
世帯年収別	200万円未満	(271)	54.6	33.2	16.6	17.0	12.5	10.0	6.6	5.5	1.5	3.0	12.2
	200～400万円未満	(1,086)	56.7	28.2	23.3	23.2	18.6	20.1	11.2	8.7	1.7	4.3	8.7
	400～600万円未満	(686)	62.8	25.4	23.0	22.9	24.6	20.8	11.5	9.8	1.7	3.8	7.6
	600～800万円未満	(295)	57.3	22.0	21.4	22.4	22.0	17.6	8.8	7.1	1.7	2.7	7.5
	800～1000万円未満	(158)	61.4	20.3	22.8	27.8	27.8	19.6	10.8	10.1	0.6	3.8	4.4
	1000～1200万円未満	(84)	53.6	23.8	25.0	15.5	31.0	22.6	13.1	10.7	-	6.0	8.3
	1200～1500万円未満	(55)	65.5	12.7	23.6	10.9	30.9	14.5	14.5	9.1	7.3	3.6	18.2
	1500～2000万円未満	(36)	63.9	11.1	38.9	16.7	36.1	25.0	25.0	13.9	11.1	5.6	13.9
	2000万円以上	(15)	66.7	6.7	20.0	20.0	20.0	-	-	-	13.3	-	20.0
投資信託商品保有経験別	現保有者	(794)	62.7	23.3	27.5	21.2	47.7	19.6	11.5	8.6	1.9	3.4	5.8
	過去保有者	(588)	64.8	24.3	25.2	20.4	25.3	18.7	11.4	9.5	2.2	3.2	7.5
	非保有経験者	(615)	59.3	25.0	23.9	24.2	14.6	20.7	10.6	10.1	2.3	3.6	8.5
金融資産別	100万円未満	(234)	33.3	43.2	15.0	25.2	3.8	18.8	15.4	12.0	2.6	2.6	10.7
	100万円～500万円未満	(350)	52.9	39.4	22.0	30.6	12.9	16.6	9.4	8.6	3.1	4.9	4.9
	500万円～1000万円未満	(303)	61.1	34.7	22.1	28.7	19.5	23.4	12.5	13.5	1.0	2.6	4.6
	1000万円～2000万円未満	(367)	65.1	23.2	24.8	24.5	21.5	28.1	12.3	9.3	2.2	3.5	9.0
	2000万円～5000万円未満	(580)	68.3	18.3	24.7	17.1	34.8	17.2	9.7	8.4	1.7	4.8	6.4
	5000万円～1億円未満	(189)	68.3	18.5	24.3	13.8	45.5	13.8	8.5	3.7	0.5	2.1	5.8
	1億円以上	(72)	66.7	16.7	29.2	6.9	45.8	6.9	11.1	5.6	2.8	2.8	8.3

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (3-3)退職金で購入した金融商品（購入予定も含む）〔Q22:複数回答〕

- 退職金で購入した（する予定の）金融商品は、「株式」（59.5%）が最も高く、「投資信託」（57.8%）が僅差で続く。
- 「株式」の購入は、女性よりも男性で高い一方で、「保険商品」は女性の方が高い。「株式」「投資信託」は年代が高いほど購入率が高い。

#### 【金融商品購入（予定）者ベース】

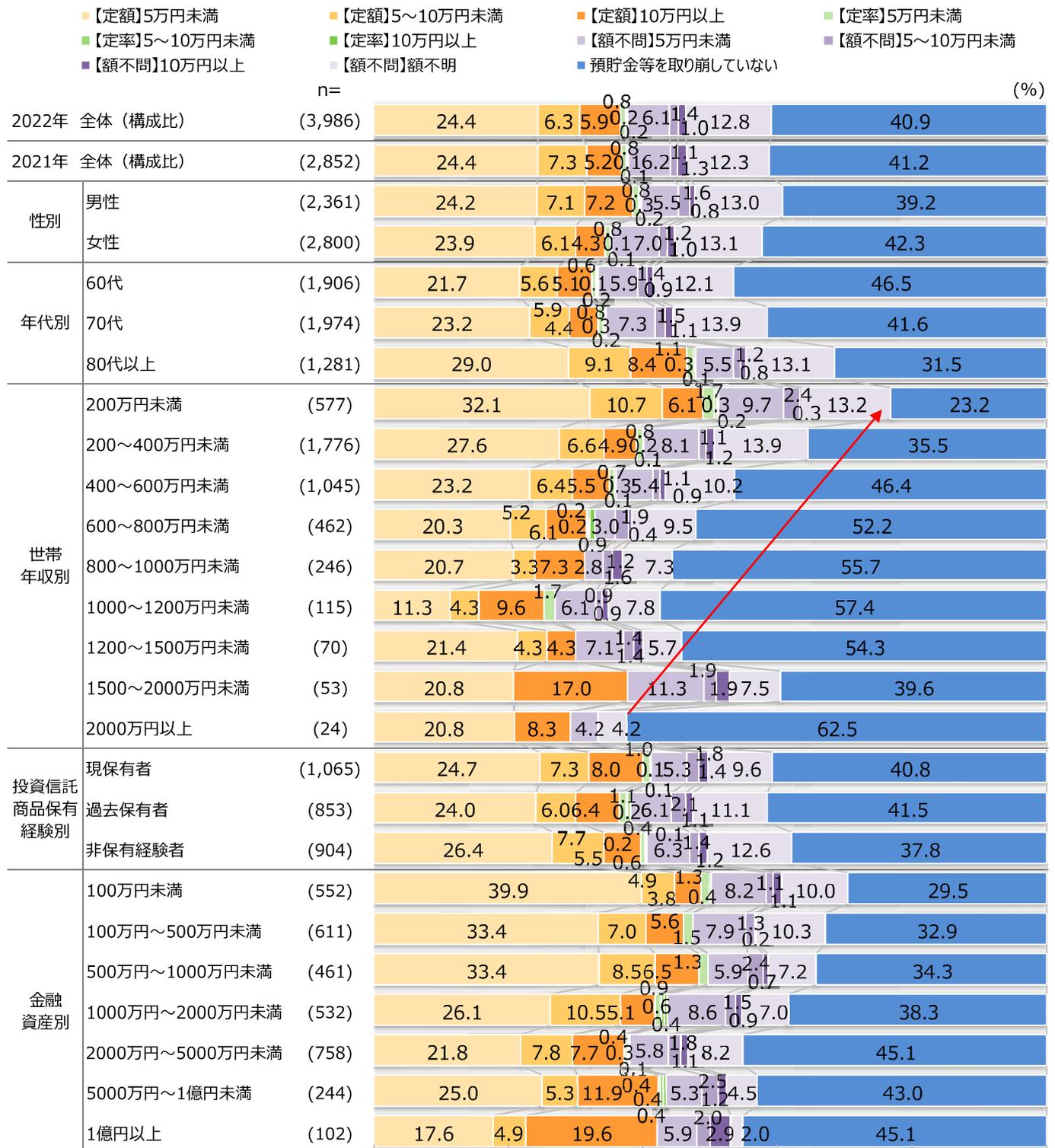
		n=	株式	投資信託	外貨建て商品	国内債券	保険商品	その他	わからない
2022年	全体（構成比）	(481)	59.5	57.8	19.5	19.3	16.8	2.3	2.5
2021年	全体（構成比）	(351)	59.5	52.1	12.8	21.4	19.1	3.1	2.8
2020年	全体（構成比）	(331)	58.0	55.0	19.0	25.1	18.4	2.4	1.8
性別	男性	(444)	66.0	57.4	18.5	19.1	12.8	2.9	2.9
	女性	(183)	49.2	56.3	19.1	21.3	23.5	1.6	0.5
年代別	60代	(207)	54.6	54.6	19.8	16.4	20.8	3.9	2.9
	70代	(251)	59.4	57.0	16.7	21.5	15.1	2.8	2.8
	80代以上	(169)	71.6	60.4	20.1	21.3	11.2	0.6	0.6
世帯 年収別	200万円未満	(34)	67.6	47.1	20.6	20.6	11.8	5.9	-
	200～400万円未満	(202)	59.4	58.9	20.8	19.8	14.4	3.5	1.0
	400～600万円未満	(169)	63.9	57.4	20.7	21.9	19.5	0.6	1.2
	600～800万円未満	(65)	66.2	47.7	16.9	7.7	15.4	1.5	6.2
	800～1000万円未満	(44)	47.7	63.6	11.4	22.7	13.6	4.5	6.8
	1000～1200万円未満	(26)	69.2	69.2	7.7	7.7	11.5	7.7	-
	1200～1500万円未満	(17)	64.7	47.1	11.8	41.2	23.5	-	5.9
	1500～2000万円未満	(13)	61.5	30.8	30.8	38.5	46.2	-	-
	2000万円以上	(3)	100.0	100.0	-	33.3	-	-	-
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(379)	58.0	76.0	20.1	21.9	16.1	1.6	2.4
	過去保有者	(149)	66.4	42.3	16.1	18.8	15.4	3.4	0.7
	非保有経験者	(90)	70.0	4.4	15.6	14.4	13.3	5.6	3.3
金融 資産別	100万円未満	(9)	77.8	33.3	22.2	11.1	-	-	-
	100万円～500万円未満	(45)	53.3	48.9	24.4	4.4	6.7	-	-
	500万円～1000万円未満	(59)	57.6	52.5	20.3	22.0	16.9	3.4	-
	1000万円～2000万円未満	(79)	55.7	63.3	13.9	17.7	13.9	5.1	2.5
	2000万円～5000万円未満	(202)	61.9	59.4	17.3	23.8	24.3	3.5	2.0
	5000万円～1億円未満	(86)	72.1	57.0	23.3	20.9	8.1	-	1.2
	1億円以上	(33)	72.7	57.6	30.3	21.2	18.2	-	3.0

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (4-1) 毎月の預貯金の取り崩し額〔Q23S1:単一回答〕

- 毎月の預貯金の取り崩しについて、「預貯金等を取り崩していない」（40.9%）が最も高い割合を占める。取り崩している場合、【定額】の取り崩しが最も多く、【額不問】が続く。
- 取り崩しの内、「【定額】5万円未満」（24.4%）が最も高い割合を占め、「【額不問】額不明」（12.8%）が続く。
- 世帯年収別で見ると、年収が低い層ほど取り崩している割合が高い。※n=30未満は参考値

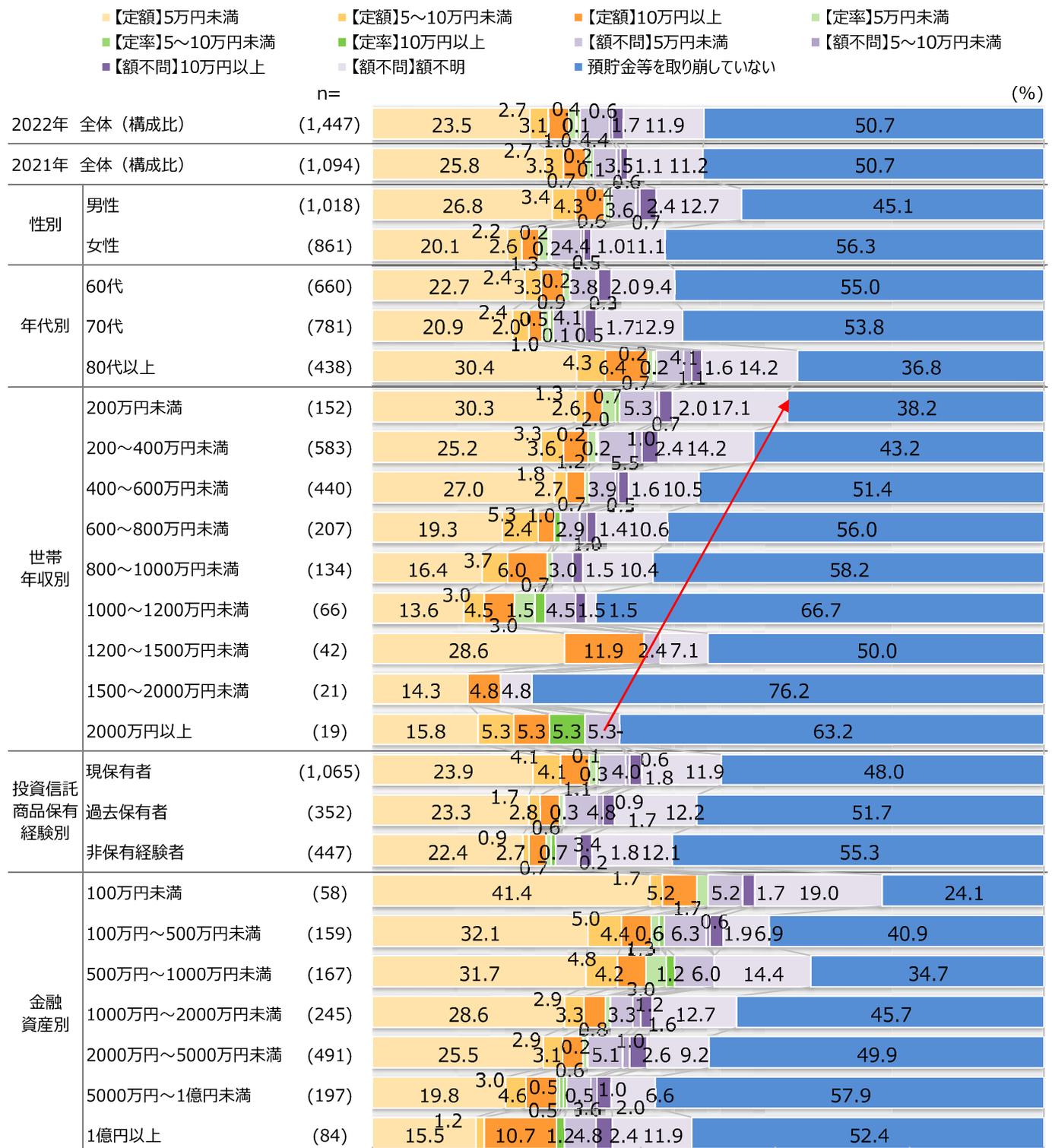


# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (4-2) 毎月の投資運用資金の取り崩し額(Q23S2:単一回答)

- 毎月の投資運用資金の取り崩しについて、「預貯金等を取り崩していない」（50.7%）が最も高い。取り崩している場合、【定額】での取り崩しが最も多く、【額不問】が続く。
- 取り崩しの内、「【定額】5万円未満」（23.5%）が最も高い割合を占め、「【額不問】額不明」（11.9%）が続く。
- 世帯年収別でみると、年収が低い層ほど取り崩している割合が高い。※n=30未満は参考値

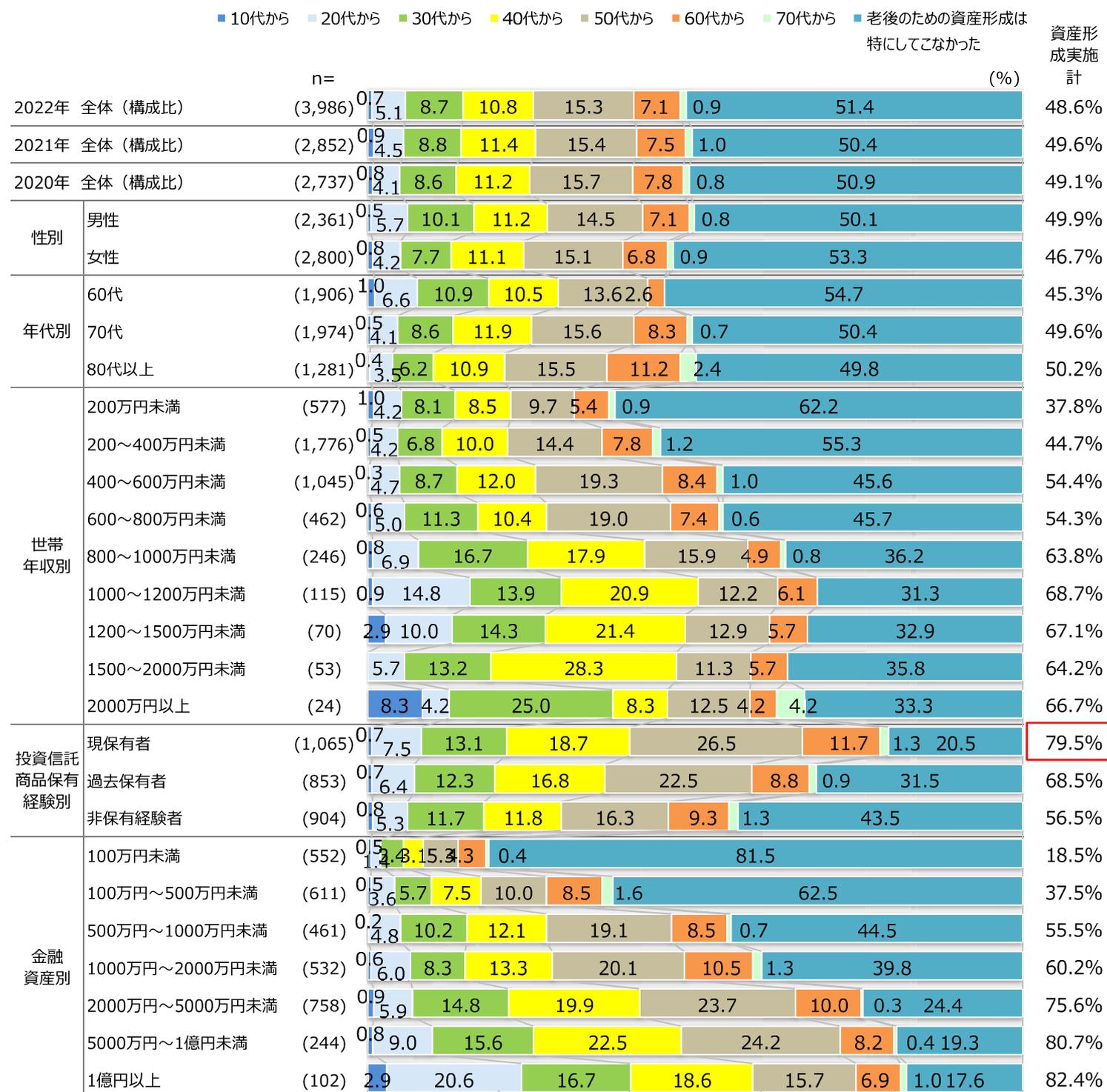
### 【投資運用者ベース】



# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (5-1) 老後のための資産形成を始めた年齢〔Q18:単一回答〕

- 老後のための資産形成をしてきた割合は約半数にとどまる。  
「老後のための資産形成は特にしてこなかった」は51.4%。
- 資産形成をしてきた人では、「50代から」（15.3%）が最も高い。  
以下、「40代から」（10.8%）、「30代から」（8.7%）が続く。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者の資産形成実施率は79.5%となっており、過去保有者や非保有者に比べて高い。

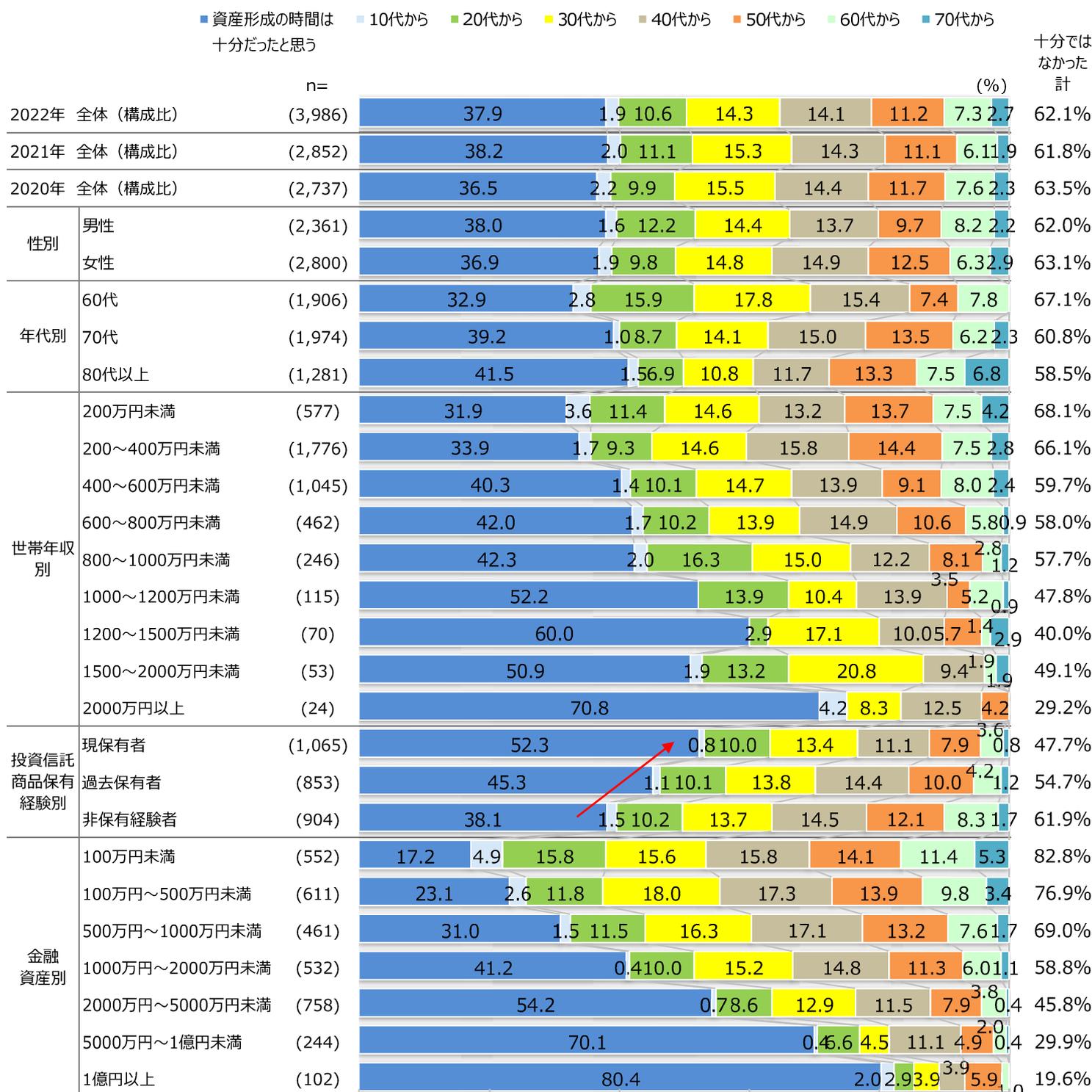


※資産形成実施率: (「10代から」~「70代から」) のスコア

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (5-2)老後のための資産形成の十分さ〔Q19:単一回答〕

- 老後のための「資産形成の時間は十分だったと思う」人は37.9%にとどまり、資産形成が十分ではなかったと感じている人が62.1%を占める。資産形成を始めれば良かったと思う時期は、「30代から」（14.3%）が最も高く、「40代から」（14.1%）が僅差で続く。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者の「資産形成の時間は十分だったと思う」は52.3%と半数以上を占める。非保有経験者を14.2ポイント上回り、保有経験による差が大きい。



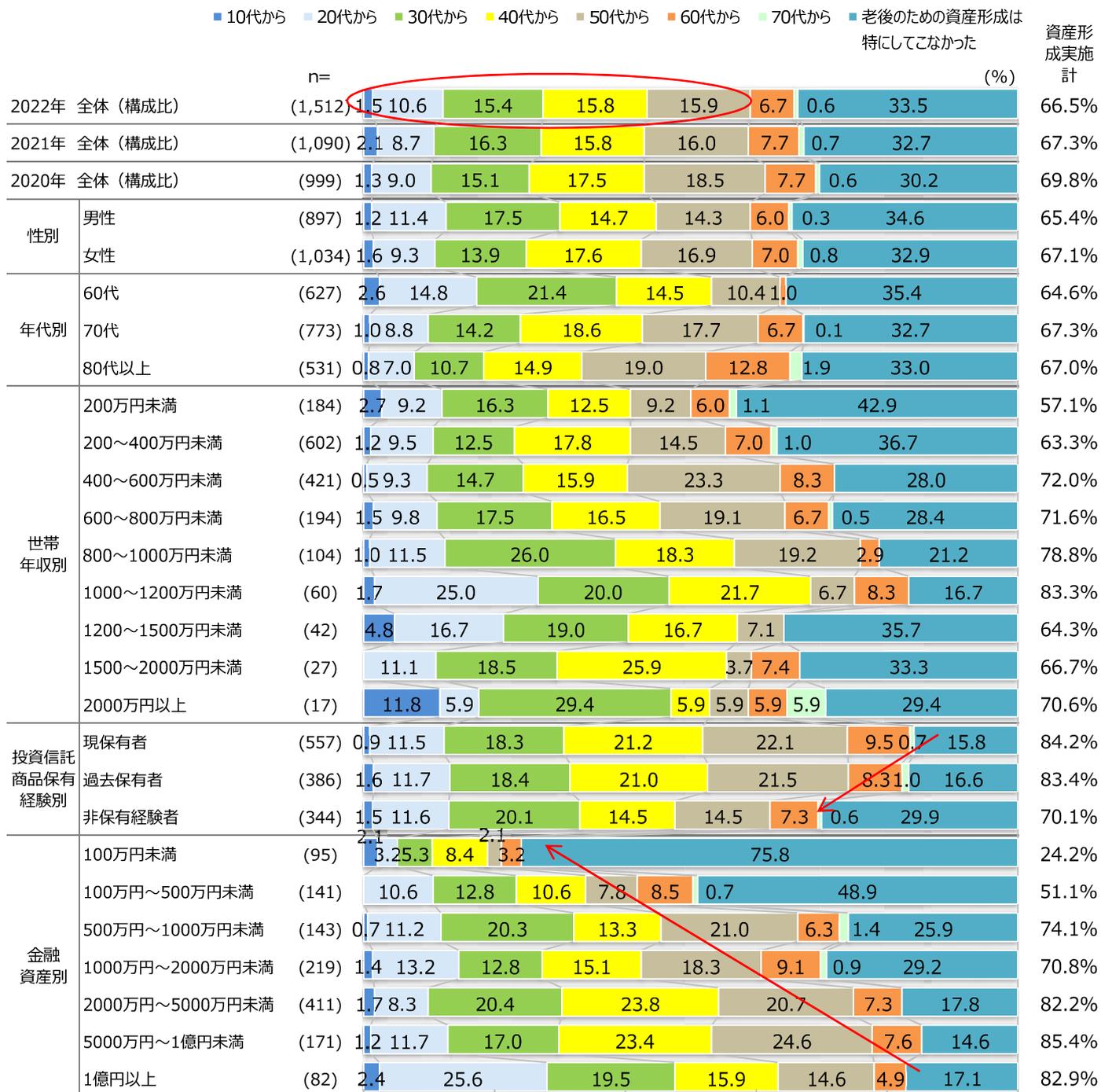
※十分ではなかった計：（「10代から」～「70代から」）のスコア

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

(5-3) 老後のための資産形成を始めた年齢（資産形成の時間は十分だったと思う人）〔Q18:単一回答〕

- Q19で「資産形成の時間は十分だったと思う」と回答した人のうち、50代までに資産形成を実施していた割合は59.2%で、全体ベースに比べ18.6%高い。
- 資産形成を始めた年齢としては、30代～50代が多く15～16%を占める。
- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者では「老後のための資産形成はしてこなかった」が15.8%に対し、過去保有者では16.6%、非保有経験者では29.9%。
- 金融資産別で見ると、資産が少なくなるほど「老後のための資産形成はしてこなかった」が高まる。

【Q19で「資産形成の時間は十分だったと思う」と回答した人ベース】

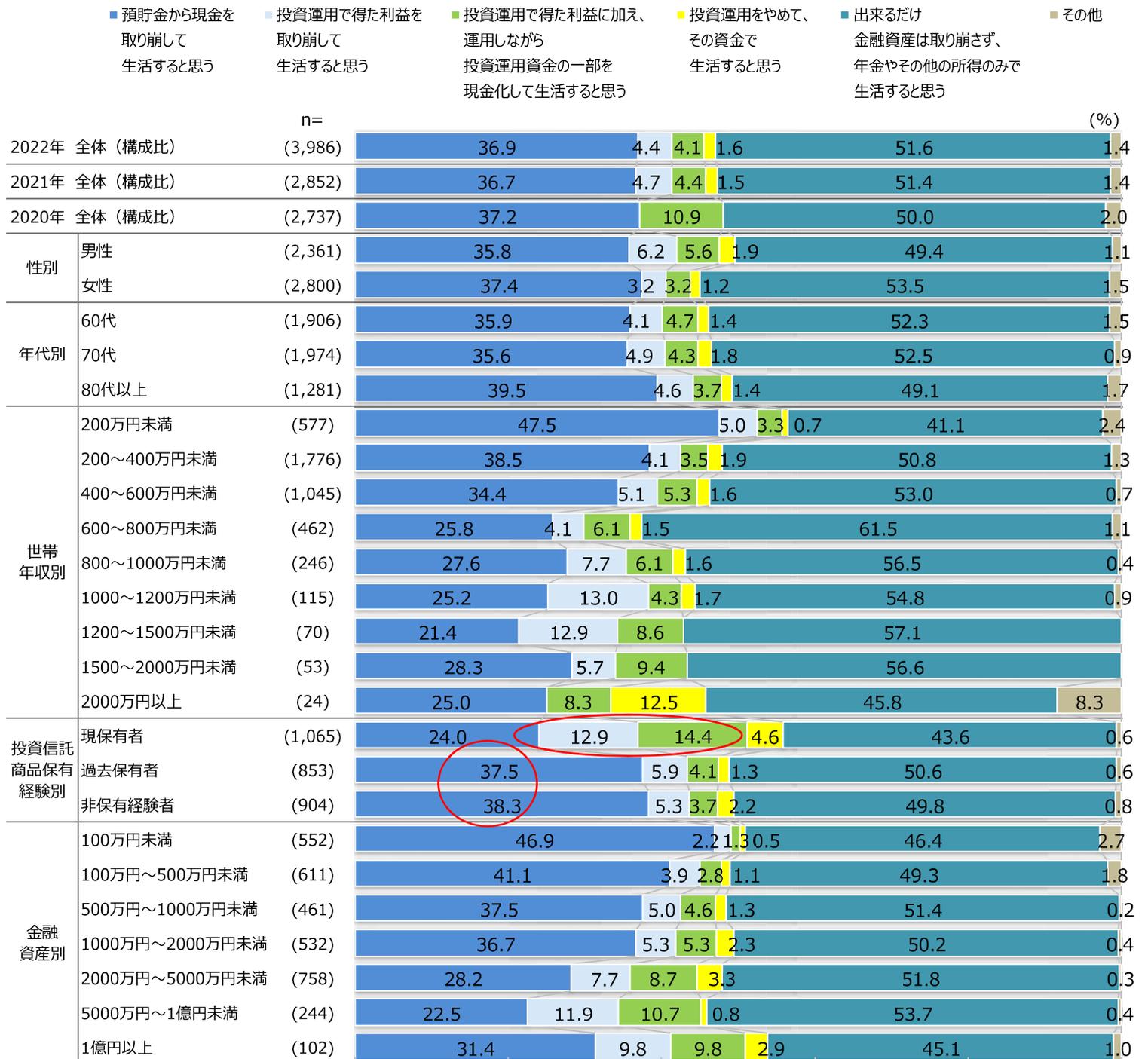


※資産形成実施計：（「10代から」～「70代から」）のスコア

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (6-1) 今後の金融資産管理の意識〔Q24S2:単一回答〕

- 今後の金融資産の管理意識は、「出来るだけ金融資産は取り崩さず、年金やその他の所得のみで生活すると思う」（51.6%）が最も高く、「預貯金等から現金を取り崩して生活すると思う」（36.9%）が続く。
- 投資信託保有経験別で見ると、現保有者は「投資運用で得た利益を取り崩して生活すると思う」「投資運用で得た利益に加え、運用しながら金融資産の一部を現金化して生活すると思う」が過去保有者・非保有経験者よりも高く、過去保有者・非保有経験者は「預貯金等から現金を取り崩して生活すると思う」が現保有者よりも高い。

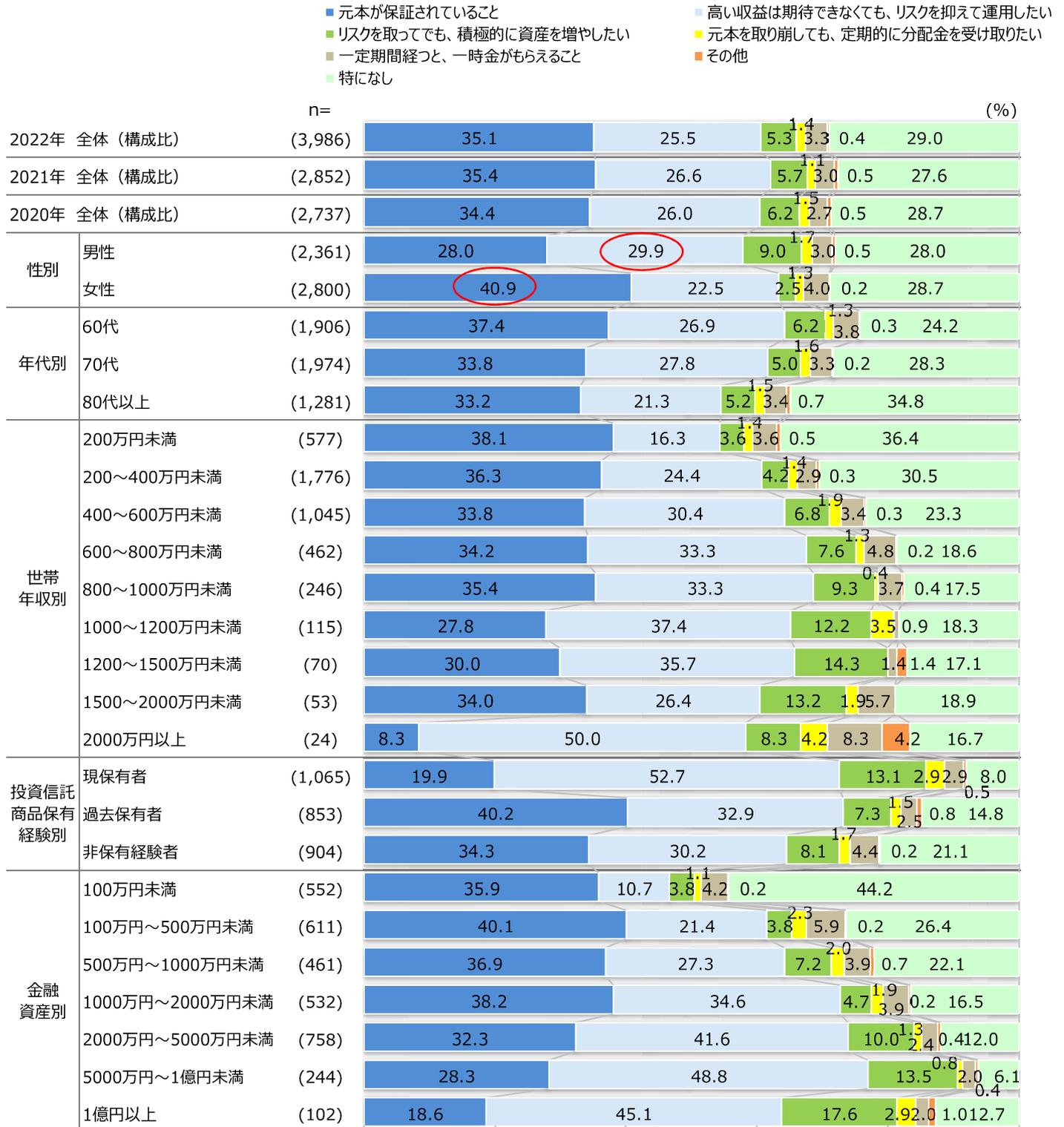


※「投資運用で得た利益に加え、運用しながら投資運用資金の一部を現金化して生活すると思う」について、2020年調査では「投資をし、運用しながら金融資産の一部を現金化し生活すると思う」で聴取  
 ※2020年調査では「投資運用で得た利益を取り崩して生活すると思う」「投資運用をやめて、その資金で生活すると思う」は非聴取

# 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

## (6-2) 今後の金融商品購入時の意識〔Q17:単一回答〕

- 今後、金融商品購入時の意識として、「元本が保証されていること」（35.1%）、「高い収益は期待できなくても、リスクを抑えて運用したい」（25.5%）の2つの割合が高い。
  - 性別でみると、女性では「元本が保証されていること」が、男性では「高い収益は期待できなくても、リスクを抑えて運用したい」がそれぞれ最も高い。
  - 世帯年収別でみると、年収が上がるほど「リスクを取ってでも、積極的に資産を増やしたい」が高い。
- ※n=30未満の軸は参考値



## 6. 老後の資産（年金・退職金）に関する実態と意識

### (7) 今後の生活の金銭面での不安〔Q25:複数回答〕

- 今後の金銭面での不安は、「家族または自身の医療・介護費用が心配」（48.1%）が最も高い。以下、「想定外の出費が不安」（33.9%）、「退職金や年金だけで生活費が足りるかどうか不安」（29.7%）が続く。
- 年代別で見ると、60代は70代以上の年代と比較して「想定外の出費が不安」（41.0%）、「退職金や年金だけで生活費が足りるかどうか不安」（40.8%）が高い。

		n=	家族または自身の医療・介護費用が心配	想定外の出費が不安 (子供の結婚や出産、家屋の修繕、病気の治療など)	退職金や年金だけで生活費が足りるかどうか不安	相続資金が残せるかが心配	その他	特に不安に思っていることはない
2022年 全体（構成比）		(3,986)	48.1	33.9	29.7	7.6	0.8	26.9
2021年 全体（構成比）		(2,852)	49.2	34.8	30.6	6.8	0.8	25.7
2020年 全体（構成比）		(2,737)	49.9	37.4	32.7	6.2	0.8	22.8
性別	男性	(2,361)	48.0	33.9	31.3	7.8	0.7	25.8
	女性	(2,800)	48.9	34.8	29.4	7.5	0.8	26.9
年代別	60代	(1,906)	49.3	41.0	40.8	8.8	0.8	20.2
	70代	(1,974)	49.1	32.7	26.6	6.4	0.4	27.4
	80代以上	(1,281)	46.3	27.0	20.4	7.7	1.2	34.0
世帯年収別	200万円未満	(577)	45.9	35.4	33.1	6.6	2.3	22.5
	200～400万円未満	(1,776)	51.1	34.8	31.3	7.4	0.5	24.3
	400～600万円未満	(1,045)	48.8	36.1	28.8	6.3	0.5	27.7
	600～800万円未満	(462)	48.9	30.5	29.4	10.4	0.4	26.2
	800～1000万円未満	(246)	46.7	37.8	27.6	10.6	0.4	31.3
	1000～1200万円未満	(115)	38.3	28.7	27.8	6.1	1.7	32.2
	1200～1500万円未満	(70)	44.3	35.7	25.7	8.6	-	40.0
	1500～2000万円未満	(53)	35.8	35.8	34.0	7.5	1.9	37.7
	2000万円以上	(24)	20.8	8.3	4.2	16.7	-	66.7
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,065)	43.6	34.6	23.1	10.6	0.8	32.9
	過去保有者	(853)	48.3	34.5	24.5	7.6	0.9	28.6
	非保有経験者	(904)	50.2	32.6	29.4	8.2	0.6	25.8
金融資産別	100万円未満	(552)	53.3	38.9	42.6	6.7	1.3	14.9
	100万円～500万円未満	(611)	55.3	40.4	41.7	8.5	0.5	14.2
	500万円～1000万円未満	(461)	52.3	37.7	38.8	11.7	0.4	18.0
	1000万円～2000万円未満	(532)	53.2	38.3	28.9	7.0	0.6	21.6
	2000万円～5000万円未満	(758)	43.9	32.1	17.8	7.9	0.8	34.8
	5000万円～1億円未満	(244)	36.9	29.1	11.9	7.8	0.8	47.1
	1億円以上	(102)	23.5	21.6	9.8	6.9	2.9	59.8

※「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

## **7. 60 歳代以上の現在の生活や 今後への意識**

---

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (1) 普段の生活の楽しみ・大切にしていること〔Q2:複数回答〕

- 普段の生活の楽しみ・大切にしていることは、「趣味」(63.2%) が最も高く、「家族との時間」(55.0%)、「健康管理」(48.9%)、「旅行」(46.4%)が続く。
- 性別でみると、男性よりも女性で「友人・知人との時間」、「家事」が高く、男女差が目立つ項目となっている。一方で、男性では「趣味」が女性よりも高い。
- 世帯年収別でみると、年収が上がるほど「旅行」が高い。※n=30未満は参考値

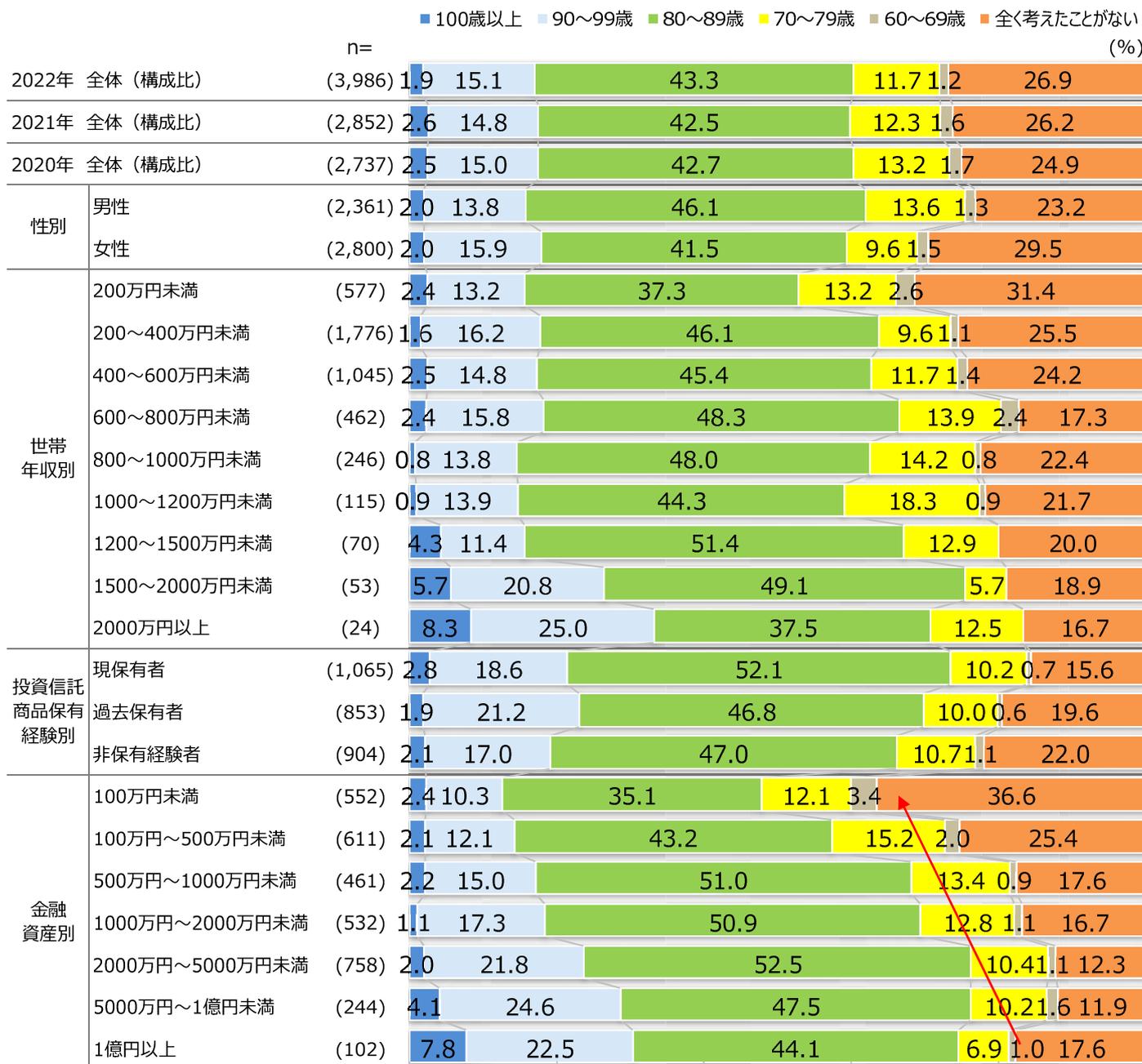
		n=	趣味	家族との時間	健康管理	旅行	友人・知人との時間	外食	家事	仕事	子育て(含孫)	ボランティア	その他	特にない
2022年 全体 (構成比)		(3,986)	63.2	55.0	48.9	46.4	38.8	28.4	22.7	13.4	8.7	8.2	2.1	6.6
2021年 全体 (構成比)		(2,852)	62.7	54.9	50.5	47.2	39.8	26.4	23.9	13.3	8.9	8.3	1.5	6.3
2020年 全体 (構成比)		(2,737)	62.4	53.7	50.2	53.3	41.6	28.6	22.5	14.0	9.4	9.0	1.4	6.7
性別	男性	(2,361)	67.9	56.1	50.9	47.3	31.3	26.7	12.6	16.4	8.3	8.7	1.7	6.1
	女性	(2,800)	57.9	55.3	46.9	45.8	45.9	29.3	31.0	11.3	9.1	8.0	2.6	7.0
年代別	60代	(1,906)	58.8	53.1	38.8	48.2	34.4	33.6	20.7	21.4	10.1	5.6	2.4	8.0
	70代	(1,974)	66.6	59.7	52.0	49.4	42.6	27.2	23.2	10.8	9.0	10.0	2.2	4.0
	80代以上	(1,281)	61.7	53.2	58.5	39.3	41.1	21.3	24.6	6.5	6.2	9.9	2.0	8.5
世帯年収別	200万円未満	(577)	56.7	35.9	46.8	30.8	39.2	21.1	23.7	9.2	5.9	7.6	2.6	12.5
	200~400万円未満	(1,776)	62.5	53.5	50.3	44.3	36.5	24.3	22.6	9.3	7.2	8.8	2.5	6.4
	400~600万円未満	(1,045)	66.6	59.9	50.3	49.6	41.5	29.6	21.7	14.5	8.7	8.4	1.5	4.9
	600~800万円未満	(462)	68.2	64.9	47.6	51.5	40.7	32.3	21.6	19.3	10.0	9.7	2.2	4.1
	800~1000万円未満	(246)	63.4	65.4	49.6	58.5	46.3	35.8	21.5	21.1	9.8	7.7	2.4	4.5
	1000~1200万円未満	(115)	59.1	69.6	43.5	65.2	47.0	39.1	27.0	28.7	12.2	5.2	0.9	1.7
	1200~1500万円未満	(70)	65.7	71.4	47.1	71.4	60.0	44.3	20.0	38.6	17.1	10.0	4.3	4.3
	1500~2000万円未満	(53)	69.8	58.5	50.9	75.5	39.6	56.6	26.4	35.8	17.0	15.1	1.9	3.8
	2000万円以上	(24)	50.0	66.7	50.0	58.3	20.8	54.2	12.5	37.5	16.7	4.2	-	4.2
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,065)	71.8	58.4	57.7	59.9	48.5	35.8	23.8	15.7	9.0	12.9	1.8	3.0
	過去保有者	(853)	67.2	59.8	57.0	53.5	44.8	30.2	25.6	14.1	12.7	10.1	1.8	3.5
	非保有経験者	(904)	66.9	56.0	51.7	49.1	40.3	29.4	20.5	14.8	9.7	7.6	2.8	3.0
金融資産別	100万円未満	(552)	53.4	47.8	40.2	31.3	28.6	20.7	20.1	15.9	7.1	5.8	2.0	11.6
	100万円~500万円未満	(611)	60.4	49.3	46.0	45.0	37.0	27.2	20.1	17.0	8.0	7.5	2.1	6.2
	500万円~1000万円未満	(461)	67.0	59.2	52.3	44.0	39.0	26.2	23.6	13.7	10.8	10.2	3.7	4.6
	1000万円~2000万円未満	(532)	67.5	58.1	50.2	48.1	44.5	29.3	22.4	11.5	8.5	9.2	2.3	4.5
	2000万円~5000万円未満	(758)	70.3	60.2	57.7	57.0	45.5	32.7	24.5	17.7	9.4	11.6	1.3	2.9
	5000万円~1億円未満	(244)	64.3	62.3	54.9	64.3	43.4	38.1	22.5	9.0	7.8	9.4	2.0	3.3
	1億円以上	(102)	68.6	49.0	48.0	66.7	36.3	42.2	16.7	15.7	11.8	6.9	1.0	2.0

※「2022年 全体 (構成比)」スコアで降順ソート

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (2)自身の想定寿命〔Q30:単一回答〕

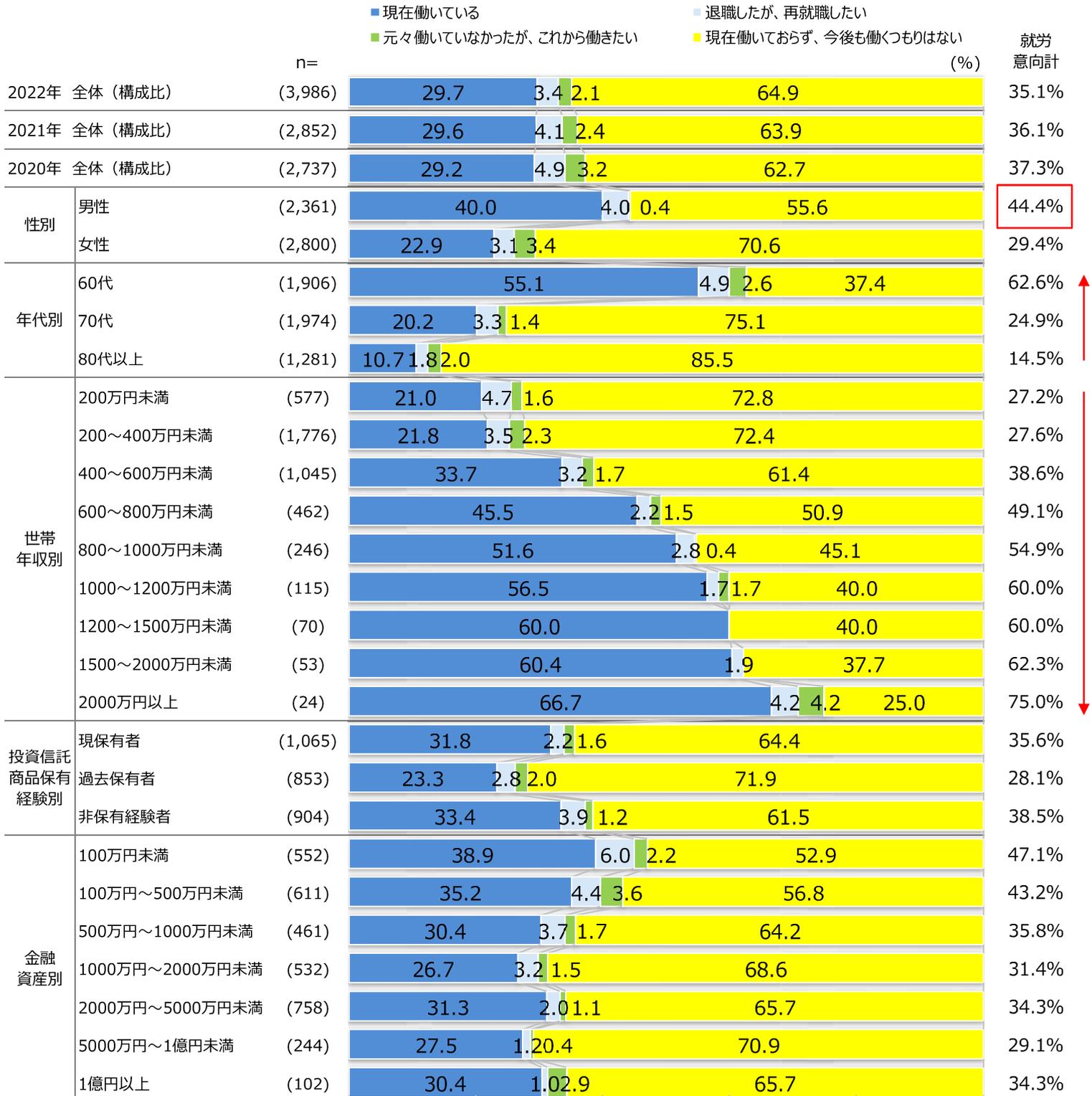
- 自身の想定寿命は、「80～89歳」（43.3%）が最も高い。
- 金融資産別でみると、資産が低い層ほど「全く考えたことがない」の割合が高い。特に100万円未満では「全く考えたことがない」が36.6%と最も高くなっている。



# 7. 60歳以上の現在の生活や今後への意識

## (3)就労状況・意識(Q26:単一回答)

- 就労状況・意識は、「現在働いている」が29.7%、「退職したが、再就職したい」が3.4%、「元々働いていなかったが、これから働きたい」が2.1%、「現在働いておらず、今後も働くつもりはない」が64.9%。就労意向計は35.1%。
- 就労意向は女性よりも男性で高い。また、年代が低いほど、世帯年収が上がるほど、就労意向は高まる傾向。※n=30未満の軸は参考値

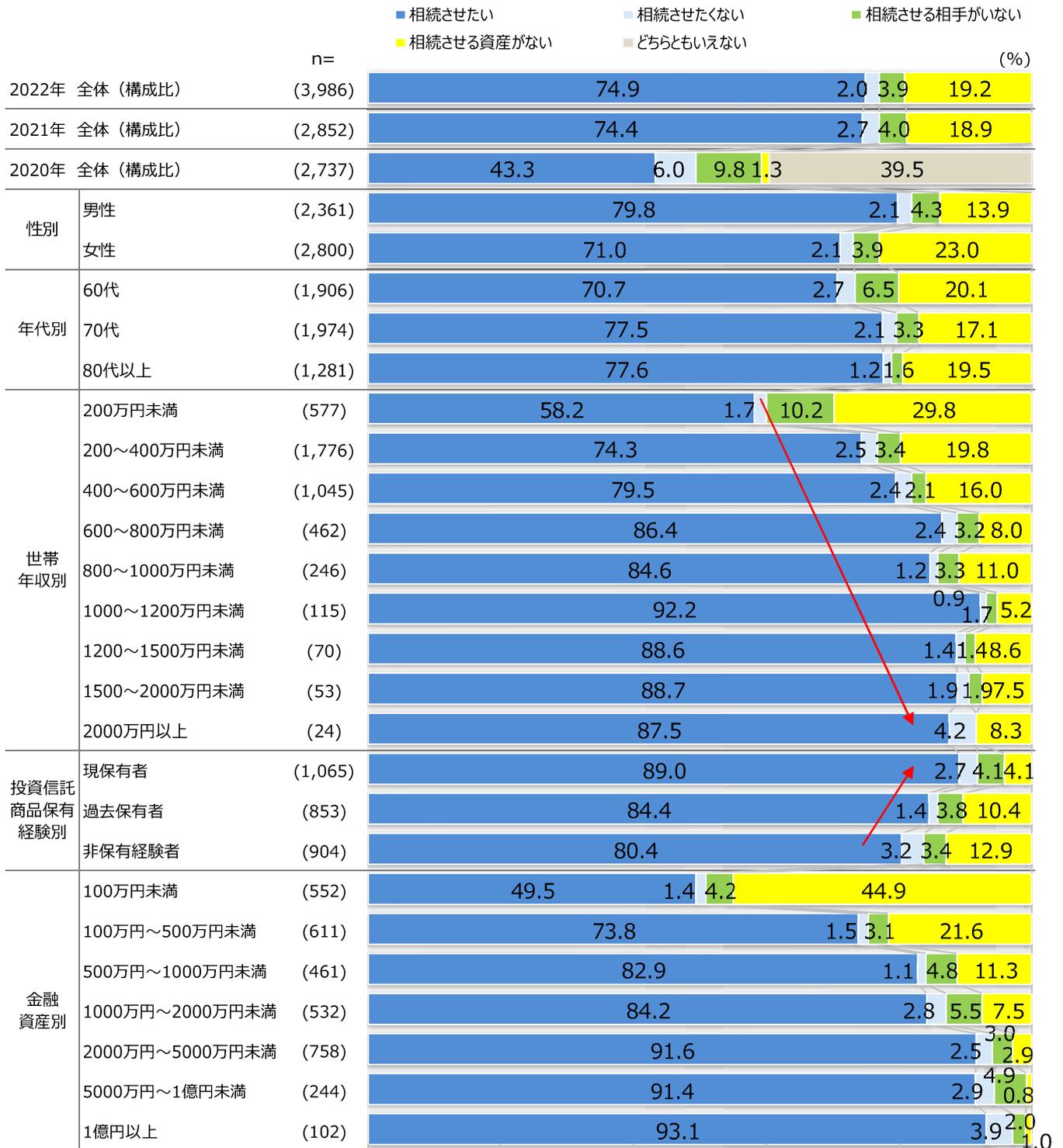


※就労意向計: (「現在働いている」~「元々働いていなかったが、これから働きたい」) のスコア

# 7. 60歳以上の現在の生活や今後への意識

## (4)財産の相続意向〔Q27:単一回答〕

- 自分の財産の相続意向は、「相続させたい」が74.9%。「相続させたくない」が2.0%、「相続させる相手がいない」が3.9%、「相続させる資産がない」が19.2%となっている。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど、「相続させたい」が高まる傾向。n=30未満の軸は参考値
- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者では過去保有者・非保有経験者に比べて「相続させたい」割合が高くなっている。



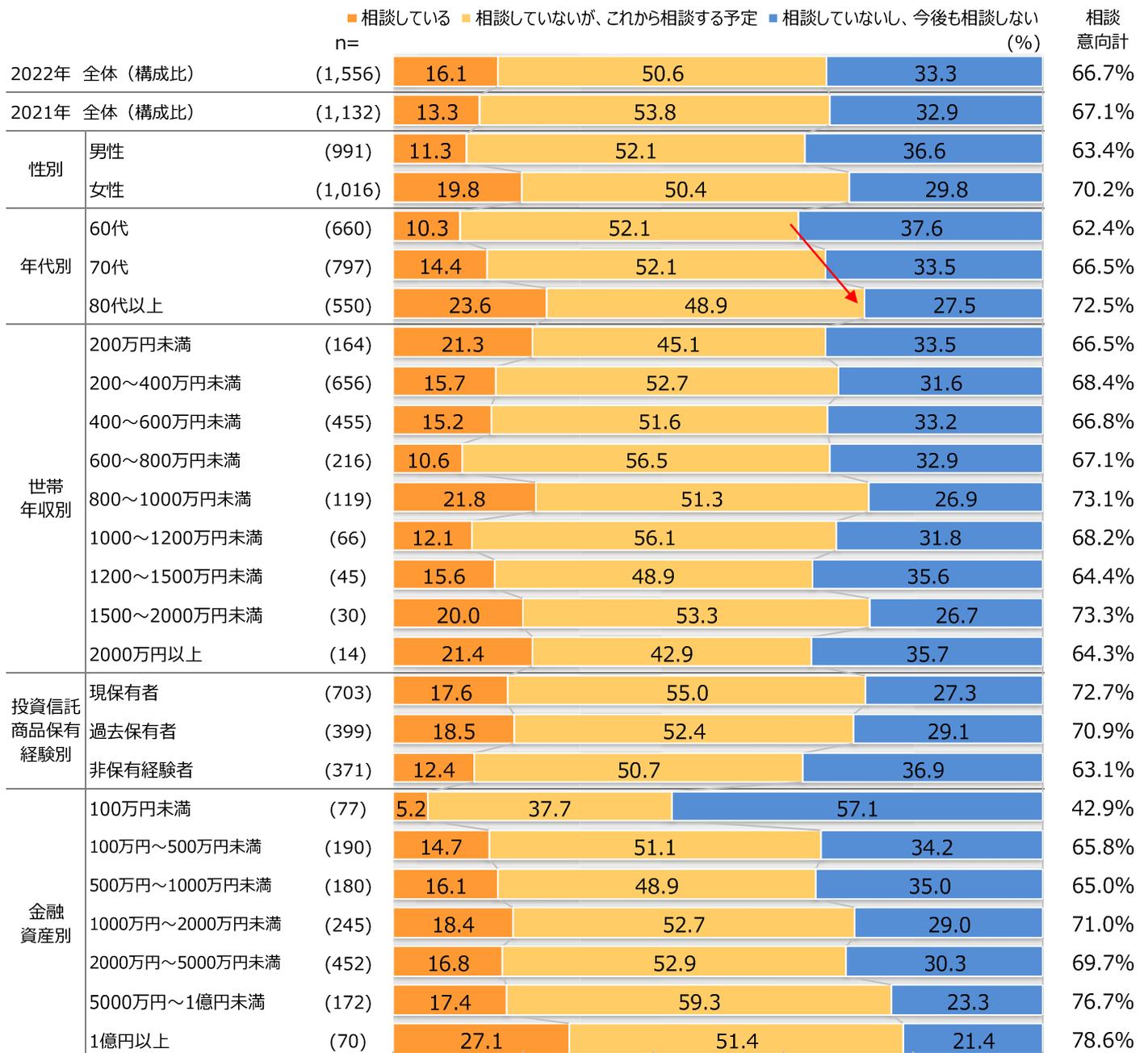
※2022・21年調査では「どちらともいえない」非聴取 ※2020年調査以前では「相続させる資産がない」非聴取  
 ※2022・21年調査と2020年調査以前では設問形式が異なるため、時系列データについては参考値

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (5)財産相続の相談状況〔Q29:単一回答〕

- 相続意向者のうち、相続について相続相手と「相談している」割合は16.1%。「相談していないが、これから相談する予定」が50.6%、「相談していないし、今後も相談しない」が33.3%。
- 年代別でみると、年代が上がるほど相談意向計も高く、80代以上では7割を超える。
- 金融資産別でみると、資産額が上がるほど、相談意向計も高い。

### 【預貯金以外の金融資産相続意向者ベース】



※相談意向計：（「相談している」+「相談していないが、これから相談する予定」）のスコア



# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (6)引き継いでもらいたい資産〔Q27:複数回答〕

- 相続意向者において、引き継いでもらいたい資産は「現金・預貯金」（79.1%）、「家屋」（67.8%）、「土地」（66.4%）が上位に挙がる。
- 「投資信託」について、投資信託現保有者の50.9%が相続意向を持っている。

【財産相続意向者ベース】		n=	実物資産					金融資産							特 に な い
			家 屋	土 地	宝 石 等 の 貴 金 属 や	美 術 品 ・ 骨 董 品	そ の 他 の 実 物 資 産	現 金 ・ 預 貯 金	生 命 保 険 の 保 険 金	株 式	投 資 信 託	債 券	保 険 金	生 命 保 険 以 外 の	
2022年 全体（構成比）		(2,987)	67.8	66.4	11.3	4.0	0.9	79.1	38.0	20.9	12.8	5.0	0.5	0.7	-
2021年 全体（構成比）		(2,122)	69.6	68.6	11.5	4.5	1.3	78.9	39.2	22.8	11.9	4.7	0.8	1.0	-
2020年 全体（構成比）		(1,186)	75.2	73.5	15.4	6.1	0.8	84.9	37.4	29.2	18.2	8.3	0.8	0.2	-
性別	男性	(1,883)	77.2	76.4	7.6	4.0	0.8	77.5	35.7	25.8	14.7	5.6	0.4	0.5	-
	女性	(1,989)	59.0	56.8	14.9	3.7	1.0	80.3	40.1	16.1	10.4	4.1	0.7	0.8	-
年代別	60代	(1,348)	62.2	61.6	10.2	2.6	0.3	78.4	37.1	17.8	11.6	3.5	0.1	0.3	-
	70代	(1,530)	69.9	68.6	12.2	4.2	0.7	78.8	37.6	22.3	12.7	5.2	0.4	0.3	-
	80代以上	(994)	72.4	69.3	11.8	4.9	2.1	80.0	39.5	22.6	13.2	6.0	1.3	1.7	-
世帯 年収別	200万円未満	(336)	58.3	55.7	6.0	2.4	1.2	78.9	36.9	11.3	9.8	3.6	0.9	1.2	-
	200～400万円未満	(1,319)	69.1	66.6	10.5	4.0	0.7	77.3	37.1	18.2	11.5	4.2	0.7	0.5	-
	400～600万円未満	(831)	71.5	69.0	11.1	3.6	1.0	81.3	38.1	23.9	13.8	5.5	0.6	0.5	-
	600～800万円未満	(399)	69.2	70.9	13.0	3.0	1.3	79.4	39.8	24.6	12.8	4.8	-	0.3	-
	800～1000万円未満	(208)	73.1	68.8	14.4	4.8	0.5	80.8	38.0	31.7	21.2	9.1	1.4	0.5	-
	1000～1200万円未満	(106)	66.0	67.0	14.2	4.7	1.9	79.2	40.6	32.1	17.0	4.7	-	1.9	-
	1200～1500万円未満	(62)	75.8	77.4	24.2	11.3	-	85.5	58.1	41.9	24.2	14.5	-	-	-
	1500～2000万円未満	(47)	68.1	70.2	29.8	12.8	-	78.7	57.4	25.5	14.9	4.3	-	-	-
2000万円以上	(21)	57.1	61.9	19.0	19.0	-	95.2	47.6	47.6	19.0	9.5	-	-	-	
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	(948)	72.2	69.4	17.0	6.3	0.9	83.4	43.7	46.2	50.9	14.3	0.6	0.7	-
	過去保有者	(720)	71.5	68.1	13.2	5.0	1.0	83.1	40.6	23.3	-	3.9	0.1	0.8	-
	非保有経験者	(727)	71.0	68.4	8.8	2.3	1.0	78.4	32.6	27.5	-	3.2	0.6	0.7	-
金融 資産別	100万円未満	(273)	54.9	57.9	5.5	1.1	0.4	59.0	24.5	4.0	1.8	0.4	0.7	0.4	-
	100万円～500万円未満	(451)	65.9	65.0	7.8	3.1	1.8	70.3	31.5	12.4	5.5	0.7	1.3	0.2	-
	500万円～1000万円未満	(382)	70.2	67.3	9.2	3.7	0.5	78.8	36.6	14.1	6.5	2.9	0.5	0.5	-
	1000万円～2000万円未満	(448)	71.4	69.2	14.1	3.8	0.2	87.5	39.7	22.1	12.3	3.6	0.2	0.7	-
	2000万円～5000万円未満	(694)	71.6	68.0	11.5	4.9	0.7	88.3	45.2	34.0	22.2	8.1	0.4	0.4	-
	5000万円～1億円未満	(223)	71.3	69.5	17.0	9.0	2.2	91.9	48.0	48.9	33.2	16.1	0.4	0.4	-
	1億円以上	(95)	66.3	62.1	26.3	10.5	-	87.4	46.3	52.6	33.7	23.2	-	-	-

※カテゴリごとに「2022年 全体（構成比）」スコアで降順ソート

# 7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

## (7)相続する資産の現金化意向〔Q28:単一回答〕

- 金融資産相続意向者のうち、現金化意向者は23.2%。その内訳は、「金融商品は全て売却（現金化）して相続してもらう予定だ」（14.4%）、「金融商品は一部を売却（現金化）して相続してもらう予定だ」（8.8%）。なお、現金化をしない割合は18.3%、現金化について未定の割合は58.5%となっている。時系列でみると現金化未定の割合が増加傾向。
- 性別でみると、女性よりも男性で現金化の意向が高い。

### 【預貯金以外の金融資産相続意向者ベース】

- 金融商品は全て売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- 金融商品は一部を売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- 金融商品は全てをそのまま（現金化せずに）相続してもらう予定だ
- どう相続してもらうかはまだ決まっていない

		n=	現金化意向計 (%)				現金化意向計
2022年 全体（構成比）		(1,556)	14.4	8.8	18.3	58.5	23.2%
2021年 全体（構成比）		(1,132)	14.3	9.4	19.4	56.9	23.7%
2020年 全体（構成比）		(654)	16.4	11.6	24.8	47.2	28.0%
性別	男性	(991)	15.0	11.0	19.6	54.4	26.0%
	女性	(1,016)	13.0	6.7	17.0	63.3	19.7%
年代別	60代	(660)	12.7	11.4	14.2	61.7	24.1%
	70代	(797)	13.9	6.8	19.2	60.1	20.7%
	80代以上	(550)	15.6	8.7	21.8	53.8	24.4%
世帯年収別	200万円未満	(164)	14.0	4.9	14.6	66.5	18.9%
	200~400万円未満	(656)	14.6	8.2	17.2	59.9	22.9%
	400~600万円未満	(455)	14.7	7.9	20.4	56.9	22.6%
	600~800万円未満	(216)	15.3	11.1	19.9	53.7	26.4%
	800~1000万円未満	(119)	17.6	13.4	26.9	42.0	31.1%
	1000~1200万円未満	(66)	10.6	9.1	18.2	62.1	19.7%
	1200~1500万円未満	(45)	11.1	8.9	31.1	48.9	20.0%
	1500~2000万円未満	(30)	20.0	13.3	20.0	46.7	33.3%
	2000万円以上	(14)	14.3	14.3	14.3	57.1	28.6%
投資信託商品保有経験別	現保有者	(703)	15.9	13.2	22.5	48.4	29.2%
	過去保有者	(399)	18.5	10.3	18.0	53.1	28.8%
	非保有経験者	(371)	14.8	8.6	18.9	57.7	23.5%
金融資産別	100万円未満	(77)	15.6	6.5	10.4	67.5	22.1%
	100万円~500万円未満	(190)	18.4	5.3	17.4	58.9	23.7%
	500万円~1000万円未満	(180)	16.1	8.9	18.9	56.1	25.0%
	1000万円~2000万円未満	(245)	18.0	10.6	20.0	51.4	28.6%
	2000万円~5000万円未満	(452)	16.4	11.1	21.7	50.9	27.4%
	5000万円~1億円未満	(172)	18.0	16.3	25.0	40.7	34.3%
	1億円以上	(70)	8.6	18.6	24.3	48.6	27.1%

※現金化意向計：（「金融商品は全て売却（現金化）して相続してもらう予定だ」+「金融商品は一部を売却（現金化）して相続してもらう予定だ」）のスコア

**末尾添付資料：調査票**



## 商品に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。



「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力お願いします。



アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

- ①必須入力
- 排他選択肢：7. いない

### Q1

100%

あなたのご家族を全てお選びください。 ※同居・別居は問いません。

✓ 複数回答   ★ 必須回答

1 配偶者

2 親（義理の親を含む）

3 子

4 兄弟姉妹

5 孫

6 その他

7 いない



# 末尾添付資料：調査票

- 選択肢セレクト条件  
選択肢【7】：【Q1】で3,5,6と答えた方  
選択肢【8】：【Q1】で1-6と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：12. 特にない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-10

## Q2

あなたの普段の生活における楽しみや大切にしていることを全てお選びください。

✓ 複数回答   ★ 必須回答

1 趣味

2 仕事

3 ボランティア

4 家事

5 外食

6 旅行

7 子育て（孫・ひ孫を含む）

8 家族との時間

9 友人・知人との時間

10 健康管理

11 その他

12 特にない



ここで改ページ

● ①必須入力

## Q3

あなたの世帯で保有されている「金融資産」の概算の評価額として  
あてはまるものをお選びください。

**金融資産とは、モノではなく金銭に近い形で保有している資産を指します。**

**金融資産：現金、預貯金、株、国債、投資信託など**

**金融資産でない：家、土地、貴金属、宝石、美術品など**

○ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 100万円未満
- ② 100万円～500万円未満
- ③ 500万円～1000万円未満
- ④ 1000万円～2000万円未満
- ⑤ 2000万円～5000万円未満
- ⑥ 5000万円～1億円未満
- ⑦ 1億円以上
- ⑧ わからない・答えたくない



ここで改ページ

- ①必須入力(全項目)
- 排他選択肢：12. あてはまるものはない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-10
- 包含チェック：項目【1】×項目【2】  
包含チェックする選択肢：1-11
- SA 項目【2】

## Q4

あなたご自身が現役時代に、公的年金（国民年金、厚生年金）以外に加入していた制度を全てお選びください。

そのうち、老後の資産形成として、最も重視していたものをお選びください。

✔ 複数回答    ★ 必須回答

閉じる

0/2

1 現役時代に加入していた制度(いくつでも)

2 最も重視していた制度(ひとつ)

- 企業型確定給付年金（DB）
- 厚生年金基金
- 企業型確定拠出年金（DC）
- 退職一時金制度
- 退職等年金給付
- 個人型確定拠出年金（iDeCo）
- 国民年金基金
- 小規模企業共済
- 国民年金付加保険料
- 個人年金保険
- その他
- あてはまるものはない

閉じる

ここをタップしてページを移動してください



- セレクト条件：【Q5】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件  
選択肢【6】：((AGE >= 70) && (AGE <= 200))
- ①必須入力

## Q6

あなたが初めて投資をした年齢をお選びください。

※贈与や相続で金融商品を取得した場合等も「投資」に含んでお答えください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 20代以前
- ② 30代
- ③ 40代
- ④ 50代
- ⑤ 60代
- ⑥ 70代以降
- ⑦ 覚えていない

.....  ここで改ページ .....

- セレクト条件：【Q5】で1,2と答えた方
- ①必須入力
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-8

## Q7

あなたが初めて投資をしたきっかけは何ですか。（いくつでも）

✓ 複数回答    ★ 必須回答

1 ライフステージが変化した（就職・結婚・子供が生まれた等）

2 企業型確定拠出年金に加入した

3 退職金をもらった

4 家族や友人、知人に勧められた

5 金融機関から勧められた

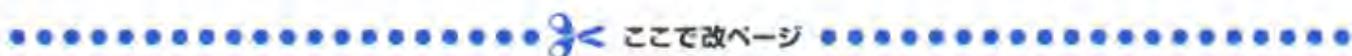
6 定期預金や保険が満期になりお金が戻ってきた

7 テレビや雑誌、インターネット等の情報に影響を受けた

8 贈与や相続を受けた

9 自分から自然と興味を持った

10 その他



- セレクト条件：【Q5】で1,2と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：11. 特に理由はない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-9

## Q8

あなたが投資している（投資した）理由としてあてはまるものを全てお選びください。

✔ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 1 預貯金の金利が低いから
- 2 資産を分けて保有しておくため
- 3 相続や贈与の資金のため
- 4 自分の生活費のため
- 5 将来の医療・介護費用の負担に備えるため
- 6 趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため
- 7 社会とのつながりを持つため
- 8 経済について学ぶため
- 9 投資そのものを楽しむため
- 10 その他
- 11 特に理由はない



ここで改ページ



- セレクト条件：【Q5】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)
- 項目ランダムイズ：項目1-9

## Q10

以下の投資の経験や考え方について、あなたはどの程度あてはまりますか。それぞれお選びください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/9

1	年齢を重ねるにつれて、自分の判断に自信がなくなってきた	▼
2	経験を重ねて、自分の判断に自信を持っている	▼
3	年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターンの投資をするようになった	▼
4	経験を重ねて、ハイリスク・ハイリターンの投資をするようになった	▼
5	以前より運用期間を短く考えるようになった	▼
6	以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった	▼
7	積立投資（定期的な購入による投資）の効果を実感したことがある	▼
8	過去に想像以上のハイリターンを得たことがある	▼
9	過去に自分の投資（購入商品や購入額等）を後悔したことがある	▼

① とてもあてはまる

② あてはまる

③ どちらともいえない

④ あてはまらない

⑤ 全くあてはまらない

●●●●●●●●●●●●●●●●  ここで改ページ ●●●●●●●●●●●●●●●●

- セレクト条件：【Q5】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件  
選択肢【1】 - 【2】：【Q5】で1と答えた方
- ①必須入力(全項目)

## Q11

あなたは以下の金融商品・投資商品を保有していますか。

※世帯としてではなく**あなたご自身**が保有しているものについてお答えください。

◎ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/5

1	投資信託	▼
2	株式	▼
3	債券	▼
4	不動産投資信託（J-REIT）（不動産に投資する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）	▼
5	外貨建て商品（外貨預金や外貨建てMMF、外国債券など）	▼

- 自分で購入し保有している
- 自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している
- 以前保有していたことはあるが、今は保有していない
- （名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない
- この商品は知らない



ここで改ページ

- ①必須入力
- 非他選択肢：9. 金融商品は利用を検討しない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-7

## Q12

あなたが今後利用を検討してもいいと思う金融商品を全てお選びください。

※金融商品とは、銀行・証券会社・保険会社が扱う商品を指します。

※既に利用しているものについては、今後も利用したいかどうかをお答えください。

▼ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 1 投資信託
- 2 株式
- 3 債券
- 4 不動産投資信託（J-REIT）（不動産に投資する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）
- 5 外貨建て商品（外貨預金や外貨建てMMF、外国債券など）
- 6 預貯金
- 7 保険商品
- 8 その他の金融商品
- 9 金融商品は利用を検討しない



ここで改ページ

- 選択肢セレクト条件 項目【1】  
選択肢【1】：Q11項目【1】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件 項目【2】  
選択肢【1】：Q11項目【1】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件 項目【3】  
選択肢【1】：Q11項目【1】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件 項目【4】  
選択肢【1】：Q11項目【1】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件 項目【5】  
選択肢【1】：Q11項目【4】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)

## Q13

以下の商品であなたが**興味のある**、または**既に保有している**金融商品やサービスはありますか。

当てはまるものをそれぞれお選びください。

○ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/6

- 1 毎月・隔月分配型ファンド（毎月又は隔月ごとに分配金を受け取ることができる投資信託） ▼
- 2 バランス型ファンド（株式、債券などいくつかの資産に分散して投資する投資信託） \*
- 3 インデックス型ファンド（株価等の指数と同じ値動きになるよう目指して運用する投資信託） ▼
- 4 アクティブ型ファンド（株価等の指数を上回る成果を目指して積極的に運用する投資信託） ▼
- 5 不動産投資信託（J-REIT）（不動産に投資する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの） ▼
- 6 ファンドラップ（利用者の投資目的やリスク許容度などを踏まえ、投資一任契約を結び、金融機関が運用や管理、定期的な報告などを行うサービス） ▲

- ① 保有している
- ② 保有していないが、興味はある
- ③ 保有しておらず、興味もない
- ④ わからない

- セレクト条件：項目【11】～【16】：Q13項目【11】～【16】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)
- マルチの選択数：
  - 上層を指定→【3】 固定で選択
- 非選択数部：11. 特に理由はない
- 選択範囲ランダムミス：選択数1-9

## Q14

あなたが以下の投資信託の商品やサービスを保有している/興味のある理由として、あてはまるものをそれぞれ3つまでお選びください。

※複数保有している場合は、最も長く保有しているものについてお答えください。

▼ 複数回答 (3個まで選択)

★ 必須回答

▲ とじる

0/5

毎月・毎月分配型ファンド（毎月又は毎月ごとに分配金を受け取ることができる投資信託）

バランス型ファンド（株式、債券などいくつかの資産に分散して投資する投資信託）

インデックス型ファンド（株価等の指数と同じ動きになるよう目指して運用する投資信託）

アクティブ型ファンド（株価等の指数を上回る成果を目指して積極的に運用する投資信託）

不動産投資信託（J-REIT）（不動産に投資する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）

ファンドラップ（利用者の投資目的やリスク許容度などを踏まえ、投資一任契約を結び、金融機関が運用や管理、定期的な報告などを行うサービス）

- 1 預貯金の金利が低いから
- 2 資産を分けて保有しておくため
- 3 相続や贈与の資金のため
- 4 自分の生活費のため
- 5 将来の医療・介護費用の負担に備えるため
- 6 趣味やレジャーなどの道楽費に充てるため
- 7 社会とのつながりを持つため
- 8 経済について学ぶため
- 9 投資そのものを楽しむため
- 10 その他
- 11 特に理由はない

閉じる

C1

ここからは、年金や退職金などを含めた、あなたの資産形成への意識について伺います。

.....  ここで改ページ .....

- 選択肢セレクト条件
- 選択肢【2】 : ((AGE >= 61) && (AGE <= 200))
- 選択肢【3】 : ((AGE >= 62) && (AGE <= 200))
- 選択肢【4】 : ((AGE >= 63) && (AGE <= 200))
- 選択肢【5】 : ((AGE >= 64) && (AGE <= 200))
- 選択肢【6】 : ((AGE >= 65) && (AGE <= 200))
- 選択肢【7】 : ((AGE >= 66) && (AGE <= 200))
- 選択肢【8】 : ((AGE >= 67) && (AGE <= 200))
- 選択肢【9】 : ((AGE >= 68) && (AGE <= 200))
- 選択肢【10】 : ((AGE >= 69) && (AGE <= 200))
- 選択肢【11】 : ((AGE >= 70) && (AGE <= 200))

•  必須入力

Q15

あなたは現在、年金を受け取っていますか。

受け取っている方は、何歳から受け取りを開始したかお答えください。

 単一回答

 必須回答

 とじる

① 60歳

② 61歳

③ 62歳

④ 63歳

⑤ 64歳

⑥ 65歳

⑦ 66歳

⑧ 67歳

⑨ 68歳

⑩ 69歳

⑪ 70歳

⑫ 年金を受け取っていない

.....  ここで改ページ .....

• ①必須入力

## Q16

あなたは、年金を最初に受け取り始める直前、どれくらいの貯蓄額がおおよそありましたか。

受給されていない方は現在の貯蓄額でお答えください。

※複数口座、現金貯金がある場合、全部を含めた金額をお答えください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 100万円未満
- ② 100万円～500万円未満
- ③ 500万円～1000万円未満
- ④ 1000万円～2000万円未満
- ⑤ 2000万円～5000万円未満
- ⑥ 5000万円～1億円未満
- ⑦ 1億円以上
- ⑧ わからない・答えたくない

 [ここで改ページ](#)

• ①必須入力

## Q17

あなたが今後、金融商品を購入する場合、どのような観点から商品を選びますか。  
最も当てはまるものをお選びください。

◎ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 元本が保証されていること
- ② 高い収益は期待できなくても、リスクを抑えて運用したい
- ③ リスクを取ってでも、積極的に資産を増やしたい
- ④ 元本を取り崩しても、定期的に分配金を受け取りたい
- ⑤ 一定期間経つと、一時金がもらえること
- ⑥ その他
- ⑦ 特になし



ここで改ページ

- 選択肢セレクト条件  
選択肢【7】 : ((AGE >= 70) && (AGE <= 200))
- ①必須入力

## Q18

あなたは、これまで老後のために資産形成をしていましたか。  
老後のための資産形成をしていた方は、いつ頃から始めましたが。  
当てはまるものをお答えください。

※ここでの資産形成は、貯蓄だけでなく、金融商品の購入などの資産の運用を指します。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

<資産形成をしていた>

① 10代から

② 20代から

③ 30代から

④ 40代から

⑤ 50代から

⑥ 60代から

⑦ 70代から

<資産形成はしてこなかった>

⑧ 老後のための資産形成は特にしてこなかった



ここで改ページ

- 選択肢セレクト条件

- 選択肢【3】 : 【Q18】で2-8と答えた方
- 選択肢【4】 : 【Q18】で3-8と答えた方
- 選択肢【5】 : 【Q18】で4-8と答えた方
- 選択肢【6】 : 【Q18】で5-8と答えた方
- 選択肢【7】 : 【Q18】で6-8と答えた方
- 選択肢【8】 : any(Q18, "7,8") && ((AGE >= 70) && (AGE <= 200))

-  必須入力
- 回答参照：【Q18】

## Q19

あなたは、老後のために資産形成を開始した時期について【【Q18の選択内容】】と回答されましたが、これまでの資産形成の時間は十分だったと思いますか。十分でなかったと思う場合、いつ頃から始めるのが良かったと思いますか。

 単一回答

 必須回答

 とじる

<十分だったと思う>

資産形成の時間は十分だったと思う

<十分でなかったと思う>

10代から

20代から

30代から

40代から

50代から

60代から

70代から

.....  [ここで改ページ](#) .....

• ①必須入力

## Q20

あなたは、お勤め先から退職金を受け取りましたか。

受け取った方はどのように受け取りましたか。

※今後受け取る予定の方は、どのように受け取る予定かお答えください。

※専業主婦の方は、配偶者の退職金についてお答えください。

① 単一回答

★ 必須回答

しとじる

- ① 全額一時金で受け取った（受け取る予定）
- ② 一部は一時金で受け取り、それ以外は年金で受け取った（受け取る予定）
- ③ 全額を年金で受け取った（受け取る予定）
- ④ 退職金はなかった（ない）
- ⑤ わからない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q20】で1-3と答えた方
- 選択肢セレクト条件  
選択肢【6】：【Q1】で3,5と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：11. 特にない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-9

## Q21

あなたの退職金の使い道について、当てはまるものをお選びください。（いくつでも）

※既に退職金を使った方は何に使用したか、まだ使用していない方は何に使用する予定かお答えください。

※専業主婦の方は、配偶者の退職金についてお答えください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 1 預貯金
- 2 資産運用のための金融商品の購入
- 3 住宅ローンの返済
- 4 住宅のリフォーム
- 5 家電など、耐久消費財の購入
- 6 子どもや孫の教育費や結婚費用等
- 7 旅行等の趣味
- 8 開業・起業資金
- 9 日常生活費への充当
- 10 その他
- 11 特にない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q21】で2と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：7. わからない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-5

## Q22

退職金で金融商品を購入された（購入する予定の）方に伺います。  
あなたが退職金で購入した（購入する予定の）金融商品は次のうちどれですか。  
当てはまるものを全てお選びください。

✓ 複数回答    ★ 必須回答

↓ とじる

投資信託

株式

国内債券

外貨建て商品（外貨預金や外貨建てMMF、外国債券など）

保険商品（外貨建て保険含む）

その他

わからない

 [ここで改ページ](#)

# 末尾添付資料：調査票

- セレक्ट種別 項目【2】 (count(Q11, "S1-2", "1,2") >= 1) || (count(Q13, "S1-6", "1") >= 1)
- 必須入力(全項目)

## Q23

あなたは現在、毎月どのくらいの金額を預貯金等から取り崩して生活していますか。  
おおよその金額についてお選びください。

※年金などの引き出しを除いた金額についてお答えください。

▶ 上一問へ

▶ 次問へ

▶ 戻る

Q23

1	預貯金	↑
2	投資運用資金	↓

毎月、一定額（目安）を決めて取り崩す

① 1万円未満

② 1万円～3万円未満

③ 3万円～5万円未満

④ 5万円～10万円未満

⑤ 10万円～30万円未満

⑥ 30万円以上

預貯金等の残額の一定割合（定率）分を取り崩す

⑦ 1万円未満

⑧ 1万円～3万円未満

⑨ 3万円～5万円未満

⑩ 5万円～10万円未満

⑪ 10万円～30万円未満

⑫ 30万円以上

特に取り崩す額は決めていない

⑬ 1万円未満

⑭ 1万円～3万円未満

⑮ 3万円～5万円未満

⑯ 5万円～10万円未満

⑰ 10万円～30万円未満

⑱ 30万円以上

⑲ (取り崩している額は) わからない

⑳ 預貯金等を取り崩していない

- 選択肢セレクト条件  
選択肢【2】：【Q5】で1,2と答えた方  
選択肢【3】 - 【4】：【Q5】で1と答えた方
- ①必須入力(全項目)
- 包含チェック：項目【1】×項目【2】  
除外チェックする選択肢：1-6
- SA 項目【2】

## Q24

あなたは今後、どのように金融資産を管理して生活していくと思いますか。  
可能性があるものを全てお選びください。その中から、最も可能性が高いものをひとつお選びください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

012

1 可能性があるもの（全て）

2 最も可能性が高いもの（ひとつ）

- 1 預貯金から現金を取り崩して生活すると思う
- 2 投資運用で得た利益（配当、分配金等）を取り崩して生活すると思う
- 3 投資運用で得た利益（配当、分配金等）に加え、運用しながら投資運用資金の一部を現金化して生活すると思う
- 4 投資運用をやめて（売却等をし）、その資金で生活すると思う
- 5 出来るだけ金融資産は取り崩さず、年金やその他の所得のみで生活すると思う
- 6 その他

● 閉じる



ここで改ページ

- ①必須入力
- 排他選択肢：6. 特に不安に思っていることはない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-4

## Q25

今後の生活で、お金に関して不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

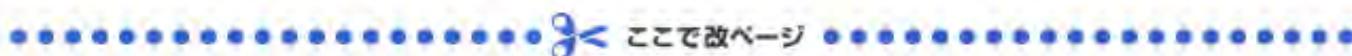
✓ 複数回答    ★ 必須回答

- 退職金や年金だけで生活費が足りるかどうかが不安
- 想定外の出費が不安（子供の結婚や出産、家屋の修繕、病気の治療など）
- 家族または自身の医療・介護費用が心配
- 相続資金が残せるかが心配
- その他
- 特に不安に思っていることはない

..... ✂ ここまで改ページ .....

C2

最後に、あなたの今後の生活への考え方についてお伺いします。



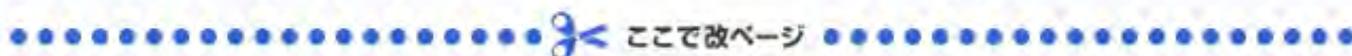
• 必須入力

Q26

あなたの就労状況・意識として最もあてはまるものをお選びください。

単一回答   必須回答

- 1 現在働いている
- 2 退職したが、再就職したい
- 3 元々働いていなかった（専業主婦・主夫等）が、これから働きたい
- 4 現在働いておらず、今後も働くつもりはない





- セレクト条件：【Q27】で7-12と答えた方
- ①の記入力

## Q28

現金・預貯金以外の金融資産（投資信託・株式などの金融商品）を将来、誰かへ相続させたい方にお聞きします。  
あなたは、現金以外の金融資産をどのように相続させる予定ですか。最もあてはまるものをお選びください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 金融商品は全て売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- 金融商品は一部を売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- 金融商品は全てをそのまま（現金化せずに）相続してもらう予定だ
- どう相続してもらうかはまだ決まっていない

.....  < ここで改ページ > .....

- セレクト条件：【Q27】で7-12と答えた方
- ①の記入力

## Q29

引き続き、現金・預貯金以外の金融資産（投資信託・株式などの金融商品）を将来、誰かへ相続させたい方にお聞きします。  
現金以外の金融資産の相続について  
あなたは、相続させたい相手に、相続について相談していますか。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 相談している
- 相談していないが、これから相談する予定
- 相談していないし、今後も相談しない

.....  < ここで改ページ > .....

- 選択肢セレクト条件

選択肢【2】 : ((AGE >= 1) && (AGE <= 99))

選択肢【3】 : ((AGE >= 1) && (AGE <= 89))

選択肢【4】 : ((AGE >= 1) && (AGE <= 79))

選択肢【5】 : ((AGE >= 1) && (AGE <= 69))

- ①必須入力

## Q30

あなたは、ライフプラン（人生設計）をどのくらい先まで想定していますか。

◎ 単一回答

★ 必須回答

- ① 100歳以上
- ② 90～99歳
- ③ 80～89歳
- ④ 70～79歳
- ⑤ 60～69歳
- ⑥ 全く考えたことがない

アンケートは以上で終わりです。  
ご協力ありがとうございました。  
送信ボタンを押してください。

送 信